



HOST CITY

東京2020大会輸送と 企業活動との両立に向けて

－目次－

1. 東京2020大会概要（大会時の交通の見通し）

1-1) TDMの取組 «P.2»

1-2) 交通マネジメント«P.14~»

2. 東京2020大会に向けた具体的な取組内容«P.39~»

(参考)

・2019夏試行の検証結果«P.59~»

・企業等の取組事例

(ロンドン・G20・大会に向けた各社の取組（スムーズビズ）・都庁アクションプランなど)
«P.69~»

・人事・労務管理上の留意点（テレワーク・フレックスタイム制・時差出勤制）
«P.127~»

・交通規制（交通対策図・テストイベント・路上競技など） «P.143~»

・その他«P.194~»

1. 東京2020大会概要（大会時の交通の見通し）

1-1) TDMの取組

過去大会の事例 (2012年ロンドン大会・TDM広報 一般利用者向け)

There will be travel hotspots across London during the Games
27 July - 12 Aug and 29 Aug - 9 Sept

Find out which journeys will be busier and how to get around more easily at GetAheadoftheGames.com and follow us on Twitter @GAOTG

Working together:
MAYOR OF LONDON, National Rail, Transport, HIGHWAYS, Transport for London

Avoid the crowds. Set off at a different time
27 July-12 Aug and 29 Aug - 9 Sept

Find out which journeys will be busier and how to get around more easily at GetAheadoftheGames.com and follow us on Twitter @GAOTG

Working together:
MAYOR OF LONDON, National Rail, Department for Transport, HIGHWAYS, Transport for London

Get ready to change the way you travel

Don't be late to the Games during the Games. Plan your journeys at GetAheadoftheGames.com

Follow us on Twitter @GAOTG

Working together:
MAYOR OF LONDON, National Rail, Department for Transport, HIGHWAYS, Transport for London

過去大会の事例 (2012年ロンドン大会・TDM広報 企業向け)



The world might stop for the Games
Your business shouldn't

For six weeks in the summer of 2012, the Olympic and Paralympic Games will have a significant impact on parts of London's transport network, which will in turn affect businesses, staff, customers and suppliers across the capital.

To help you plan ahead, we've put together a free online business toolkit. Use it to find out how you'll be affected, and keep your business running smoothly during the Games.

To get your free toolkit, search online for "Travel advice for business."

London2012.com

The content of this website and the content of the toolkit is provided for the information only. It does not constitute an offer of any financial product or service. It is not intended to be used as a basis for investment decisions. It is not intended to be used as a basis for investment decisions. It is not intended to be used as a basis for investment decisions. It is not intended to be used as a basis for investment decisions.



Just 40 weeks to go.
Is your business ready for the Games?

Travel will be severely affected during the Games, and it's time to make sure your business is prepared. There are lots of ways you can do this, such as allowing some staff to work from home, being flexible with start and finish times, reworking our guidelines and communicating operational changes to staff, customers and clients.

If you haven't started planning already, visit our site today, where you can sign up for email updates and find all the support and information you need to make your plan. (before time runs out.)

Sign up for email updates now at London2012.com/traveladviceforbusiness

London 2012 logo and Transport for London logo.



The countdown to the Games is on.
Make your business travel plan now.

It's time for your business to make a travel and transport action plan for the summer 2012 Games. This is essential because London's transport network will operate very differently.

There are a number of things you can do to prepare for this, like allowing some staff to work from home, being flexible with start and finish times, reworking our guidelines and communicating operational changes.

Visit the website now for more updates and information on roadblocks and other support, and make your plan before time runs out. Sign up for email updates now at London2012.com/traveladviceforbusiness

London 2012 logo and Transport for London logo.

大会スケジュールと規模

	オリンピック	パラリンピック
期間	2020年7月24日(金) ～8月9日(日) (17日間)	2020年8月25日(火) ～9月6日(日) (13日間)
競技数	33競技	22競技
来訪者	【選手】 約11,000人 【メディア関係者】 約25,000人 【観客】 約780万人	【選手】 約4,400人 【メディア関係者】 約9,500人 【観客】 約230万人

重点的な取組が必要な期間

【2020年カレンダー】

オリンピック：7月24日～8月9日 パラリンピック：8月25日～9月6日

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	24 開会式 スポーツの日	25 自転車競技
26 自転車競技	27 トライアスロン	28 トライアスロン	29	30	31	8/1 トライアスロン
2	3	4	5	6	7	8
9 閉会式	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29 トライアスロン
30 トライアスロン	31	9/1	2	3	4	5
6 閉会式 マラソン	7	8	9	10	11	12
大会で使用した器機などを各国に返送						

例年お盆前で物量が増える時期

交通対策が特に必要な期間

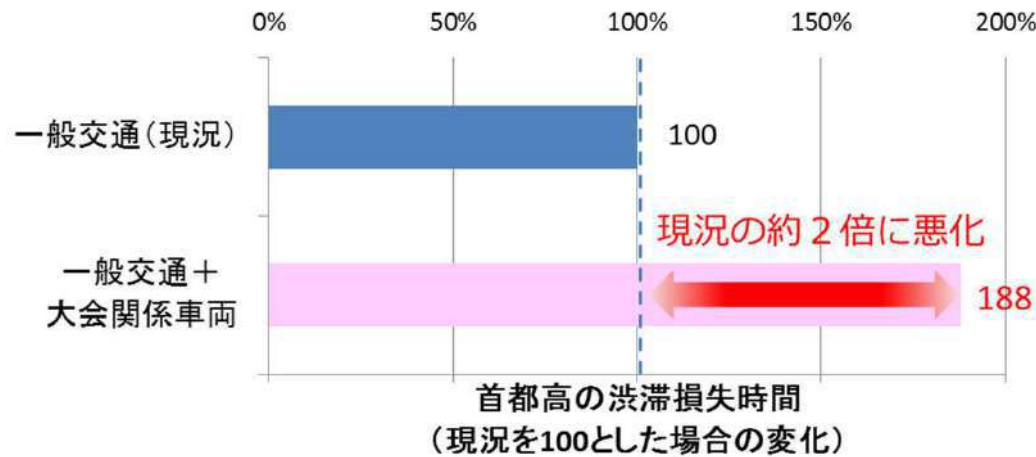
※2020年から体育の日はスポーツの日に名称変更

■【参考】路上競技（都内）の開催日

大会時の交通の見通し（何も対策を行わなかった場合）

【高速道路】

<交通量変化による1台あたり渋滞損失時間の変化>

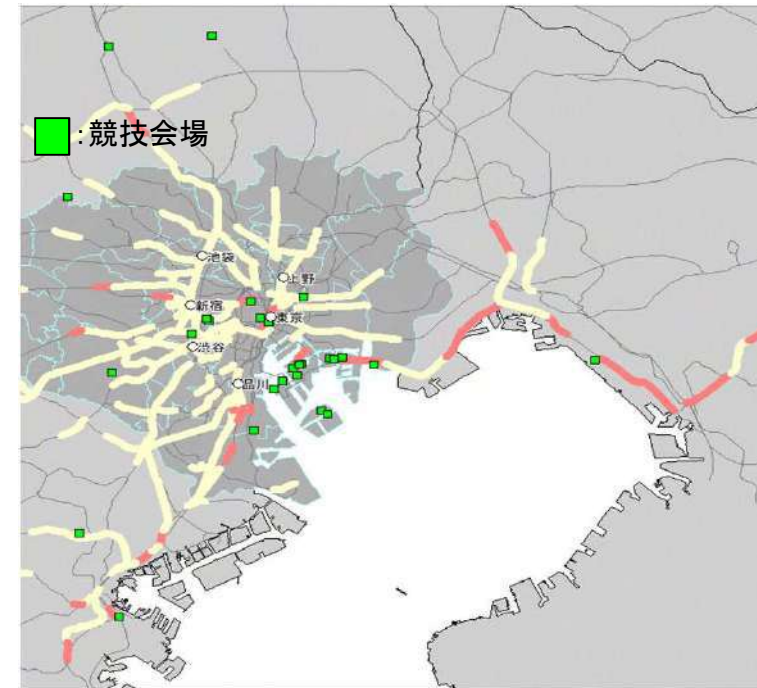


※首都高速道路を走行する車両を対象としたシミュレーション結果
(大会の同時期(7月)の金曜日を想定)

【鉄道】

観客利用と道路からの転換により、
利用者が約1割増加

《朝ピーク(7~10時)》



※混雑率150%以上の区間に着色

色	混雑の状況
赤	観客が増えることで混む路線 (観客+一般交通で混雑率150%以上、一般交通のみは150%未満)
黄	普段混雑し、更に観客が増える断面 (一般交通のみで150%以上)

大会時の交通混雑緩和に向けた方向性

交通マネジメントは以下の3つで構成

① 交通需要抑制・分散・平準化を行う

「**交通需要マネジメント (TDM)**」

② 道路状況に応じて交通の需給関係を高度に運用管理する

「**交通システムマネジメント (TSM)**」

③ 鉄道等の安全で円滑な輸送を実現する

「**公共交通輸送マネジメント**」

TDMの必要性と目標

- ・大会関係車両や観客の交通需要の影響により、何も対策をしないと、道路、鉄道共に混雑が深刻化

《目標》

- ・道路交通は競技の運営に必要な時間帯の混雑緩和に向け、良好な交通状況を目指す
- ・公共交通（鉄道）は現在と同程度のサービスレベルを目指す

【道路交通】

・一般交通

都心部（重点取組地区）について、大会前の交通量の**30%減**を目指す。

東京圏の広域（圏央道の内側）について、大会前の交通量の**10%減**を目指す。

・首都高速道路における交通量の更なる減

東京圏のオリンピック・ルート・ネットワーク（ORN）、パラリンピック・ルート・ネットワーク（PRN）の基幹をなす**首都高速道路**については、交通量を**最大30%減**とすることで、**休日並み**の良好な交通状況を目指す。

（TDM、料金施策による交通需要調整等により実現）

【公共交通（鉄道）】局所的な混雑への対応などにより、**現状と同程度**の安全で円滑な運行状況を目指す。



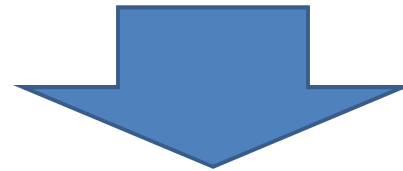
広く、企業や個人の皆さまから、
少しずつご協力いただき、交通量を減らすことが重要

TDMの取組の進め方

何も対策を行わないと、人やモノの移動が制約を受け、
都市活動が滞るリスクがある

＜大会時に起こり得ること(リスク)の例＞

- ・部品等の搬入が遅れる
- ・スーパーやコンビニ等に商品が届かない
- ・宅配便が時間通りに届かない
- ・路線バスが時間通り来ない、時間がかかる
- ・タクシーになかなか乗車できない
- ・始業時間や商談・打合せの時間に間に合わない



大会時の交通混雑“**遅延**”をリスクと捉えた回避行動の準備

BCP(事業継続計画)に準じた行動計画によるリスク低減・回避

重点取組地区（16地区）

○ 活発な経済活動の維持を図るため、「競技会場等が集中」「道路・鉄道の混雑箇所を通過する交通が多い」という観点から16地区を重点取組地区として抽出

※東京都外の競技会場周辺の混雑緩和に向けた展開は今後検討



重点取組地区

【ヘリテッジゾーン】

- ①新宿
- ②渋谷
- ③品川
- ④浜松町・田町
- ⑤新橋・汐留
- ⑥大手町・丸の内・有楽町
- ⑦八重洲・日本橋
- ⑧神田・秋葉原・御茶ノ水
- ⑨九段下・飯田橋
- ⑩番町・麴町
- ⑪青山・表参道
- ⑫赤坂・六本木
- ⑬霞ヶ関・虎ノ門

【東京ベイゾーン】

- ⑭晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭

【その他】

- ⑮池袋
- ⑯大崎

凡例

■: 競技会場・選手村

2020TDM推進プロジェクトについて



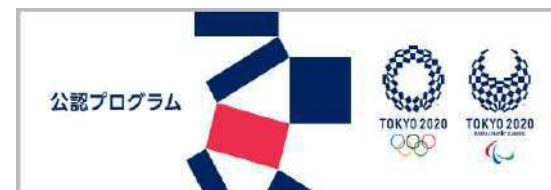
「2020TDM推進プロジェクト」への登録はお済みですか？

プロジェクトに参加いただくと

- ◎ 大会時の混雑状況情報など、大会情報をいち早く提供します。
- ◎ 企業説明会のご案内を行います。
- ◎ HPで最上位表示・企業名を公表し、HPとリンクすることもできます。
- ◎ 「2020 アクションプラン」策定のための個別コンサルティングを無料で提供することができます。

東京2020大会時の交通状況や、TDMの取組等に関心がある企業等のおさまのご登録をお待ちしています。
会社単位だけでなく、部署単位や支店単位での登録も可能です。

プロジェクトへの「参加申込」はこちらへ



※ご登録はHPで！

<https://2020tdm.tokyo/approve>

ぜひご参加ください！



＜協力者＞ 公認プログラム

「2020TDM推進プロジェクト」 **211** 団体

＜参加企業＞ **3,444** 社・事業所

※ 2019年12月23日現在



会社名や
団体名等が
記入可能です

- 時差ビズ
- テレワーク



三位一体で **スムズビズ** として、
2020年以降にも続く働き方改革として取り組んでいます。

企業向け説明会

- ◆ 交通需要マネジメント(TDM)推進に向けた企業向け説明会を2019年度中に、**説明会約300回開催予定**

コンサルタントによる無料相談

- ◆ **2020アクションプラン作成のための個別相談**
(※プロジェクトへの参加登録が必要)

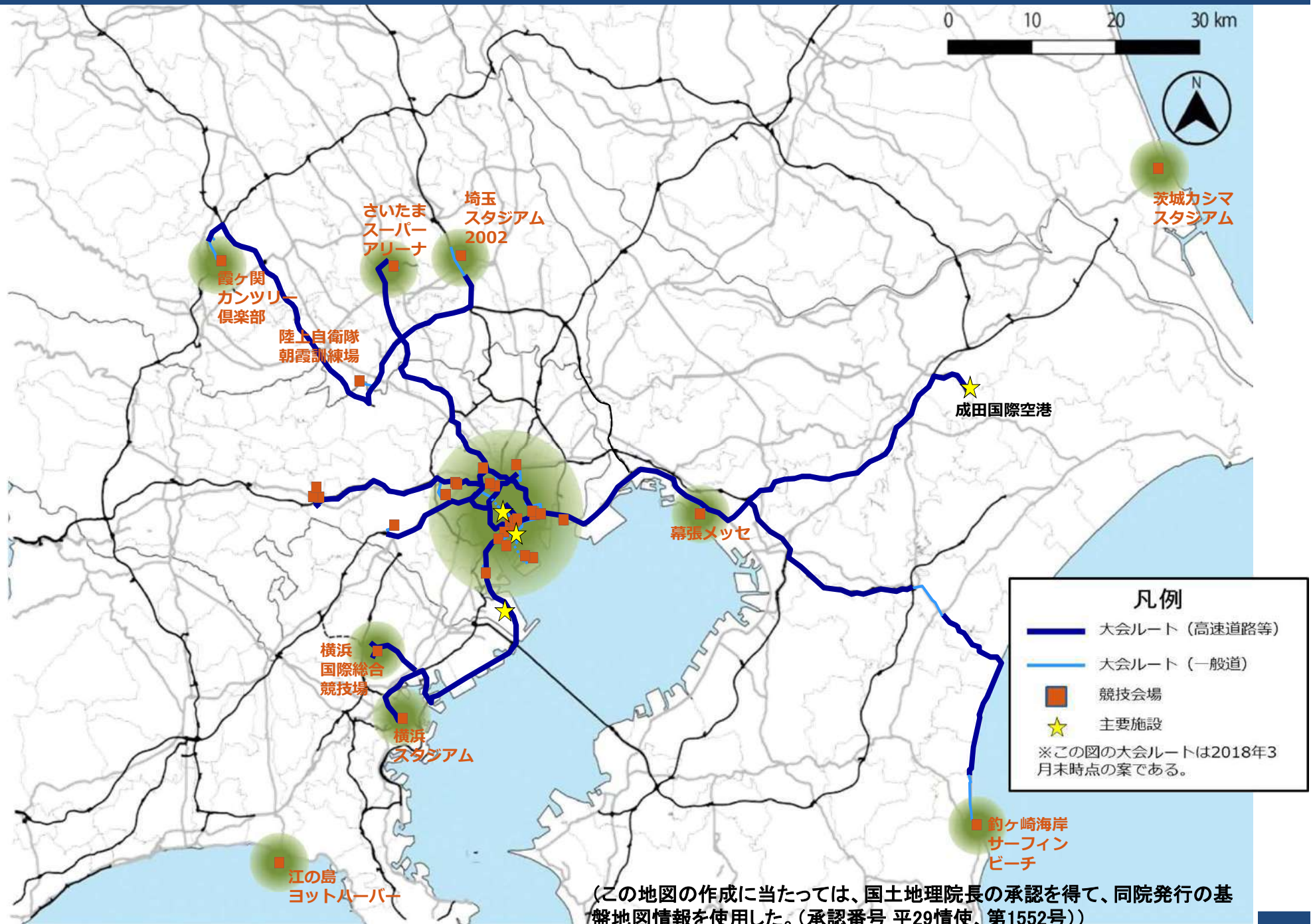
テレワーク導入への支援

- ◆ 東京テレワーク推進センター(飯田橋)
- ◆ ワークスタイル変革コンサルティング(ICTに精通した専門家を派遣・最大5回)
⇒ はじめてテレワーク(トライアルに必要なハード、ソフトの費用を助成)
- ◆ TOKYOテレワークアプリ
(テレワークツールの選び方や都の支援施策の紹介、都内のサテライトオフィスの検索等が可能)

1. 2020大会概要（大会時の交通の見通し）

1 - 2) 交通マネジメント

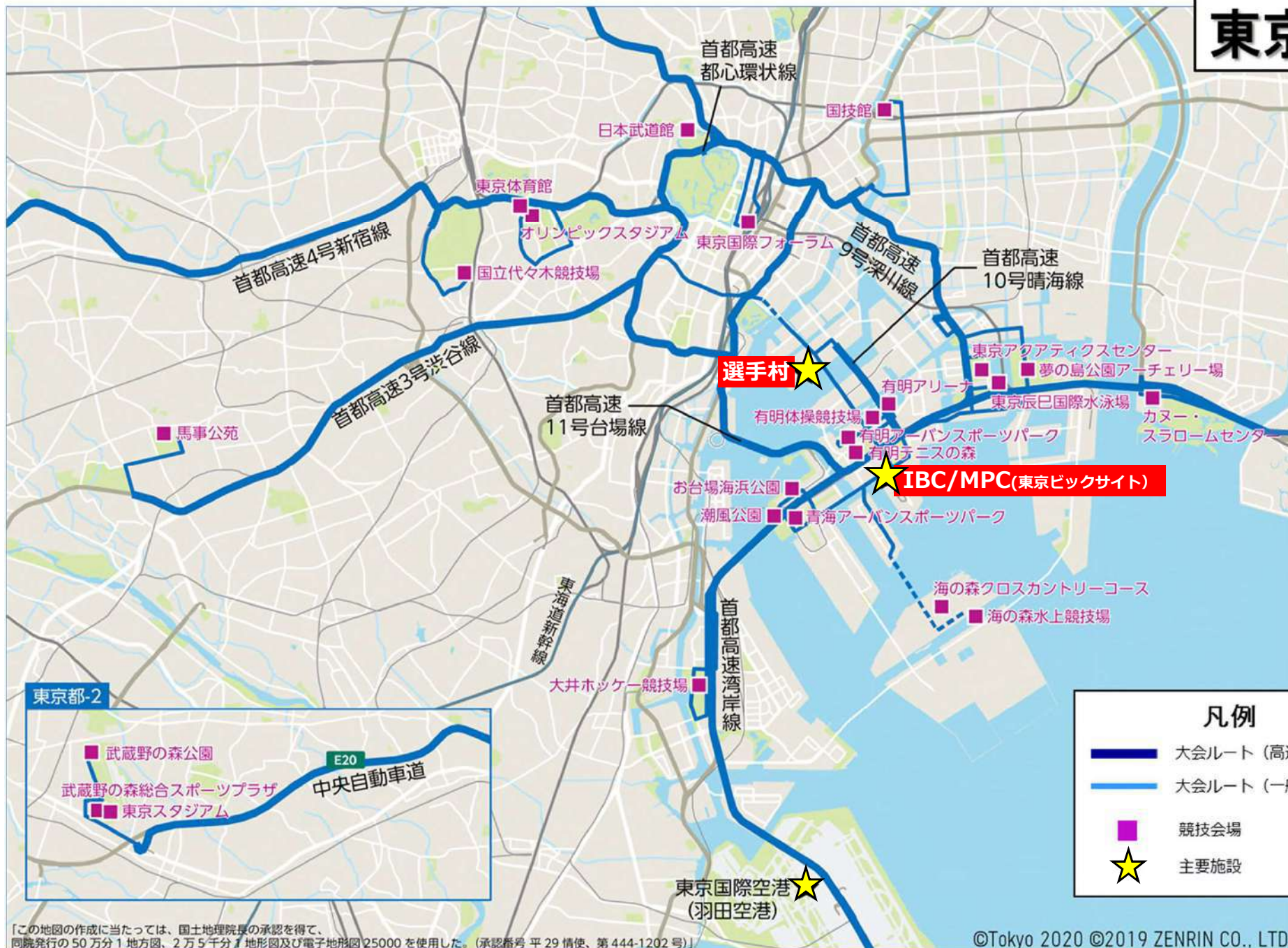
交通需要の低減の必要性が高いエリア・路線（イメージ）



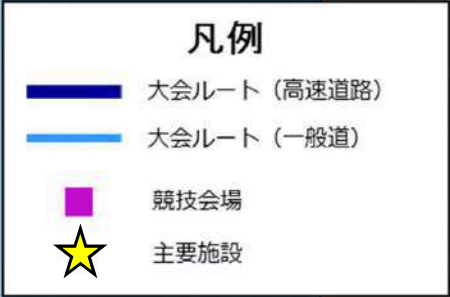
大会ルート（関係者輸送ルート）

東京都

[2019.12]



東京都-2



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平 29 情使、第 444-1202 号)」

オリンピックスタジアム・東京体育館付近の 関係者輸送ルート及び観客輸送ルート（案）

(注) この地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（30都市基交第1020号）して作成したものである。無断複製禁ずる。

2019年6月時点

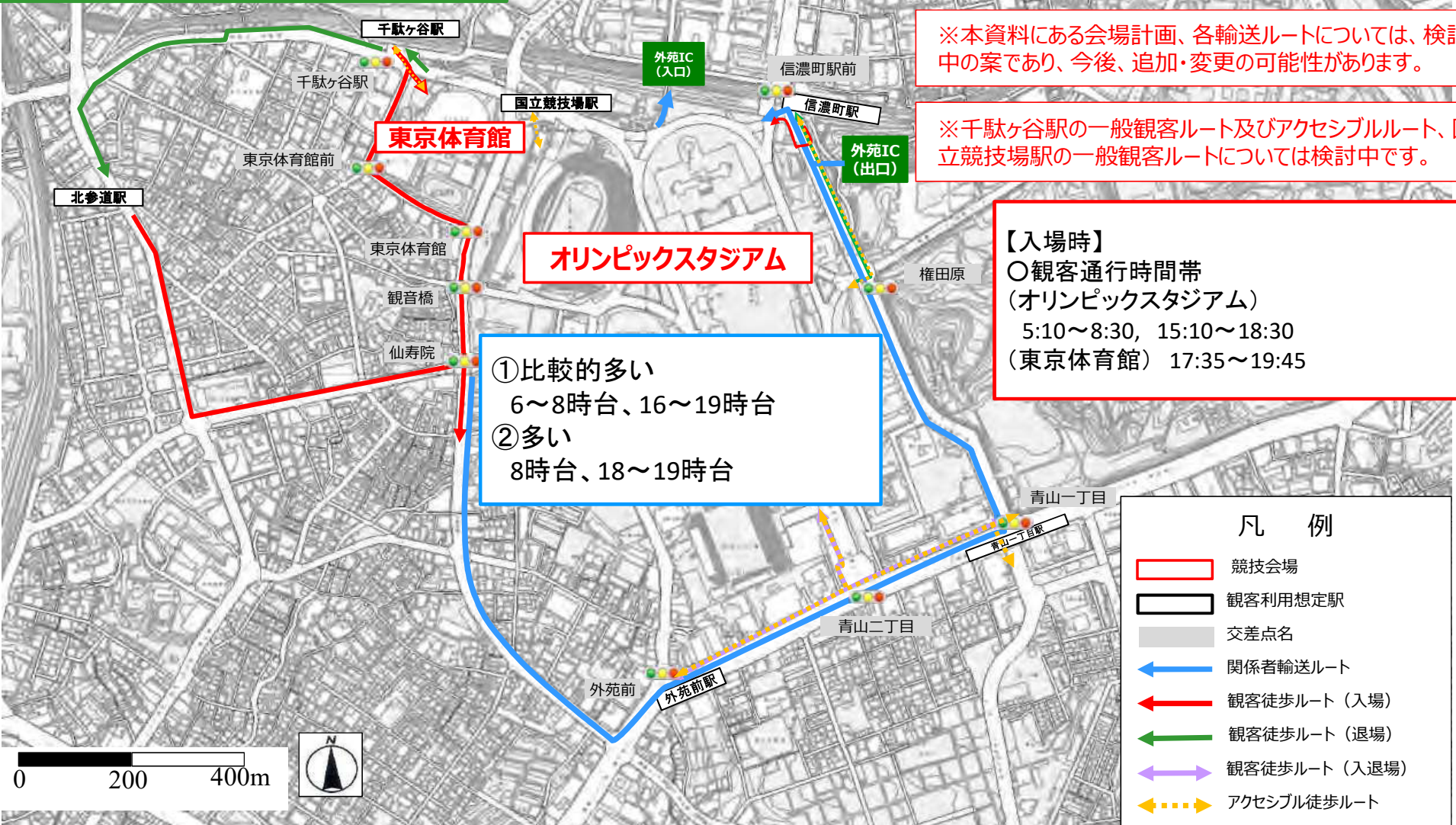
7月31日(金)

※本資料にある会場計画、各輸送ルートについては、検討中の案であり、今後、追加・変更の可能性があります。

※千駄ヶ谷駅の一般観客ルート及びアクセシブルルート、国立競技場駅の一般観客ルートについては検討中です。

【入場時】
○観客通行時間帯
(オリンピックスタジアム)
5:10～8:30, 15:10～18:30
(東京体育館) 17:35～19:45

【退場時】
○観客通行時間帯
(オリンピックスタジアム)
12:30～14:10, 21:10～22:50
(東京体育館) 22:10～22:50



①比較的多い
6～8時台、16～19時台
②多い
8時台、18～19時台

凡 例	
	競技会場
	観客利用想定駅
	交差点名
	関係者輸送ルート
	観客徒歩ルート（入場）
	観客徒歩ルート（退場）
	観客徒歩ルート（入退場）
	アクセシブル徒歩ルート

■ 運用が確定しているもの

東京圏競技会場周辺交通対策《会場周辺交通対策図参照》

- ・進入禁止エリア・迂回エリア
- ・通行規制エリア（交通規制道路）
 - ・規制期間（大会関連工事による規制を含めた期間は年内を目途に調整）
 - ・規制内容：通過交通の車両通行禁止など
 - ・規制時間：終日規制（都外会場は一部調整中あり）

大会ルート（専用レーン/優先レーン）

- ・設定路線及び車線
- ・規制期間
- ・規制時間：終日規制

首都高速道路の料金施策

- ・料金施策内容
- ・対象車種
- ・料金上乘せ範囲
- ・適用期間

■ 弾力的に運用していくもの（実施箇所や路線が未定のもの）

- ・高速道路の本線料金所流入調整
- ・高速道路の入口閉鎖
- ・高速道路の本線車線規制
- ・一般道路における信号調整

道路の交通マネジメント運用の考え方

基本的な対策

レギュラー時

TDM

会場周辺
交通対策

専用レーン
優先レーン

物流車両も含め、道路交通全体の需要を削減

料金施策

夜間への交通シフト促進、一般道から首都高への転換抑制

TSM

高速道路における都心への流入制限等（本線料金所流入調整等）

TSM

交通状況に合わせたTSMの段階的な実施（入口閉鎖箇所を追加）

TSM

レギュラー時の交通対策（本線車線規制、区間通行止め等）

イレギュラー時

会場周辺交通対策について（2019.12）

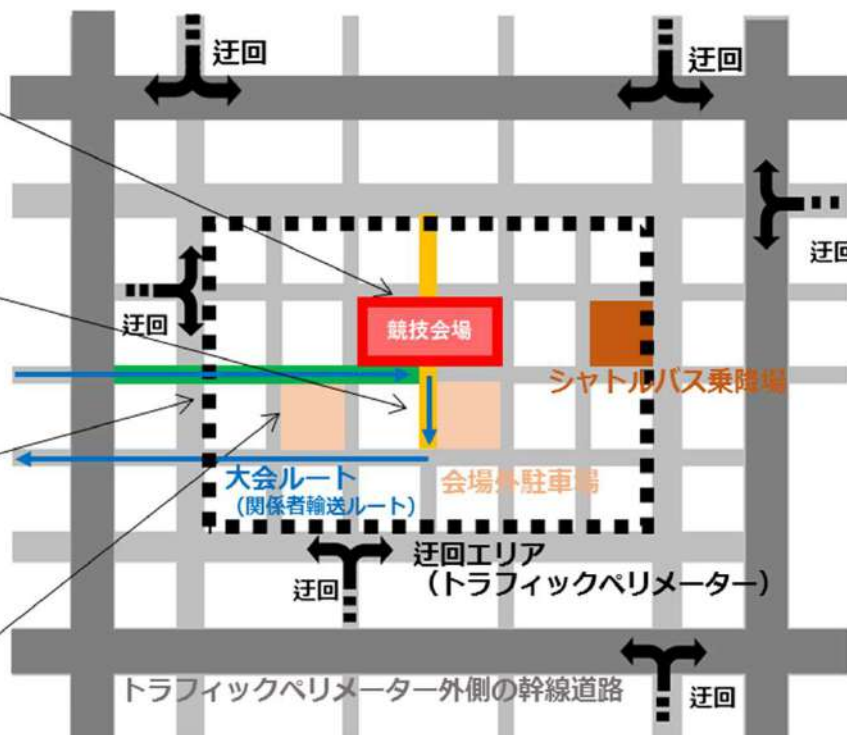
オリンピック・パラリンピック東京大会において、競技会場等周辺一般道における交通混雑を緩和するため、主に以下の交通対策を実施する予定です。

区分	目的	方法	対象等
①進入禁止エリア (セキュアペリメーター)	競技会場等の設置	会場等を囲む物理的なフェンス等を設置	大会関係者以外の車両や歩行者、自転車は通行不可
②通行規制エリア (会場直近対策)	通過交通の規制	規制標識を設置し通過交通を制限	通過交通は通行不可※ 歩行者・自転車は原則、通行可
③迂回エリア (トラフィックペリメーター)	通過交通の抑制	案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする車両の迂回を促す	通過交通は迂回※ 歩行者・自転車は原則、通行可
④専用レーン、優先レーン (専用通行帯、優先通行帯)	大会関係車両の 定時性確保	規制標識等を設置し、大会関係車両の 通行帯を指定	専用レーン：大会関係車両以外通行禁止 優先レーン：大会関係車両が通行していない場合は通行可

※居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

各交通対策のイメージ

- ① **進入禁止エリア**
(セキュアペリメーター)
会場等を囲む物理的な境界線。
大会関係車両以外の進入を禁止するエリア
- ② **通行規制エリア**
(会場直近対策)
規制標識を設置し通過交通を制限する。
- ③ **迂回エリア**
(トラフィックペリメーター)
案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする車両に迂回を促すエリア。
- ④ **専用レーン (専用通行帯)**
優先レーン (優先通行帯)
規制標識等を設置し、大会関係車両の通行帯を指定。

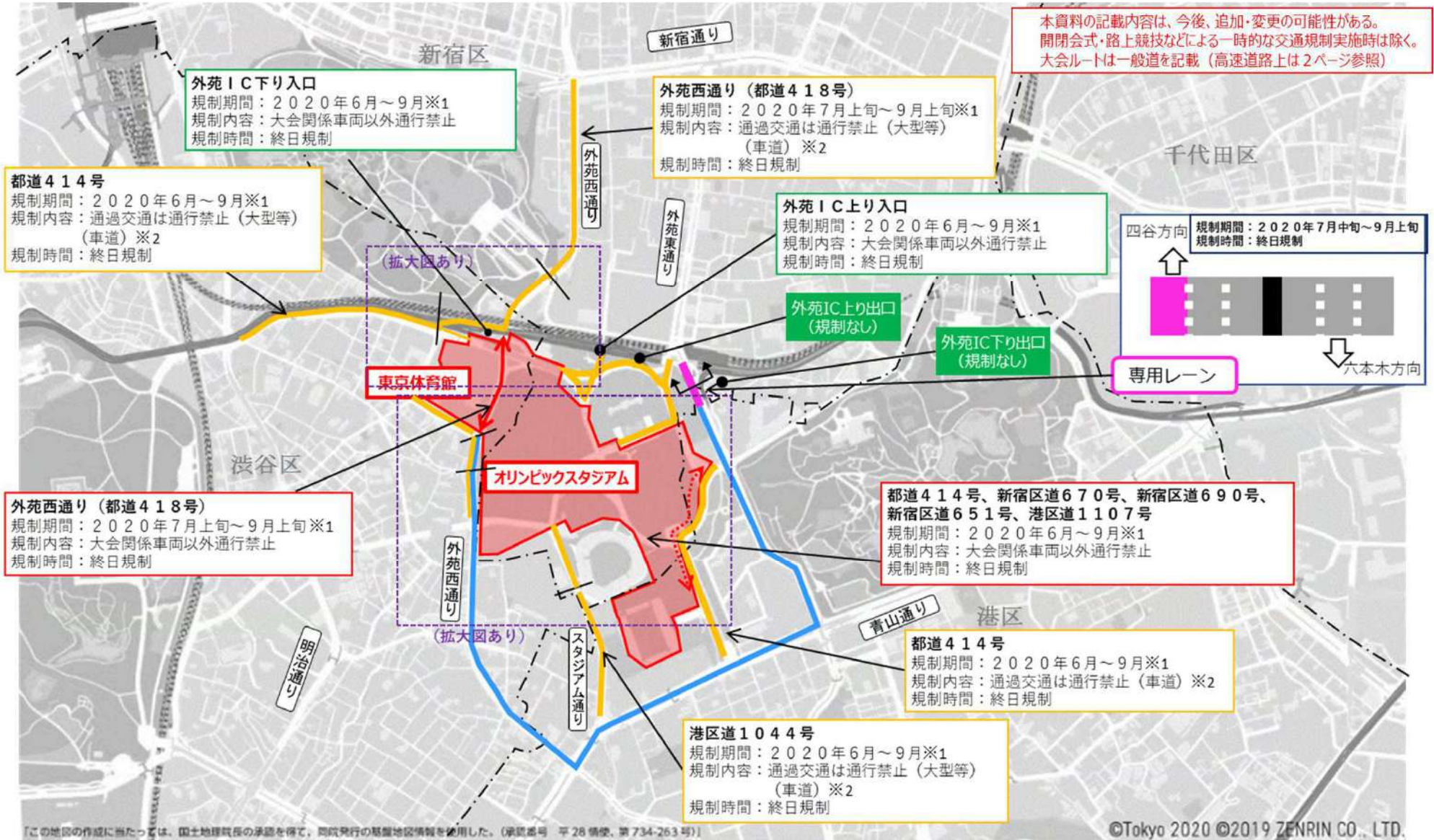


※看板のデザインについては調整中

会場周辺交通対策について (2019.12)

【オリンピックスタジアム・東京体育館】 ①進入禁止エリア②通行規制エリア④専用レーン、優先レーン

【2019.12】



※1 規制期間は、大会関連工事による規制を含む。ただし、外苑西通り（都道418号）を除いては、段階的な規制を検討中。
※2 通行規制エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

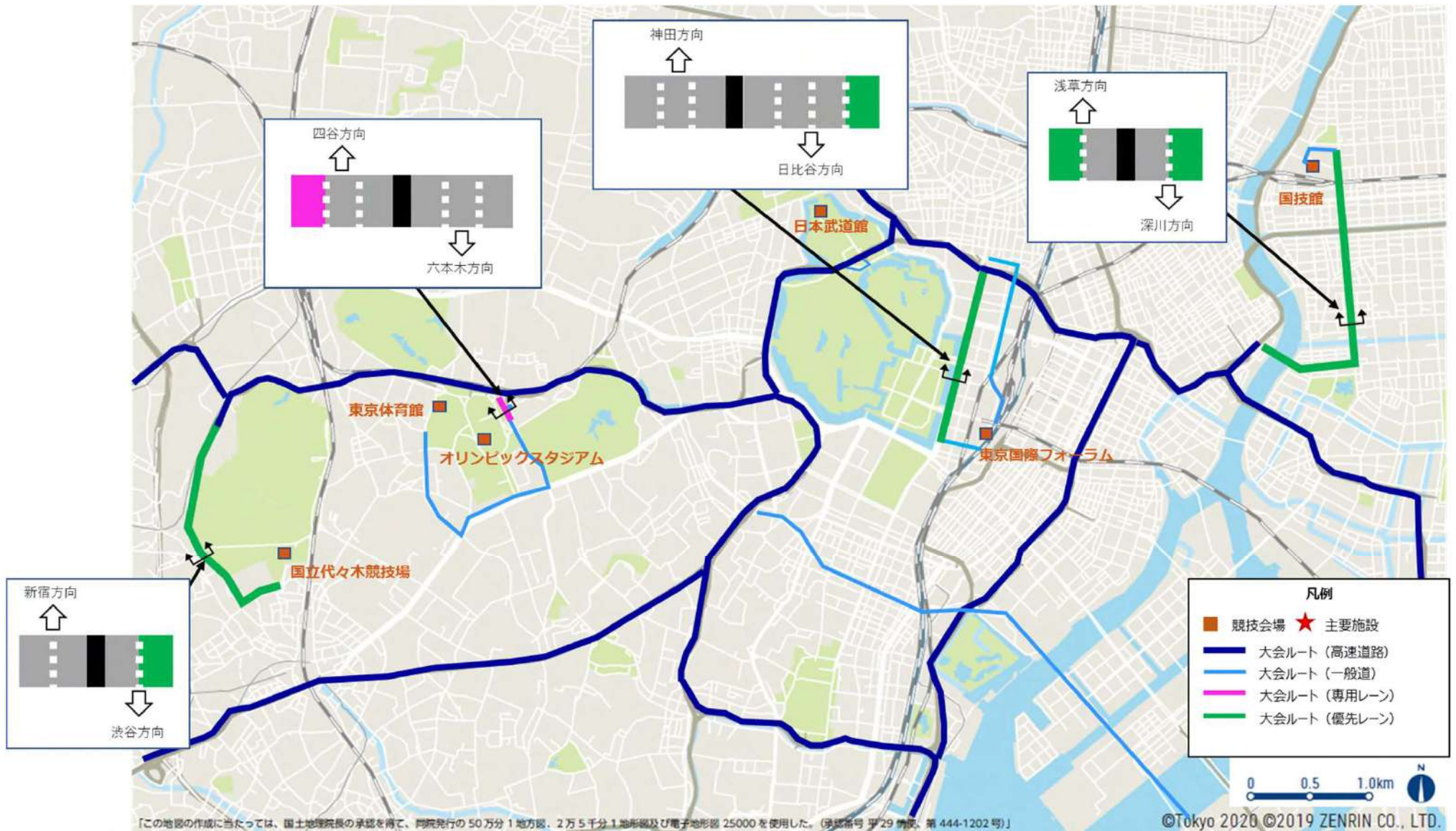


凡例	
■	進入禁止エリア（セキュアペリメーター）
■	通行規制エリア（会場直近対策）
■	大会ルート
■	大会ルート（専用レーン）
□	進入禁止エリア内の規制内容
□	進入禁止エリア外の規制内容
□	ICの規制内容
↔	歩道の規制内容

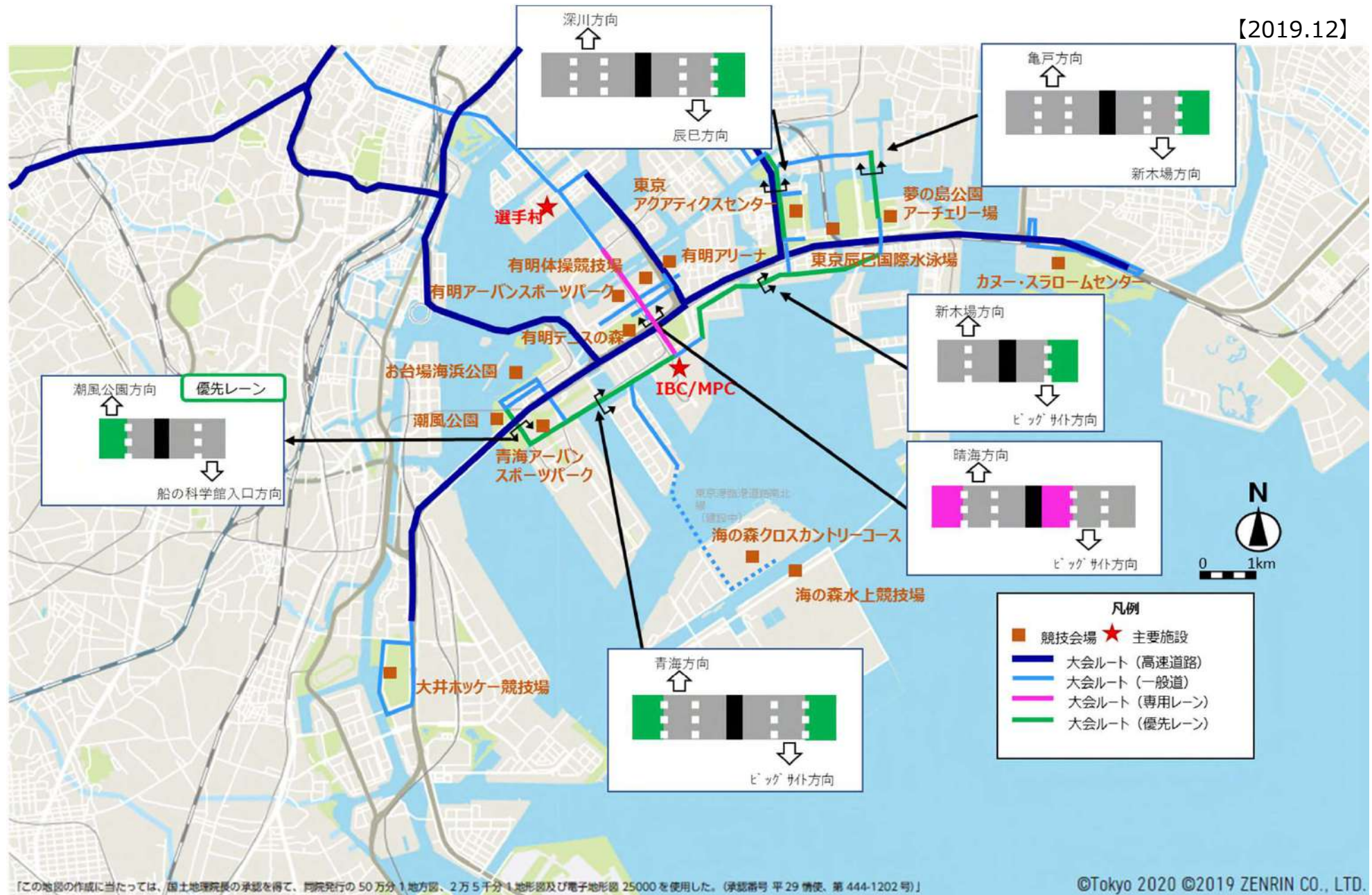
URL: https://2020tdm.tokyo/traffic_pdf/traffic_201912_all.pdf

大会ルート（専用レーン/優先レーン）

【2019.12】



大会ルート（専用レーン/優先レーン）



- 凡例**
- 競技会場 ★ 主要施設
 - 大会ルート（高速道路）
 - 大会ルート（一般道）
 - 大会ルート（専用レーン）
 - 大会ルート（優先レーン）

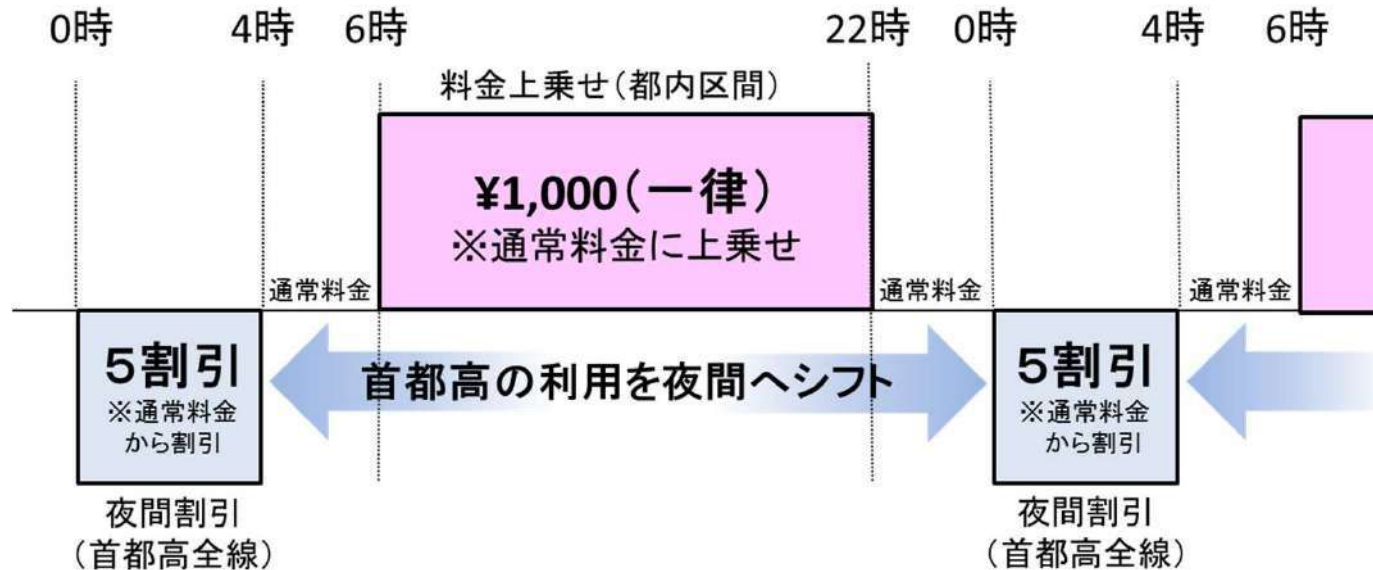
東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

◆ 料金施策の内容

ETC搭載車両

【夜間割引】 全車種、首都高全線、5割引

【料金上乘せ】 マイカー等、都内区間、1,000円



※ETCの場合(約96%がETC搭載車)

現金車両

【夜間割引】 なし

【料金上乘せ】 普通車以下の全て、首都高全線(一部、下り線除く)、1,000円

東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

◆対象車種

E
T
C

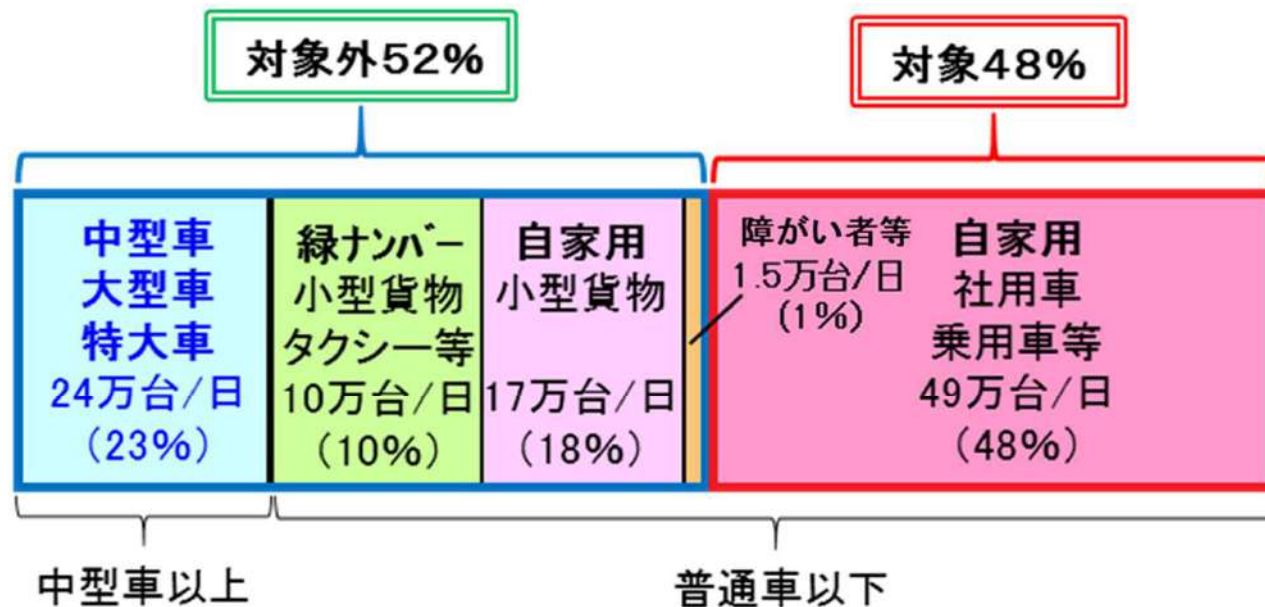
【夜間割引】 全車種に適用

【料金上乘せ】 マイカー等を対象に適用

他の交通への転換が困難な公共交通、物流車両、障がい者^{※1}、福祉車両^{※2}、緊急車両等は対象外（障がい者、福祉車両は事前登録制）

※1: 身体・知的・精神障がい者

※2: 社会福祉事業（第一種・第二種）の用にもっぱら供する車両等



現金車

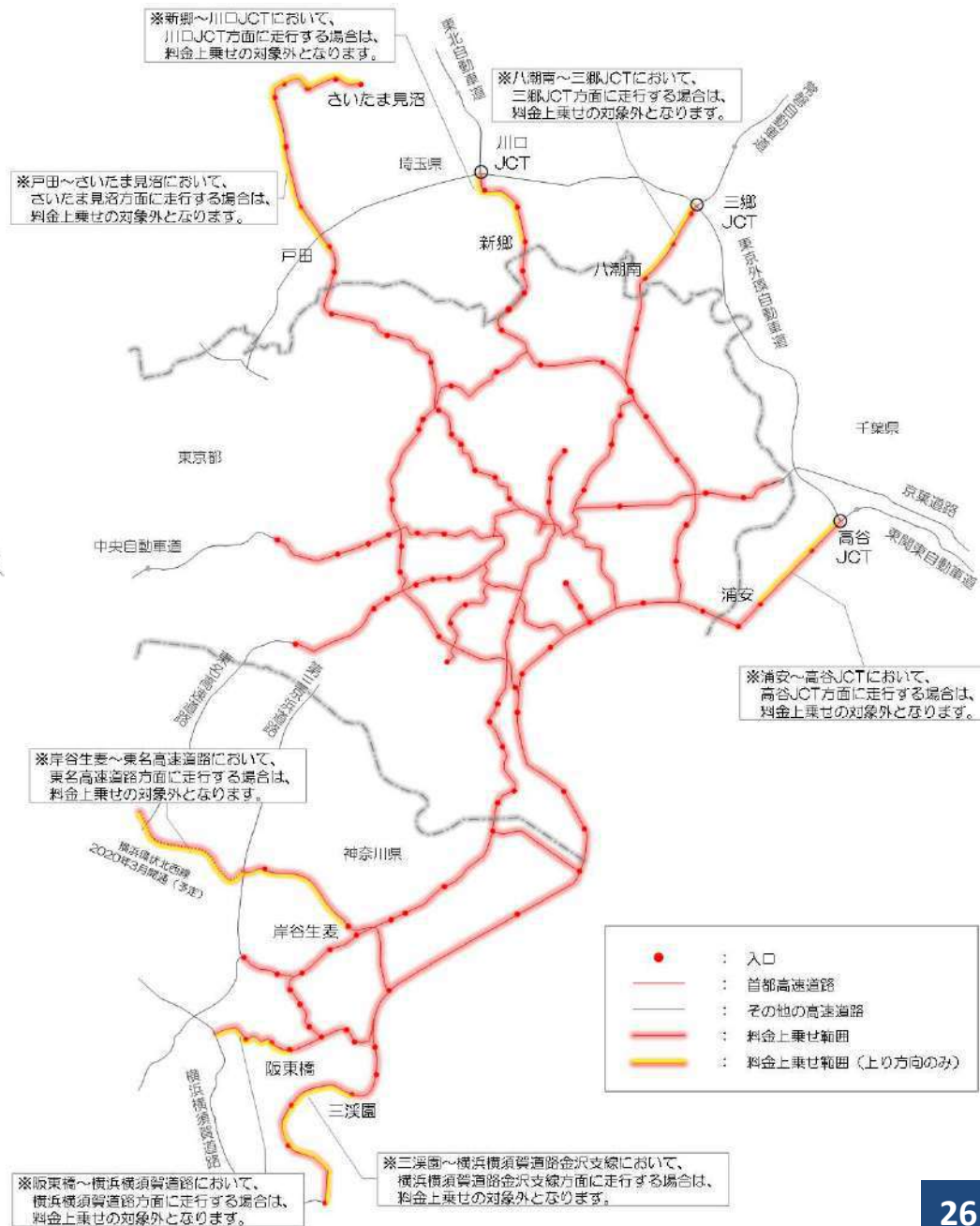
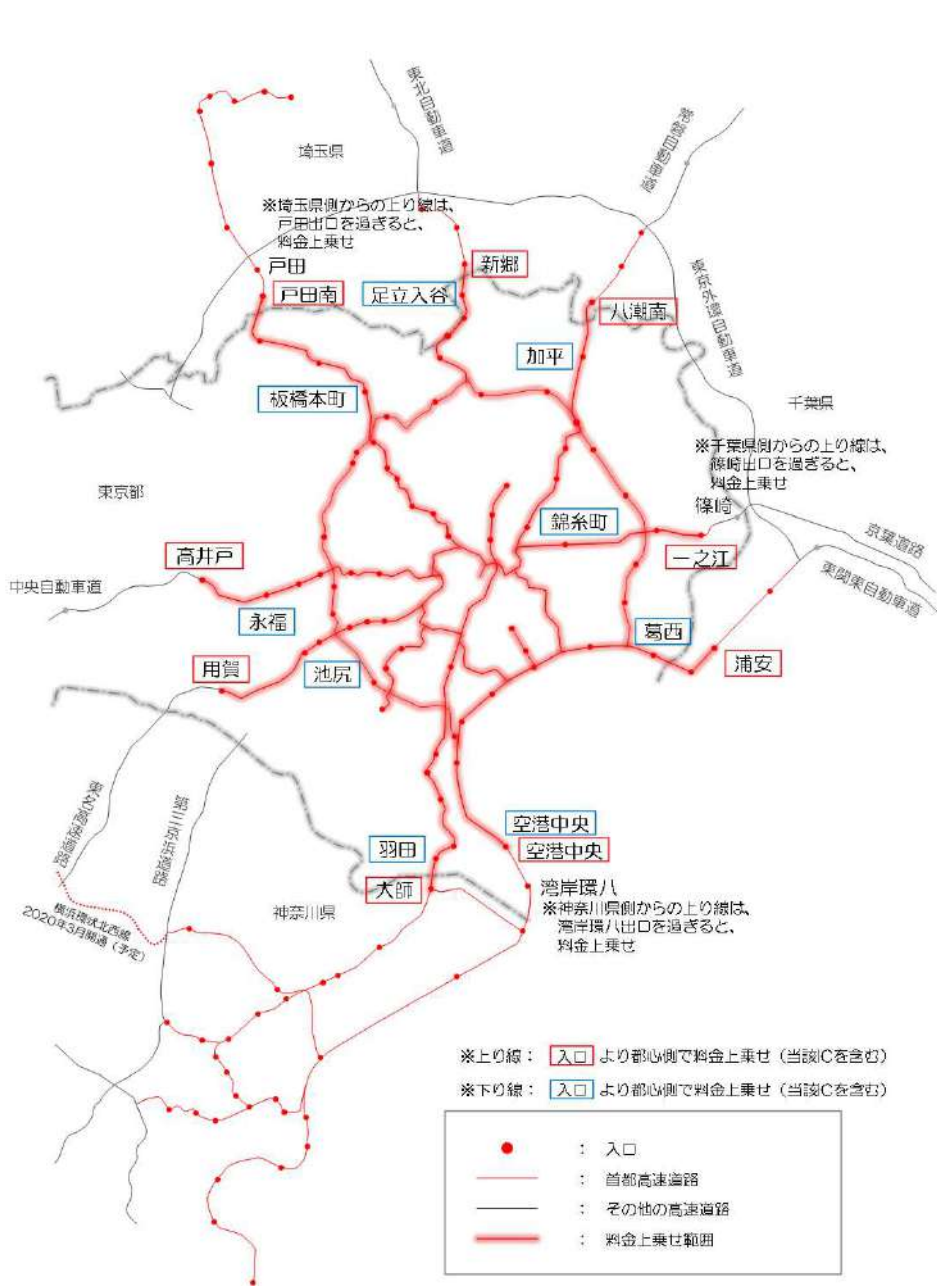
【夜間割引】 なし

【料金上乘せ】 普通車以下の全てに適用: 首都高全線(一部、下り線除く)

東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

◆ 料金上乘せの範囲（ETC搭載車両）

◆ 料金上乘せの範囲（現金車両（ETC非搭載車両））



東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針

◆適用期間

2020（令和2）年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
			オリ競技開始		オリ開会式	
26	27	28	29	30	31	

 : 適用日

2020（令和2）年8、9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
オリ閉会式	選手等の 帰国ピーク					
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
		パラ開会式				
30	31	9/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
パラ閉会式						

TSMの実施状況 (2019年 7月24日・26日)

【高速道路】

< TSM実施状況 (高速道路) >

<実施内容>

- 終日実施 (0時~24時)
 - ・ 本線料金所流入調整 : 11箇所
 - ・ 入口閉鎖 : 4箇所
 - 交通状況に応じて実施
 - ・ 入口閉鎖※ : 35箇所(24日), 33箇所(26日)
 - ・ 本線車線規制 : 2箇所(24日), 2箇所(26日)
- ※最大の同時閉鎖箇所

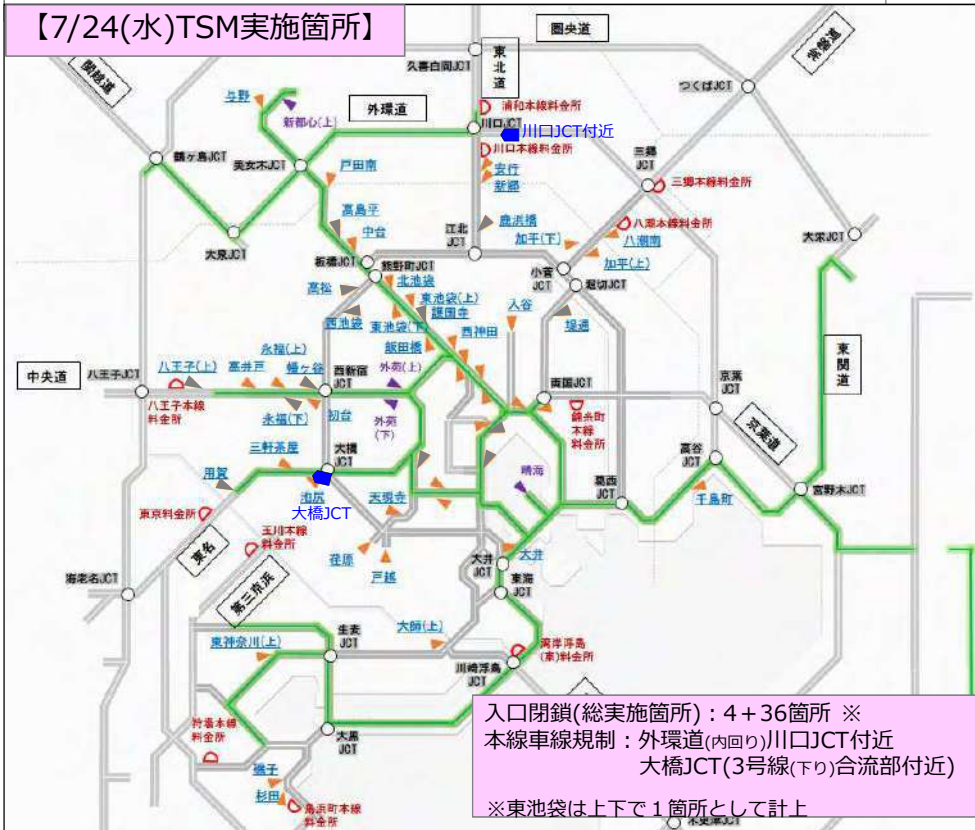


本線料金所流入調整 (東北道 浦和本線料金所)



入口閉鎖 (首都高 三軒茶屋入口)

【7/24(水)TSM実施箇所】



【7/26(金)TSM実施箇所】



【凡例】 — ORN (大会ルート) ○ 本線料金所 (流入調整実施) ▲ 終日閉鎖入口 ▲ 閉鎖入口 (追加) ■ 本線車線規制

T S Mの実施状況（2019年 7月24日・26日）

【一般道】

<実施内容>

■午前中実施（5時～12時）

- ・環状七号線内側への流入調整　：118箇所
 - 環状七号線の内側へ直進する交通に対する青信号の時間を通常よりも短くすることで、都心への流入交通を調整
 - 信号の調整率は、通常時から▲5%～10%程度

一般道での対策イメージ



<T S M実施状況（一般道）>



環状七号線外側（国道246号 上馬交差点付近）



入口閉鎖（国道246号 三軒茶屋入口周辺）

即位の礼期間中の交通規制

外国要人の多数来日に伴う交通規制

◆ 期間

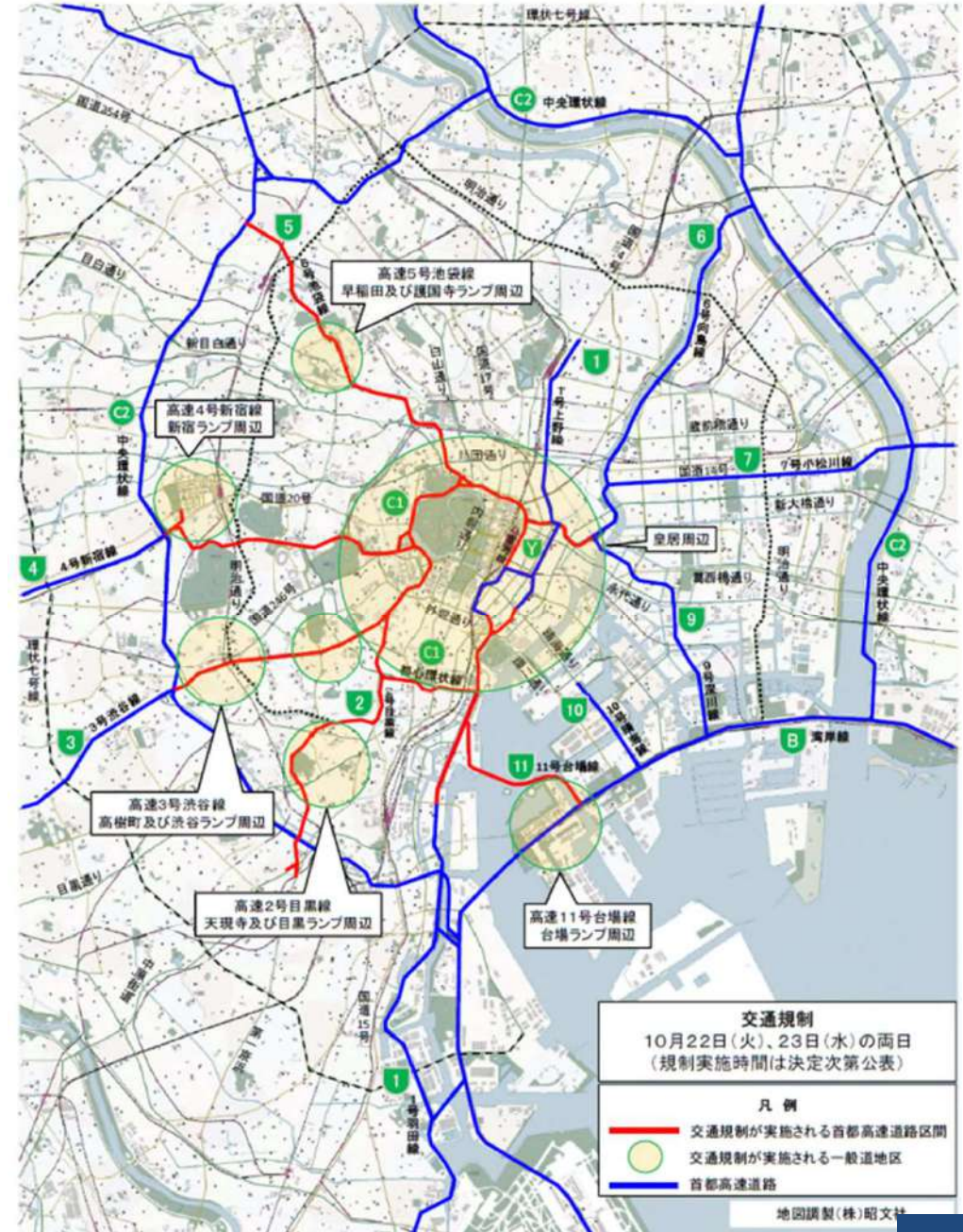
令和元年10月22日(火曜)から
10月23日(水曜)までの間

(上記日程の前後期間は、外国要人の来日に伴う移動のため、一時的に交通規制を行うことがあります。)

◆ 交通規制が実施される 首都高速道路及び地区

首都高速道路中央環状線内の
一部区間で交通規制を実施

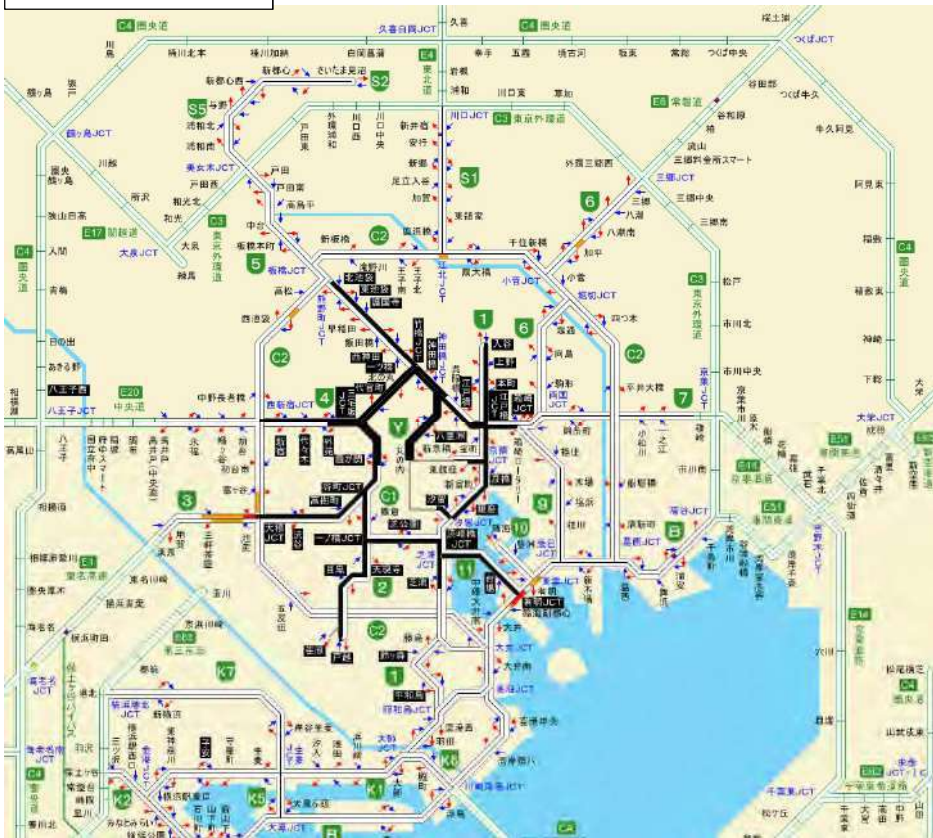
交通規制が実施される高速道路及び地区



即位の礼期間中の交通規制 交通状況

2019年10月22日(火・祝日) 18時

高速道路



一般道路



- 凡例
- 通行止め・入口閉鎖
 - チェーン規制
 - 事故等
 - 渋滞
 - 混雑
 - 他の規制
 - 調整中

即位の礼期間中の交通規制 交通状況

2019年10月23日(水) 18時

高速道路



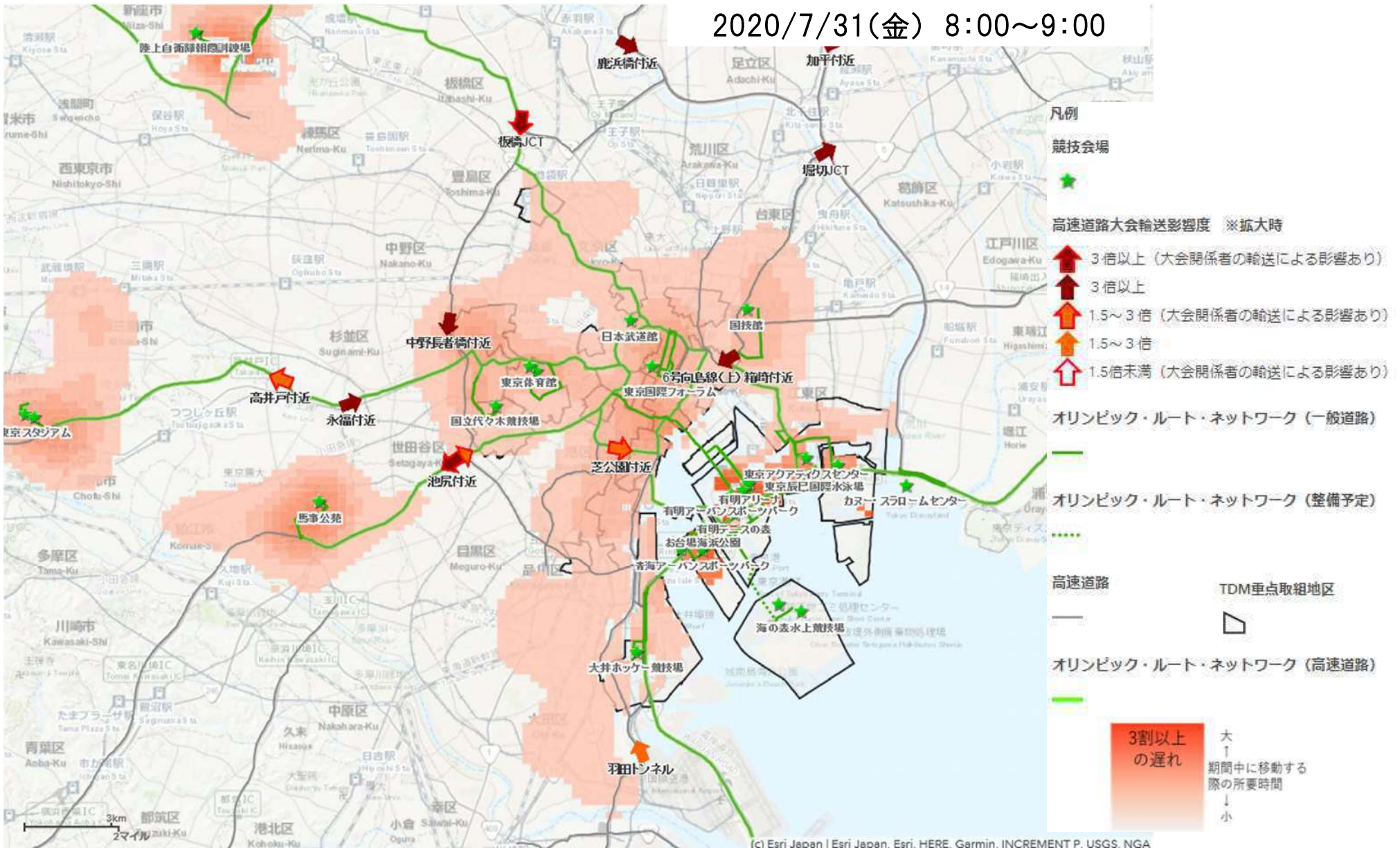
一般道路



- 凡例
- 通行止め・
入口閉鎖
 - チェーン規制
 - 事故等
 - 渋滞
 - 混雑
 - 他の規制
 - 調整中

大会輸送影響度マップ (高速道路と一般道)

2020/7/31(金)



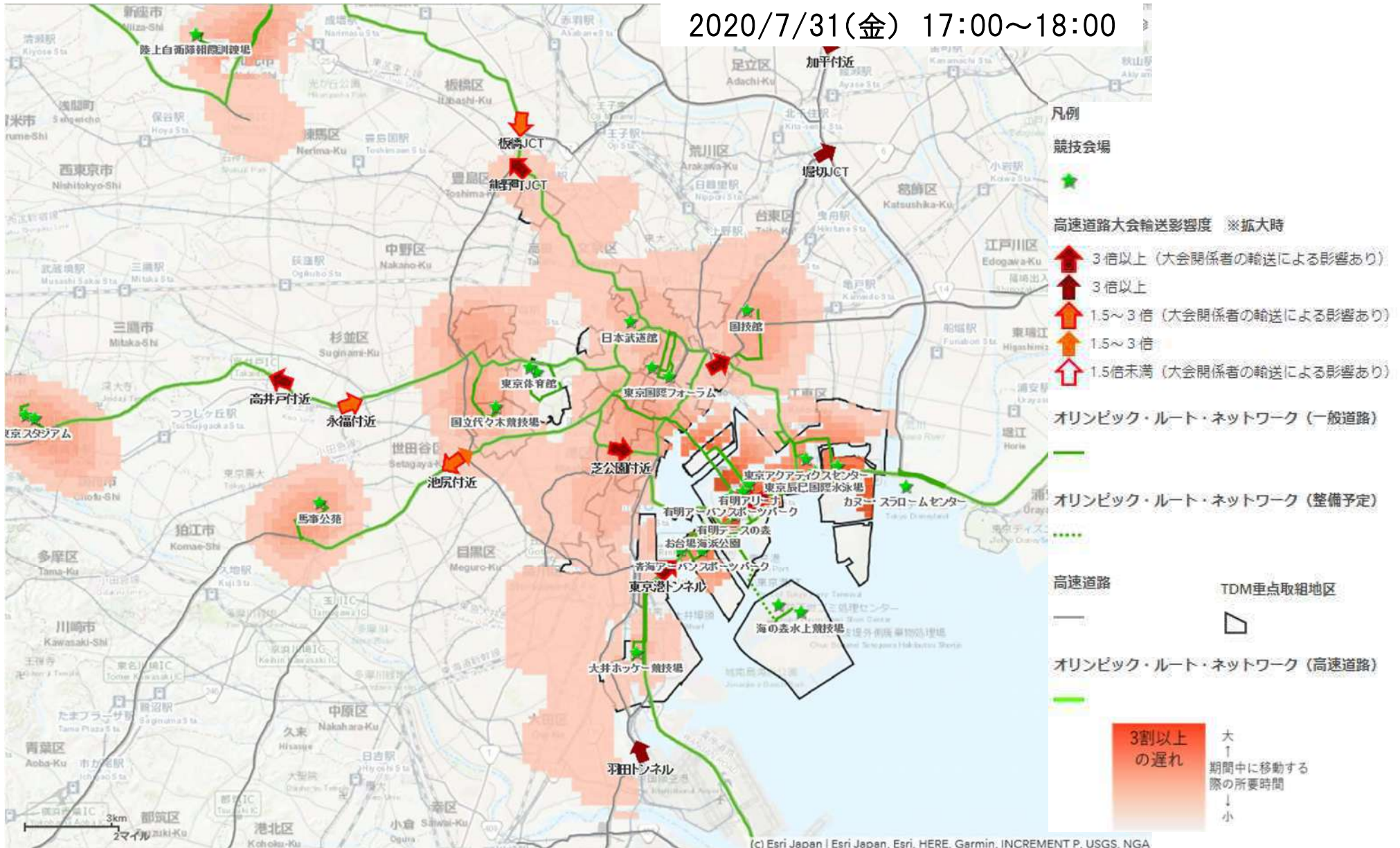
今回公表するマップは2020 TDM推進プロジェクト事務局が、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。大会時の行動をあらかじめ検討する際の参考としてご利用ください。

本マップの作成にあたり、開・閉会式、路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制、TDMによる交通量の低減等、検討中であり、現時点で反映できていない交通条件があります。条件が確定したのから反映していきますので、今後変更が生じることご留意ください。大会輸送による高速道路、一般道路については、2020年における通常時の道路交通の状況に加え、大会期間中に大会関係者が車両により移動するものという前提をおき、その交通状況を表現した交通シミュレーションを実施したものをと、その影響についてとりまとめています。

大会輸送影響度マップ (高速道路と一般道)

2020/7/31(金)

2020/7/31(金) 17:00~18:00

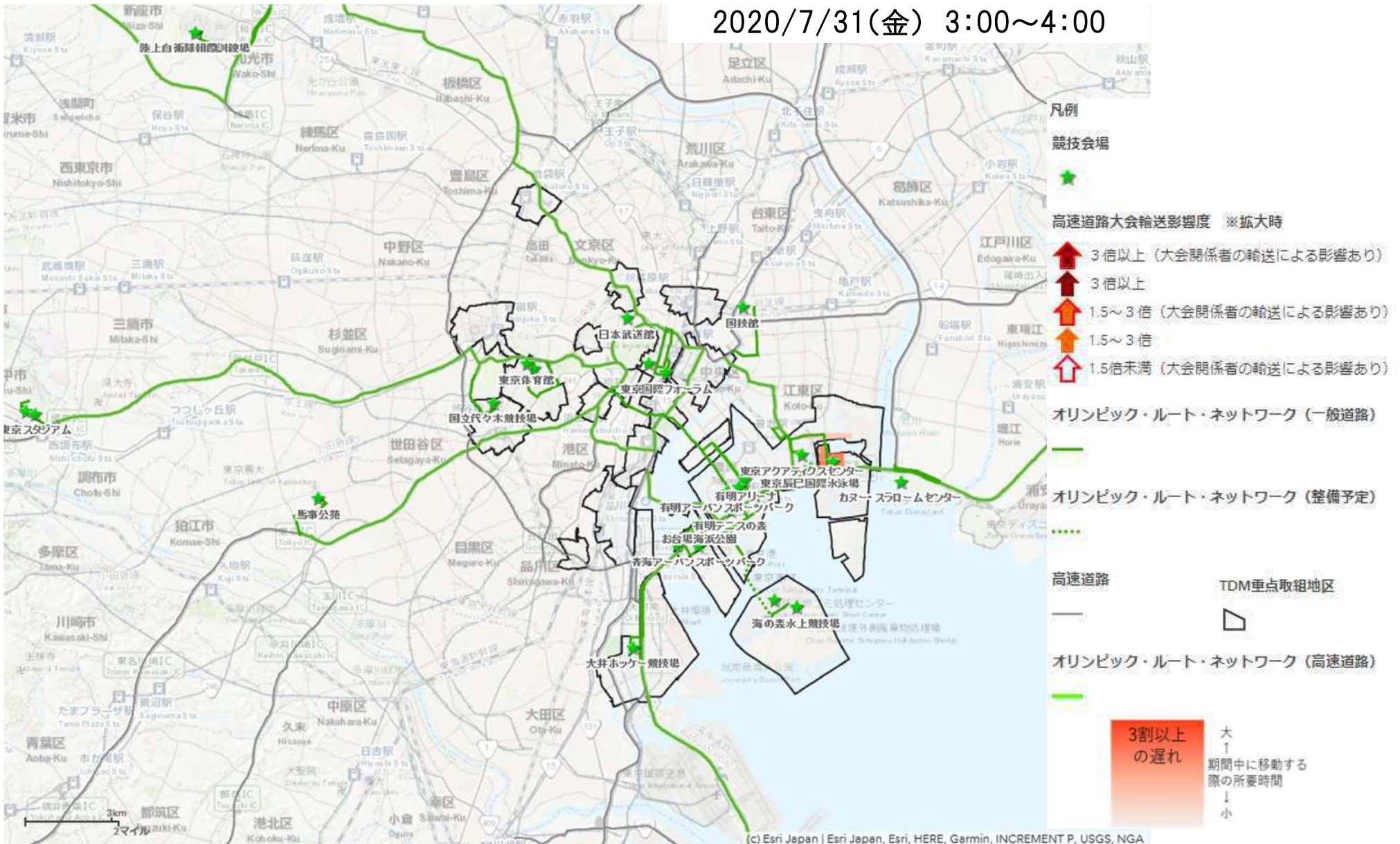


今回公表するマップは2020 TDM推進プロジェクト事務局が、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。大会時の行動をあらかじめ検討する際の参考としてご利用ください。

本マップの作製にあたり、開・閉会式、路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制、TDMによる交通量の低減等、検閲中であり、現時点で反映できていない交通条件があります。条件が確定したのから反映していきますので、今後変更が生じることご留意ください。大会輸送による高速道路、一般道路については、2020年における通常時の道路交通の状況に加え、大会期間中に大会関係者が車両により移動するものという前提をおき、その交通状況を表現した交通シミュレーションを実施したものをと、その影響についてとりまとめている。

大会輸送影響度マップ (高速道路と一般道)

2020/7/31(金)

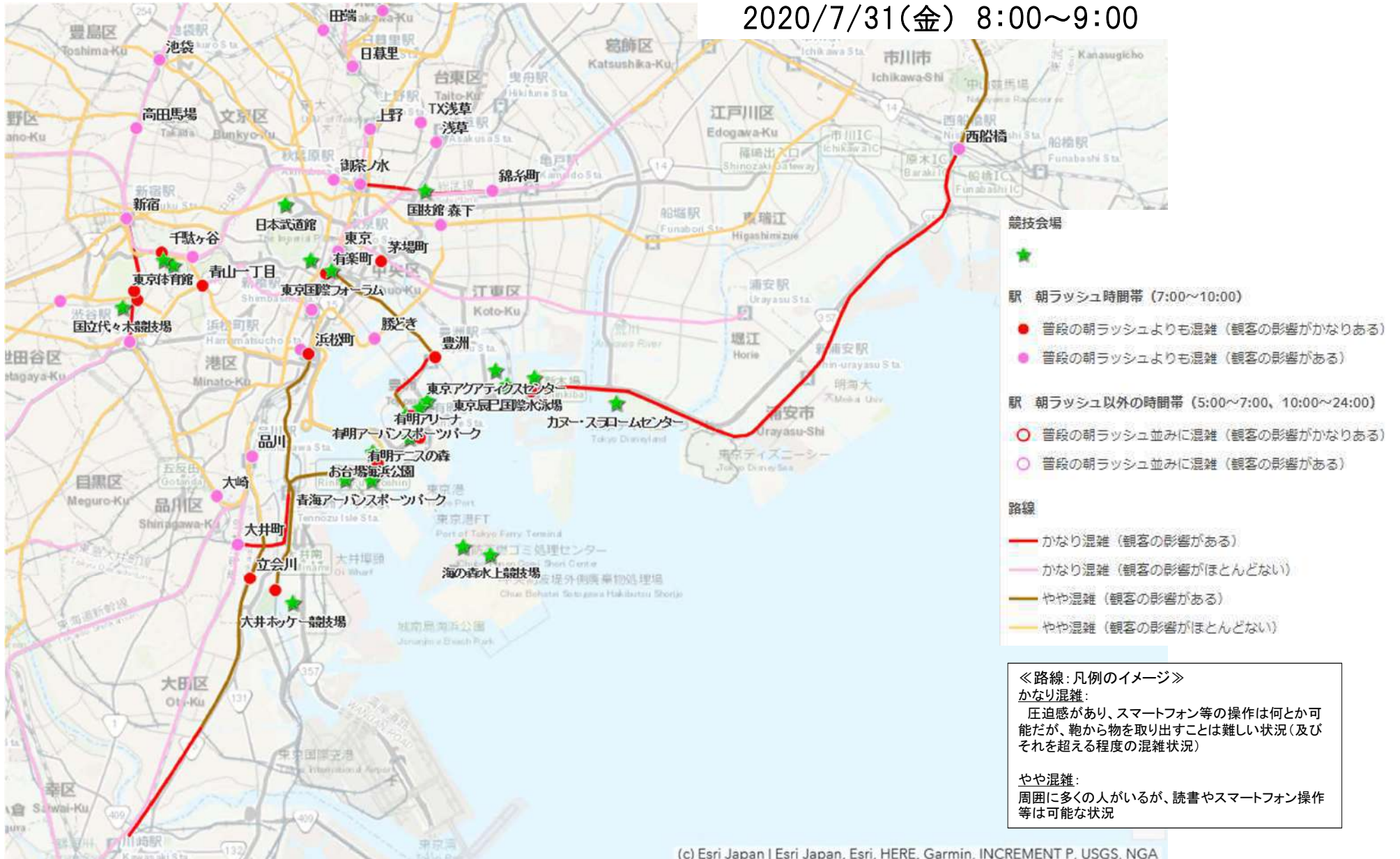


今回公表するマップは2020 TDM推進プロジェクト事務局が、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。大会時の行動をあらかじめ検討する際の参考としてご利用ください。

本マップの作製にあたり、開・閉会式、路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制、TDMによる交通量の低減等、検討中であり、現時点で反映できていない交通条件があります。条件が確定したのから反映していきますので、今後変更が生じることご留意ください。大会輸送による高速道路、一般道路については、2020年における通常時の道路交通の状況に加え、大会期間中に大会関係者が車両により移動するものという前提をおき、その交通状況を表現した交通シミュレーションを実施したものをと、その影響についてとりまとめています。

大会輸送影響度マップ（鉄道 路線全体）

2020/7/31(金) 8:00~9:00



(c) Esri Japan | Esri Japan, Esri, HERE, Garmin, INCREMENT P, USGS, NGA

本マップは2020 T D M推進プロジェクト事務局が、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。大会時の行動をあらかじめ検討する際の参考としてご利用ください。

本マップの作製にあたり、開・閉会式、路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制、T D Mによる交通量の低減等、検討中であり、現時点で反映できていない交通条件があります。条件が確定したのから反映していきますので、今後変更が生じることに留意ください。

大会輸送影響度マップ（鉄道 路線全体）

2020/7/31(金) 17:00~18:00

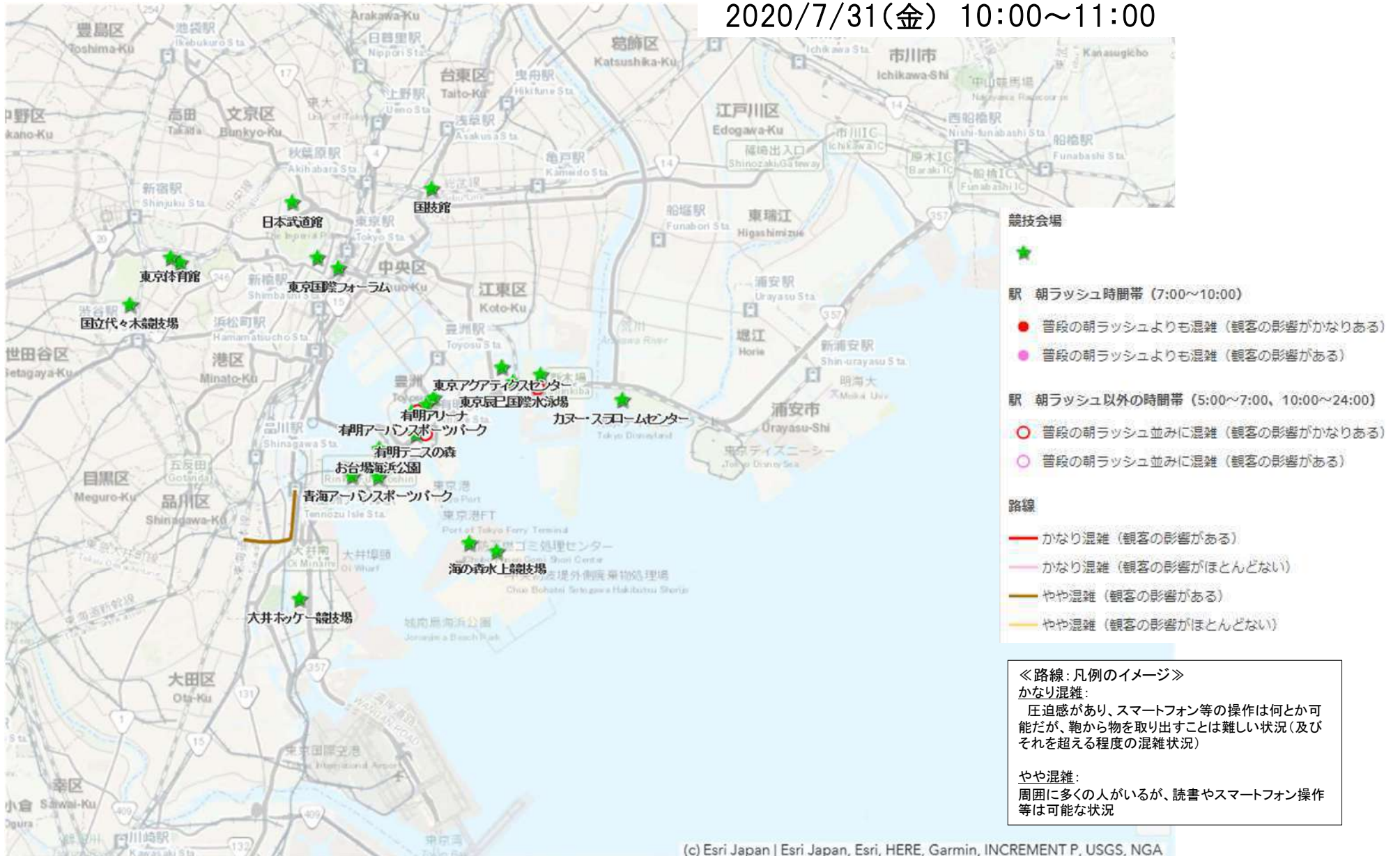


本マップは2020 T D M推進プロジェクト事務局が、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。大会時の行動をあらかじめ検討する際の参考としてご利用ください。

本マップの作製にあたり、開・閉会式、路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制、T D Mによる交通量の低減等、検討中であり、現時点で反映できていない交通条件があります。条件が確定したものを反映していきますので、今後変更が生じることに留意ください。

大会輸送影響度マップ（鉄道 路線全体）

2020/7/31(金) 10:00~11:00



本マップは2020 T D M推進プロジェクト事務局が、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。大会時の行動をあらかじめ検討する際の参考としてご利用ください。
 本マップの作製にあたり、開・閉会式、路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制、T D Mによる交通量の低減等、検討中であり、現時点で反映できていない交通条件があります。条件が確定したのから反映していきますので、今後変更が生じることご留意ください。

大会時の遅延等を想定した所要時間・経路検索システム

任意の出発地・目的地を入力することで、大会時の**所要時間増**や**迂回ルート**等を案内

① 出発地、目的地、
時間帯を指定

② 通常時の所要時間、
大会時の所要時間
を確認

③ 前後の時間帯、
夜間の所要時間
を確認

出発地: 東京都庁
目的地: 東京ビッグサイト(東京国際展示場)
時間帯: 8時 0分
出発 到着

OR/N/PRN回避: ON OFF
高速道路: 利用する 利用しない

再検索

自動車 (大会時ルート)	1時間 21分	高速利用あり	21.0km
自動車 (通常時ルート)	25分	高速利用あり	17.9km
電車	59分		510円 乗換0回

大会時ルート 通常時ルート 電車ルート

東京都庁
都庁北
新宿中央公園北
西新宿3丁目
東京ビッグサイト(東京国際展示場)

他の時間帯の所要時間を見る



同じルートの時間帯別比較

早朝 (4:00~6:00 発)	42分
2時間前 (6:00 発)	1時間4分
08:00 発	1時間21分
2時間後 (10:00 発)	1時間24分
深夜 (0:00~4:00 発)	43分

ルートを表示

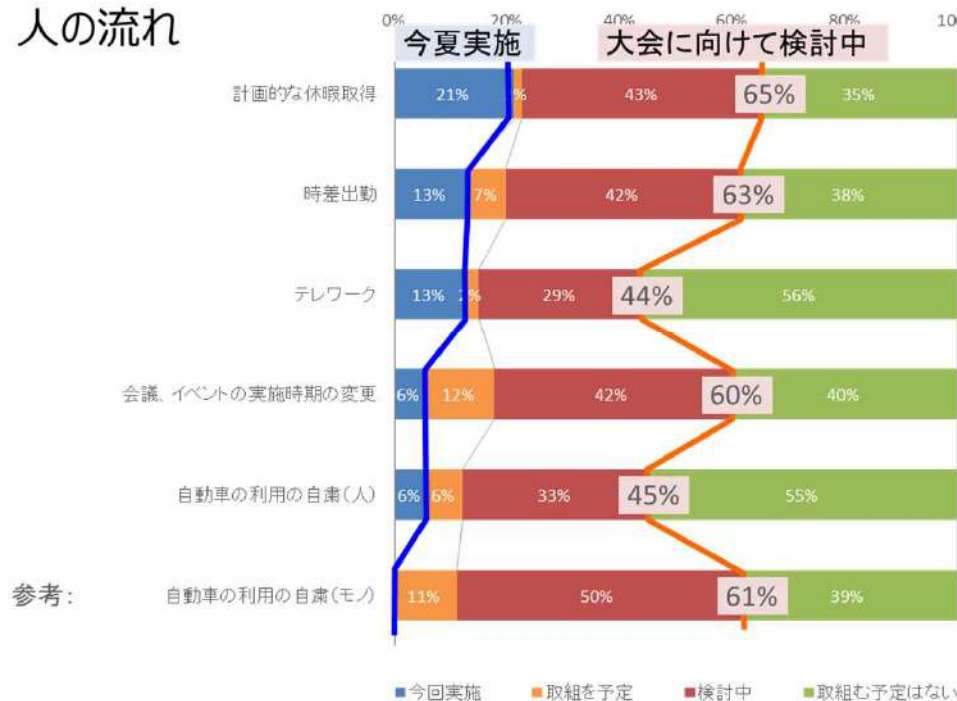
2. 東京2020大会に向けた具体的な取組内容

企業の取組状況（アンケート結果）

スムーズBiz推進期間の取組状況（取組を行った企業の割合）

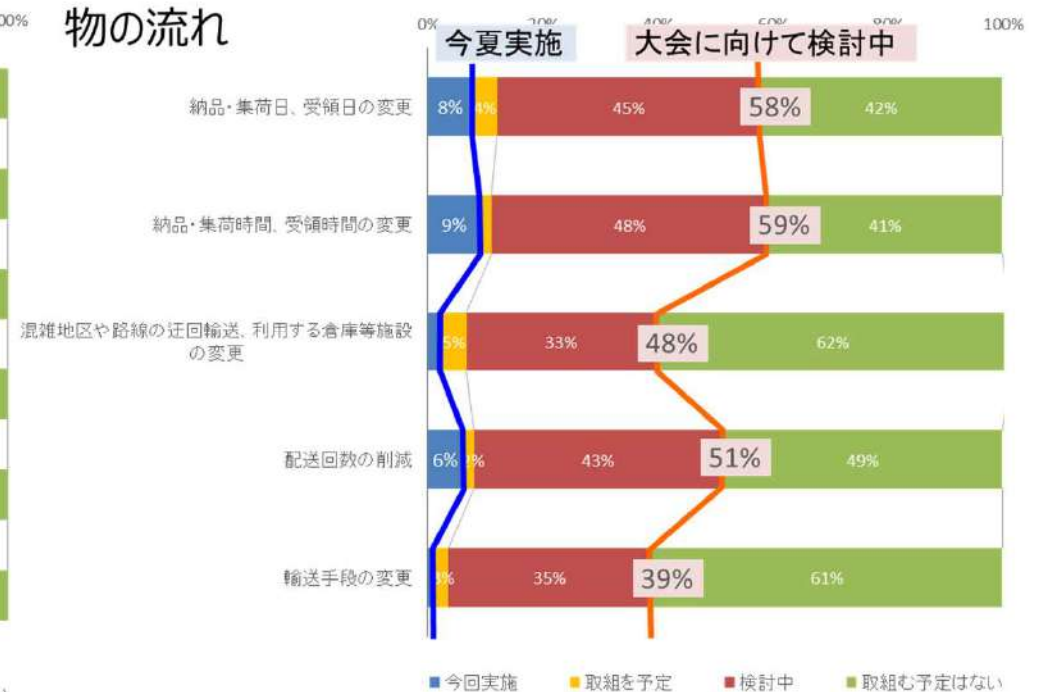
- スムーズBiz推進期間中、「人の流れ」に関わる取組を行った企業の割合は「物の流れ」と比較して高い
- 「今回実施」「取組を予定」「検討中」と大会に向けた準備を行う企業が多数存在

人の流れ



N=2,387

物の流れ



n=1,484

調査概要

- ◆目的：スムーズBiz推進期間中（7/22～9/6）の各企業の取組状況、大会時の取組意向、課題等の把握
- ◆調査票の配布：経済団体・業界団体への会員企業（メール等）、重点取組地区内企業（郵送・ポスティング）、TDM推進プロジェクト会員企業（メール・郵送）
- ◆主な回答者：総務担当者（人の流れ）、物流担当者（物の流れ）

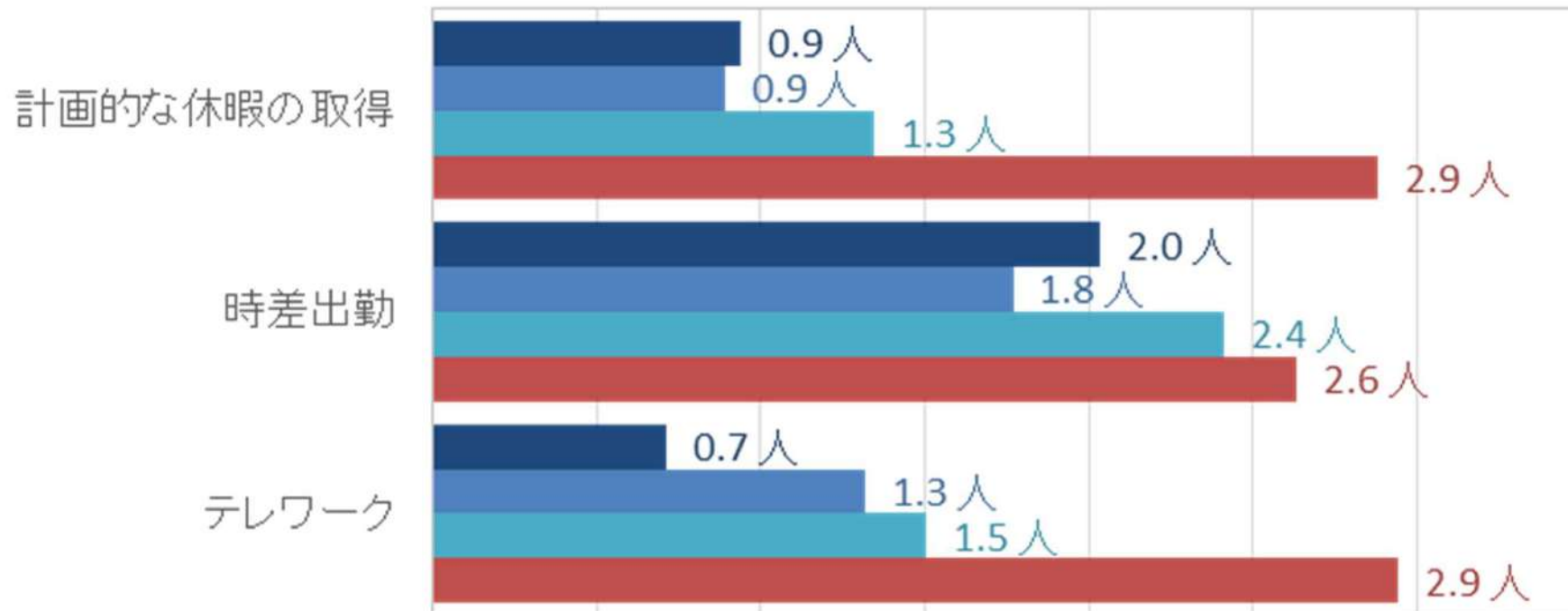
企業の取組状況（アンケート結果）

スムーズBiz推進期間の取組状況（取組を行った人数割合(規模別)：人の流れ）

- 大規模事業所では、中小規模の事業所と比較して、事業所の従業者あたりの取組人数が小さい
- 大規模事業所では、取組割合を拡大していく必要がある

従業者10人あたりの取組人数

0.0人 0.5人 1.0人 1.5人 2.0人 2.5人 3.0人 3.5人



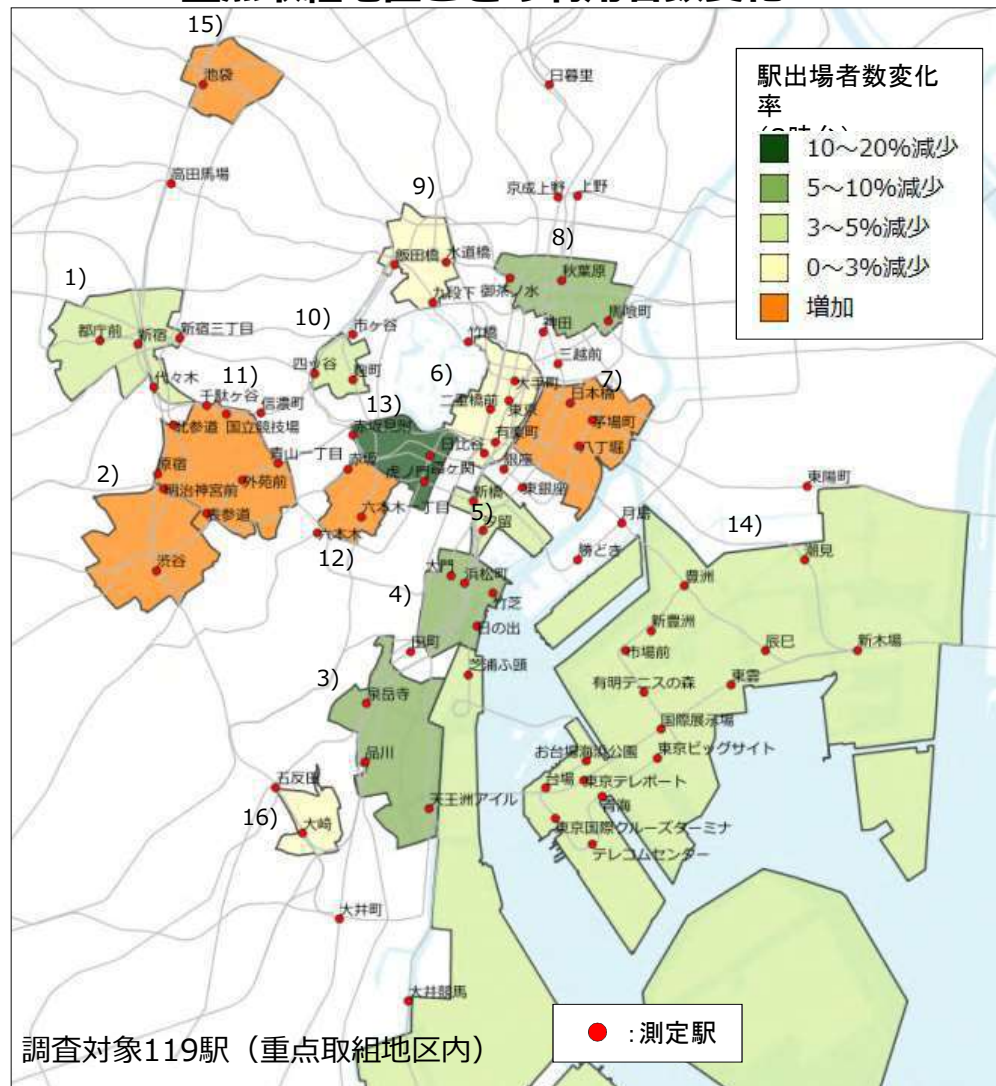
■ 従業者数301人以上 (194事業所) ■ 101人～300人 (125事業所) ■ 31～100人 (258事業所) ■ 30人以下 (198事業所)

※7月22日～26日（チャレンジウィーク）に特に集中して取り組んだと回答した事業所の集計

TDMによる効果（駅利用者数の変化）

- コア日（2019年7月24日）における重点取組地区別の駅利用者数は、
 - ・ピーク時間帯1時間（8時台）において16地区中11地区で減少した
 - ・先導的なTDMの取組を行った地区や日では、利用者数が大きく減少したが、地区により変化率の差が大きい

重点取組地区ごとの利用者数変化 対前年同曜日比較



重点地区別改札出場者数の変化 対前年同曜日比較

重点取組地区	対前年比		TDMによる効果が大きかった駅の例* (ピーク1時間の利用者数の減少率)
	ピーク時間帯	午前中	
13)霞ヶ関・虎ノ門	-15%	-5%	霞ヶ関駅約22%減
04)浜松町・田町	-6%	2%	浜松町駅約12%減
03)品川	-5%	0%	
08)神田・秋葉原・御茶ノ水	-5%	2%	
05)新橋・汐留	-4%	3%	
01)新宿	-4%	0%	都庁前駅約12%減
10)番町・麴町	-3%	4%	
14)晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭	-3%	1%	豊洲駅約10%減
06)大手町・丸の内・有楽町	-2%	2%	
09)九段下・飯田橋	-2%	1%	
16)大崎	-1%	5%	
15)池袋	0%	2%	
12)赤坂・六本木	1%	3%	
07)八重洲・日本橋	1%	4%	
02)渋谷	1%	3%	
11)青山・表参道	6%	4%	
重点取組地区計	3%減	2%増	

※中央省庁（霞ヶ関駅）や都庁（都庁前駅）、民間企業（その他）などにより、TDMの取組等を実施した効果

混雑回避の取組準備の視点

大会輸送と経済活動との両立のため、
混雑を避ける準備をお願いします！

【人の流れ】 雇用主の理解と行動が必要

- ⇒ 制度整備など企業の皆さまの協力が必要
- ⇒ 協力機運を盛り上げて、次のような取組を！
時差ビズ、テレワーク、夏期休暇 等

【物の流れ】 荷主の理解と行動が必要

- ⇒ サプライチェーン全体での協力が必要
- ⇒ 発/着荷主が一体となり、次のような取組を！
配送の時間変更、ルートの変更 等

一般物流に関するヒアリングから

■ 時間指定、リードタイム

「月曜午前10時に持ってきて」

⇒ 受取後の工程と関係なく、単なる慣習で10時となっていないませんか？

「翌日納品」

⇒ 本当に翌日に必要ですか？ 計画的に届くことでは足りませんか？

「輸出入で、複数の海外取引先があり、時期の変更が難しい」

⇒ 前後半年～3カ月をかけて毎月5%程度のコンテナ量の変更は可能ですか？

■ 届け先での滞在時間削減、輸送効率アップ

「長時間待機」「付帯作業」「立ち合い検品」

⇒ ドライバーが届け先に長時間いる状況になっていませんか？

「搬入・搬出の時間が読めない」

⇒ 出入車両を含め、計画的な倉庫の作業スケジュールを組めませんか？

■ 企業連携、共同物流

⇒ トラックの積載率で、余っている空間がありませんか？

⇒ 他の企業と、共同で取り組むことはできませんか？

ご検討をお願いしたい取組の例（1/2）

■ 卸への到着日時の弾力化

ex) 加工食品全体で卸への配送時間を変更

- ⇒ リードタイム延長により、計画的・効率的な配送。
- 同温度帯の配送について、他企業を含め共同配送による効率化。

■ ラインナップの工夫

ex) 期間中は主力商品に絞る。その他の商品は前倒しで納入等

- ⇒ 主力商品に絞ることで、配送車両台数や配送回数を削減。
- 結果的に品切れを防げる可能性。

■ 新商品の発売時期の工夫

ex) 混雑の影響を受けやすい期間中を避け、発売時期を前倒し/後倒し

- ⇒ 期間中は、混雑による配送への影響が懸念され、大々的なプロモーションを仕掛けることが難しい可能性。

■ 検品作業の簡素化

ex) 積載時検品との重複項目削減の徹底、システム活用等

- ⇒ 検品に伴うドライバーの届け先滞在時間が減少。
- 時間が読めるようになれば、計画的な配送で車両数削減の可能性。

ご検討をお願いしたい取組の例（2/2）

■ 訪日外国人向けの商品（免税品）の空港直送、ネット販売の拡大

ex) 直送により、店舗への配送・店舗からの持ち帰りを削減

⇒ 販売側だけでなく、顧客側にとっても持ち帰らなくてよいメリット。
売り上げを落とさず、配送量を削減。

■ ストックの拡大

ex) 期間中の配送は主力商品に絞り、その他の商品は前倒しで納入等

⇒ 事前にストックしておき、品切れを防止。

期間中の配送は主力商品に絞ることで、配送車両台数や配送回数を削減。

■ 配送センターのマネジメント

ex) 混雑エリアへの配送では、センター変更や複数センターからの配送等

⇒ 所管エリアの弾力的な運用等により、混雑エリアの配送も含めて効率的な配送をすることで、全体で配送車両台数や配送回数を削減。

■ 夏のセール時期の前倒し

ex) 混雑の影響を受けない期間前にセールを実施し、売上量への影響回避。

⇒ 期間中は混雑の影響により、例年通りの商品供給が難しい可能性。

前倒し実施で、商品ラインナップ等の充実した顧客満足度の高いセールに。

オフィスでできる対策の例（モノの流れ）

大会期間中は“**遅延**”のリスクがあるため、
納品時間の遅れや、そもそも納品ができなくなる可能性がある

■ 備品やコピー用紙等の納品時期の変更

ex) 大会期間中には事務用品やコピー用紙を納品しなくてもよいように、
大会前後にまとめて納品する。

■ ウォーターサーバーなどの飲料水等の備蓄

ex) 事前にまとめて注文をし、備える。

■ ごみの削減

ex) シュレッダーごみなどを期間中、会議室などにストックする。

ex) ペーパーレス化やマイボトル・お弁当持参によって、ごみを削減する。

■ 宅配便の利用の検討

ex) 大会期間中の宅配便の発送、受取を避ける。（期間、時間をずらす）

■ 社用車の利用の抑制

ex) 大会期間中の社用車の利用を避ける。

これまでの企業の動向から言えること

- ◆ 社内で東京2020大会に向けた対策室をつくり、関係する部署と積極的に調整を行っている
- ◆ 積極的に進める若手リーダーがいる
- ◆ 基盤となる雇用就業規則やルールがある
- ◆ (テレワーク導入など)必要な機器が揃っている
または、導入を予定している
- ◆ 経営層が会社全体の取組として推進している

これから対策を始めるために

【1】 社長（経営層）に対策を進めることへの理解を得る

- 大会時の交通の見通しから
- 自社への影響（従業員の出勤の困難性・物流の滞り）等を報告する

【2】 2020対策の担当部門・担当者を決める

- 会社の規模や自社への影響度合いに応じて担当者の人数を決める
- できれば、総務・物流担当ではなく独立した担当者を

【3】 できることから始める

〔社内で完結するもの〕

- (人の流れ) 時差出勤、テレワーク、休暇の取得
- ➔ 組合との調整・雇用就業規則の確認
- (モノの流れ) コピー用紙等の備蓄・ごみの削減・ペットボトルからマイボトルへ

〔対外的な調整が必要なもの〕

- 荷主と話し合う
- 荷主の立場として配送業者と話し合う
- ➔ あらゆる物資のリードタイム緩和が重要

オリンピック・パラリンピック大会を商機とするために

○ or × ?

東京オリンピック・パラリンピック競技大会は「**商機**」である。
TDMの取組は自社の「**機会損失**」につながる。

「いままで通り」ではモノは届きません。

何も対策をしないという選択肢はありません！

- **発注（納入）時期の調整・変更**
ex) リードタイム延長により、計画的・効率的な配送を実施 等
- **ラインナップの工夫**
ex) 期間中は主力商品に絞る。その他の商品は前倒しで納入等を調整 等
- **人材の確保**
ex) 夜間配送に伴う人材の確保。通勤混雑を配慮したシフトの検討 等

企業の取組事例

人の流れに関する取組

◆ 日本電気株式会社

スムーズBiz推進大賞 大賞

[2020年カレンダー]

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	24 開会式 スポーツの日	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29
31	31	9/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

※夏季集中休日時期は調整中

●原則、全社員が1週間連続在宅勤務

- ✓ 首都圏地区在住の在宅勤務が難しい社員は事業場等の社内サテライトオフィス活用

●全社一斉夏季集中休日

●原則、全社員がどちらかの週に1週間連続で在宅勤務

●パラリンピック観戦を推進するため、2日以上の子次有給休暇取得推奨

モノの流れに関する取組

◆ キューピー株式会社

スムーズBiz推進大賞 大賞

混雑・規制を避ける

交通規制の条件を特定し、
混雑・規制される
コース、日、時間帯を
極力避けた配送を工夫する



翌々日納品

・確実なお届け
・ドライバー不足対応
・配送車両の効率化



・中1日を利用し、
臨機応変な調整をしやすい



簡素な検品レス

・荷役作業の省力化
・ドライバー負荷軽減
・車両混雑の緩和



・納品時間の短縮
・素早く荷下ろし、戻る

◆ 鹿島建設株式会社

3つのモデル現場で現場独自のアクションプランを作成し試行

- ・資機材の搬入、発生土搬出の大型ダンプを兼用し、台数を削減
➡ **工事車両の削減**
- ・搬入出車両の50%を昼間オフピーク時（10～16時）とする
➡ **搬入出時間帯の変更**
- ・ORNを避けた車両動線とし、
延べ約180台/日のダンプ車の往来による影響を抑制
➡ **車両の入退場ルートの変更**

モノの流れに関する取組

◆ アサヒビール株式会社

スムーズBiz推進大賞 推進賞

➔ 物資の移動は3割以上の分散・削減を目指す

物資（原材料や商品など）の移動に関わるもの

区分	検討中の取組み内容	目標
削減	<ul style="list-style-type: none">・ 東京港で受入している原材料（麦芽など）の一部や輸入商品（ワインなど）の大部分の受入時期を前倒し・ 輸入商品（ワインなど）の受入港を東京港以外へ変更	約6%の削減 (約9台/日)
分散	<ul style="list-style-type: none">・ 東京港から茨城工場へ搬入している原材料(麦芽など)、工場（茨城・神奈川）から都内配送センターの転送及び該当エリア内のお得意先様への配送をピーク時間帯以外へ変更	約29%の分散 (約42台/日)

混雑緩和に向けた荷さばき時間帯の変更について

大会期間中の混雑緩和に向けた物流対策への取組み拡大を目指し、大店立地法の取り扱いを決定しました！
荷さばき時間帯の変更など物流対策をお願いします！

【大規模小売店舗立地法の取り扱い】

TDMに協力していただける都内の事業所については、大店立地法に定める届出を不要とします。

【対象事業所】

大店立地法適用事業所のうち、TDMに協力していただける都内の事業所

【対象期間】

- (1) 2019年7月22日（月）から2019年9月6日（金）まで
- (2) 2020年6月1日（月）から2020年9月6日（日）まで

【留意事項】

- (1) 変更を予定している事業所は①変更実施期間②変更する時間帯③変更時間帯に入庫する概ねの台数についてあらかじめ報告すること。
- (2) 周囲の交通状況や道路規制などを確認し、必要最小限の範囲とすること。
- (3) 周辺地域への影響を十分配慮した安全対策と住民対応を実施すること。

東京港のコンテナターミナルのゲートオープン時間拡大について ～年末年始もゲートオープン時間を拡大します～

【実施期間】

2019年12月23日(月)～2020年1月10日(金)まで 計 10日間
(年末年始期間(12月28日～1月5日)を除く)

【実施するコンテナターミナル】

東京港の全てのコンテナターミナル

【ゲートオープンの拡大時間】

2019年12月23日(月)～同月25日(水)・
2020年1月6日(月)～同月10日(金)

【早朝】08:30⇒07:30(1時間拡大)

【夜間】16:30⇒18:00(1時間30分拡大)

2019年12月26日(木)、27日(金)

【早朝】08:30⇒07:30(1時間拡大)

【夜間】16:30⇒19:00(2時間30分拡大)

※18:00(19:00)は車両の受付終了時間

※通常のゲートオープン時間8:30～16:30





冬の
スムーズビズ
実践期間 **やってみよう!**
2020年 **1/14**火 ~ **1/31**金

住んでいる人も、訪れる人も、より快適な東京へ

スムーズビズ
Smooth Biz

時差Biz
テレワーク
2020TDM

3つの取組で、新しい働き方の東京モデル

協力
東日本旅客鉄道株式会社 東武鉄道株式会社 西武鉄道株式会社 京成電鉄株式会社 京王電鉄株式会社
小田急電鉄株式会社 東急電鉄株式会社 京浜急行電鉄株式会社 東京地下鉄株式会社 首都圏新都市鉄道株式会社
東京臨海高速鉄道株式会社 多摩都市モノレール株式会社 株式会社ゆりかもめ 東京モノレール株式会社

東京都

夏の試行に続き、冬のスムーズビズ実践期間を設定いたします。
この機会に、是非、テレワークやフレックス制度、これらを活用した時差出勤など、
多様な働き方にトライし、効果を体感してみませんか。

TDM等の広報予定

時期	年月	2020年					
	12	1~3月	4~6月	7~9月			
主な期間		▼半年前 冬のスムーズビジネス実践期間	▼聖火リレー開始	▼オリ開会式100日前 気運醸成等	▼2か月前 ▼1か月前	オリ期間 TDM実施期間	▼パワ期間 ▼サックスイベント
対象	一般市民	気付き	行動に向けた共感・理解	行動①準備 (ストックの呼びかけ等)	行動②交通行動の変更 (テレワーク等)		
	企業	取組企業の紹介	実践・訓練 (大企業の取組規模拡大) 中小企業の裾野拡大	実行①時期をずらした発注・納品等	実行②休暇・時間帯シフト等		

一般市民向けの広報

- ➡オリンピック開会式の100日前（2020年春先）から実施予定。
ex) 日用品・消耗品の計画的なストックなどについての呼びかけを実施。

今後

- B to C** : 行政側から一般消費者に向けての広報を加速していきます。
- B to B** : 社内や取引先との話し合いや、取組対策についての検討・実施をお願いします。

パラリンピック マラソンコース (2020年9月6日)

パラリンピック最終日 パラリンピックマラソンを盛り上げよう！



《参考》ラグビーワールドカップ2019日本大会
日本代表選手 感謝パレード(12/11)

マラソン T12(男子/女子)(視覚障がい)
マラソン T46(男子) (上肢切断など)
マラソン T54(男子/女子)(脳性まひ以外の車いす)
※上記の実施種目全て、同じコースを走ります

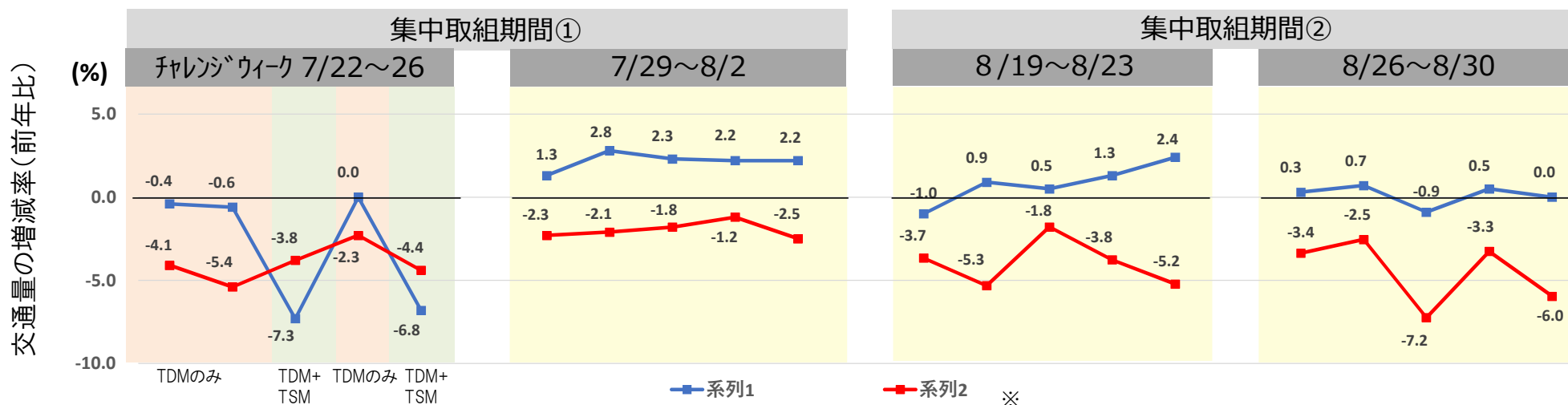
沿道で
応援しよう！

参考資料 – 2019夏試行の検証結果 –

試行期間における交通状況分析

交通量低減の持続性

- チャレンジウィーク期間中の交通量は、TDM効果により首都高 約0.4%減、一般道 約4%減
TDM+TSM効果により、首都高 約7%減、一般道 約4%減
- その他の集中取組期間では、首都高は約0.5%~2%増、一般道は約2~4%減
⇒首都高の交通量低減効果はチャレンジウィーク期間に限定。大会期間を通したTDM効果の発現が課題



※国道1号、4号、6号、14号、15号、17号、20号、246号、254号の15地点の断面交通量の合計

《参考:首都高の通行台数(2018年) 7月平日平均:110.1万台/日大会同時期最大:117.7万台/日》

図 集中取組期間の日別交通量増減率

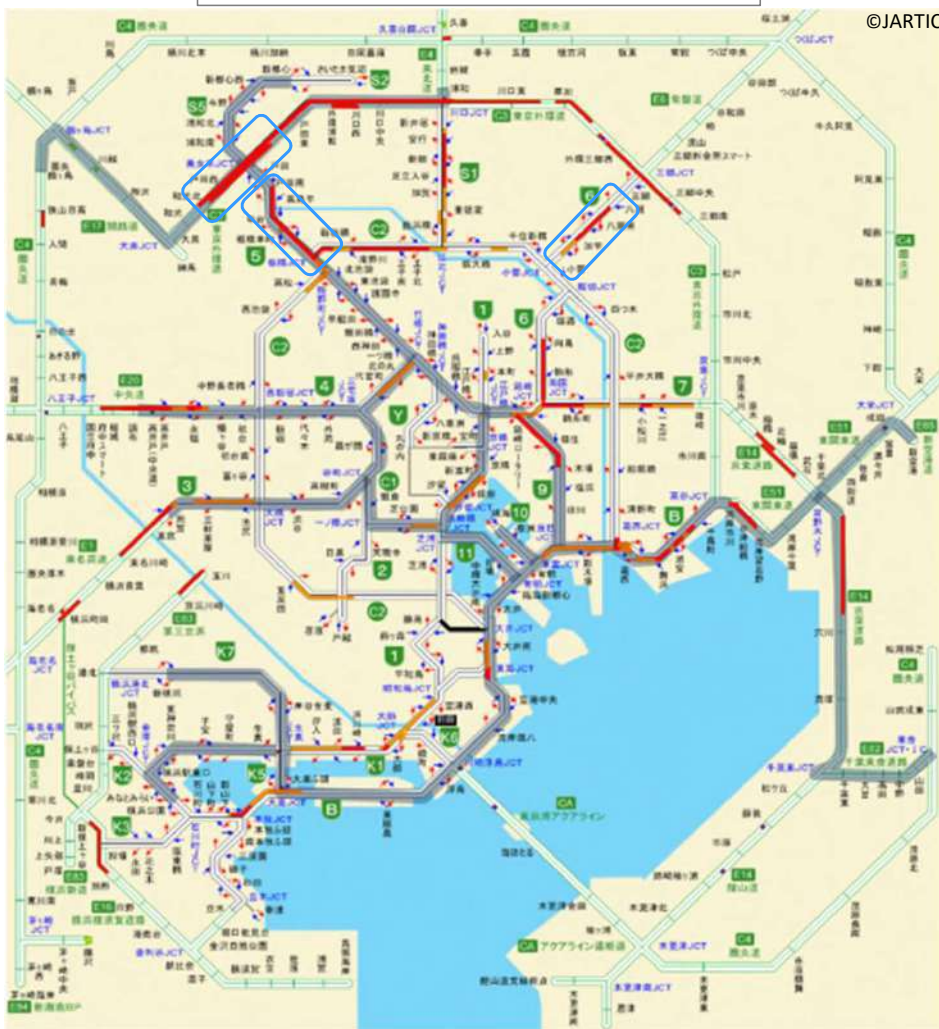
渋滞状況の変化

(TSMによるオリンピック・ルート・ネットワークの交通円滑化効果)

選手等が通行するルートについて、前年と比較して円滑な交通流動を確保可能

2018/7/25(水)8:00 [前年同曜日]

2019/7/24(水)8:00 [TDM+TSM]



本線料金所 (流入調整) 1 1箇所
 入口閉鎖 計 3 1箇所
 晴海、外苑 (上、下)、新都心の4箇所
 2 7箇所追加

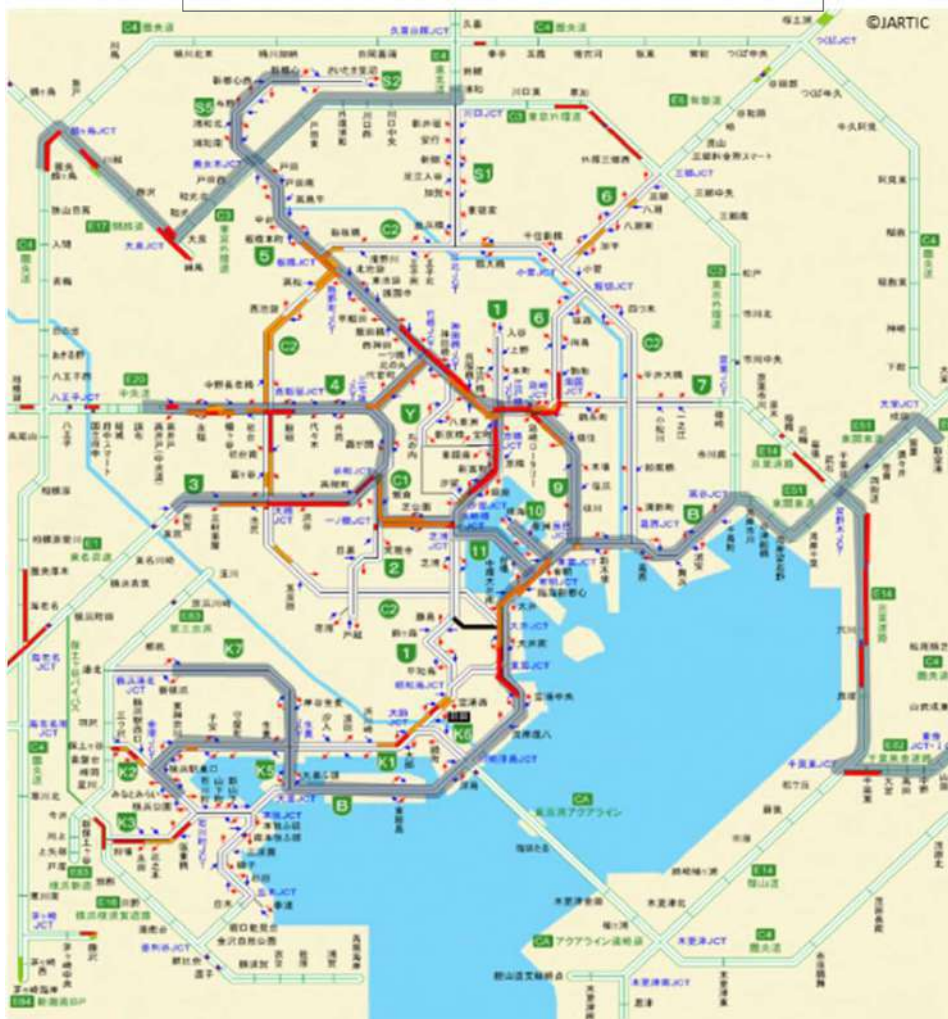
渋滞状況の変化

(TSMによるオリンピック・ルート・ネットワークの交通円滑化効果)

選手等が通行するルートについて、前年と比較して円滑な交通流動を確保可能

2018/7/25(水)17:00 [前年同曜日]

2019/7/24(水)17:00 [TDM+TSM]



- 凡例
- 本線料金所(流入調整)
 - 入口閉鎖箇所
 - オリンピック・ルート・ネットワーク

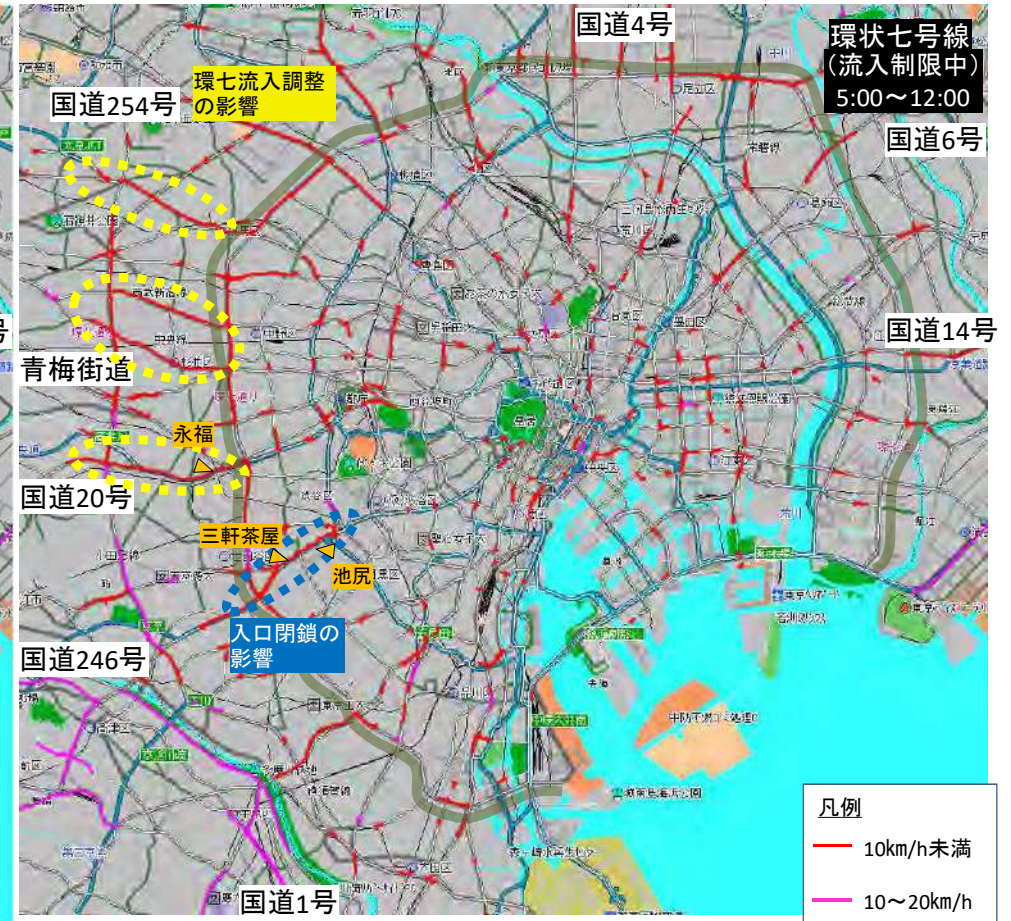
本線料金所(流入調整) 11箇所
 入口閉鎖 計36箇所
 晴海、外苑(上、下)、新都心の4箇所
 32箇所追加

TSMによる影響（一般道での渋滞）

- ・国道246号等、放射状路線において通常時を上回る渋滞が発生

2018/7/25(水)8:00 [前年同曜日]

2019/7/24(水)8:00 [TDM+TSM]



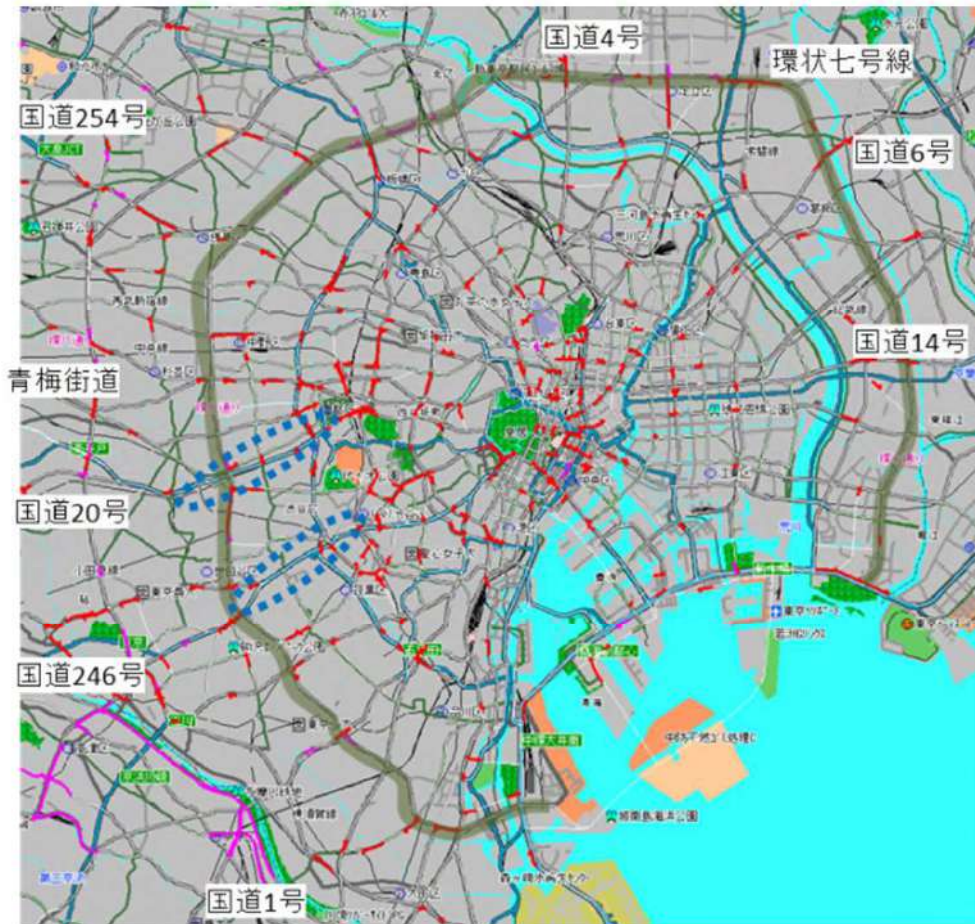
出典：警視庁資料

TSMによる影響（一般道での渋滞）

- ・国道246号等、放射状路線において通常時を上回る渋滞が発生

2018/7/25(水)17:00 [前年同曜日]

2019/7/24(水)17:00 [TDM+TSM]



出典:警視庁資料

企業の取組状況（アンケート結果）

・スムーズビズ推進期間の取組についての課題や改善すべき点

①人の流れ（主要な意見）

○取組の本格化には、社内外の関係者の調整、就業規則の見直し、機器の調達等、事前の入念な準備が必要

<計画的な休暇の取得>

- ◆お盆休みに集中して休む業界であるため、休暇の分散取得は難しい
- ◆夏季繁忙期にあたるため社員の全体的な休暇取得ができなかった。（旅行会社、イベント会社等）

<時差出勤>

- ◆家庭の事情により、対応できない者も多かった。（保育園・デイサービス等の時間が変更不可。）
- ◆就業規則に変則勤務の規定がないため、見直しが必要。

<テレワーク>

- ◆モバイルPCの社員への配布、高速な通信回線の確保、WEB会議などのIT環境の整備
- ◆正社員以外への適用可否の検討

②物の流れ（主要な意見）

○物流の取組の推進には、サプライチェーン全体での協力が必要であり、発・着荷主、物流事業者間の調整、必要なスペース・機材確保等を含め、入念な事前準備が必要

- ◆開催期間においては、日ごとの詳細な計画が必要。
- ◆得意先で協力頂けたところとそうでないところがあった。協力頂けなかった得意先との合意がポイント。
- ◆具体的に納品日の変更等が必要な得意先を絞り込み、事前協議を実施し対応策を作成する必要がある。
- ◆夜間ストック場のキャパシティが小さく、日中輸送が夜間輸送に切り替わったとき、コンテナ置き場が不足しそうである。

今夏ゲートオープン時間拡大のトライアル結果について

今夏におけるトライアルの概要

- ◆ ゴールデンウィーク前後に実施したトライアルに引き続き、今夏のスムーズビズ集中取組期間についても東京港の全コンテナターミナル等でゲートオープン時間拡大のトライアルを実施

[実施期間] 8月19日～8月23日 計5日間 [拡大時間] 早朝 8:30 ⇒ 7:30 (1時間拡大)

※ お盆明けの貨物が集中する時期に実施

夜間 16:30 ⇒ 18:00 (1時間30分拡大)

※ 全ターミナルの受付終了時間(札かけ)を18時に統一

(通常のゲートオープン時間 8:30～16:30)

トライアルの実施結果

1 早朝・夜間の時間帯に車両は分散

- ・ 全体の貨物量は前年同期比で約7%増加
- ・ 全体の車両数の約2割が早朝・夜間の時間帯に来場

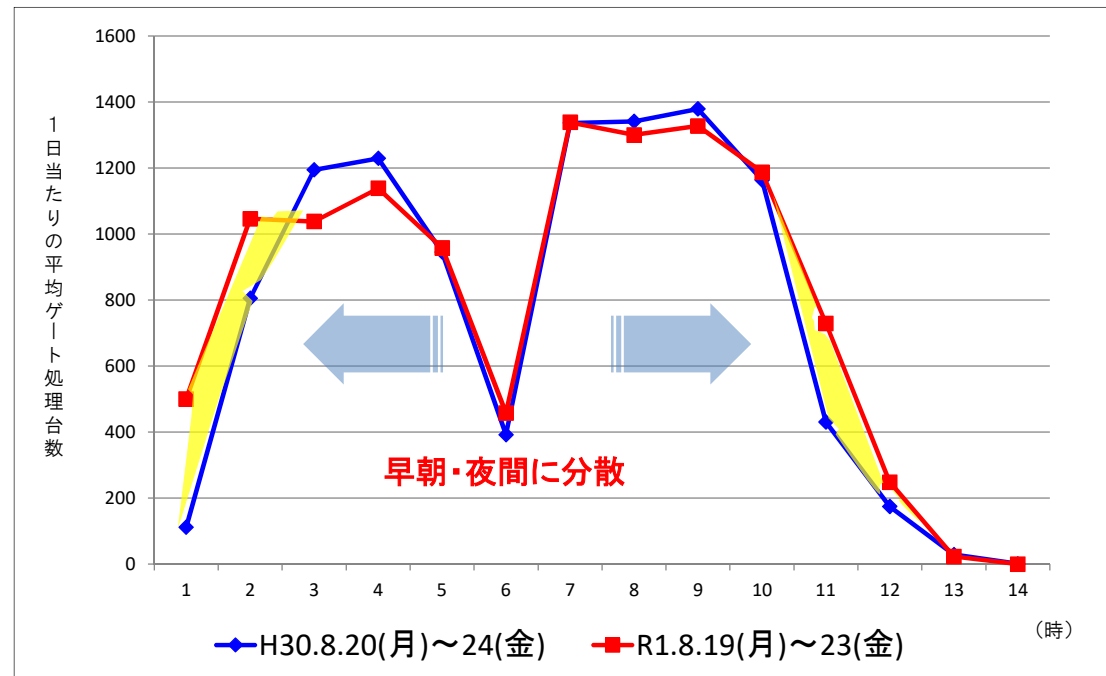
2 早朝のゲートオープンにより午前中のピークは低減

- ・ 9時から10時台に来場する車両が1割減少したことにより午前中の車両が分散化

3 夜間のゲートオープンにより車両は一定程度分散したがピークの低減は少ない

- ・ 通常のピークタイムである14時から16時30分までに来場する車両の一部が16時30分以降にシフト

東京港全ターミナルにおける1時間ごとのゲート処理台数(対前年度比)



今後の取組について

- ◎ 荷主等に対し本大会期間中の①貨物総量の抑制、②輸送・搬出入時間の変更（早朝・夜間配送の促進）などを引き続き要請。
- ◎ 午後の車両のピーク（13時から15時）の分散化を図る必要があるため、対策の周知を早めるとともに、更なるゲートオープン時間の拡大を業界に働きかけていく。

「都庁2020アクションプラン」～2019年夏の取組結果(速報)～

<取組内容>

オフピーク通勤の実施 ★

集中取組期間中は、原則大会時と同程度の規模を想定して、時差出勤やテレワーク等を実施（さらに最重点取組として「都庁完全オフピーク」（8時から10時まで交通機関を利用しない）、「出勤者の徹底抑制」、「全員テレワーク」を実施）

備品やコピー用紙等の納品時期の変更

本庁や出先事業所において、集中取組期間①②中に、前に事務用品・コピー用紙を納品しない

コピー用紙・ごみの削減 ★

ペーパーレス化の推進、古紙等ごみの搬出前・後倒し、粗大ごみ回収時期の変更等により、ごみを削減（大会時の目標：ごみ削減約40%）

都庁発注工事の調整

施工中の道路、上下水道等の約6割の工事において、工事車両の現場出入り時間の調整や、休工日の変更等を実施

庁有車利用の抑制

本庁や出先事業所で利用を控え、利用が必要な場合も高速道路等の利用を控える

<実績>

※集中取組期間①②の実績

- 都庁完全オフピーク
時差出勤、テレワーク等により各取組日で本庁職員*のほぼ全員（約8,600人/日）が実施
- 出勤者の徹底抑制
本庁職員*の3分の1程度に抑制
- 全員テレワーク
端末配備済みの本庁職員*延べ約13,900人が実施
（テレワーク・デイズ期間全体では、延べ約14,900人が実施）

* 窓口業務、警備、2020大会関連イベント業務、育児・介護等で実施困難な職員を除く

昨年7,8月と比較して納品回数を約50%削減
約1,900回 ⇒ （今夏）約920回

昨年7,8月と比較して本庁のごみ総量を約25%削減

期間中に施工中の約6割の工事で取組を実施（工事車両の通行の際に関係者輸送ルートを避けて通行した、工事作業員を一度会社を集めて、会社から相乗りで現場に移動した等）

昨年7,8月と比較して庁有車利用を2%抑制
（本庁 約40%削減）

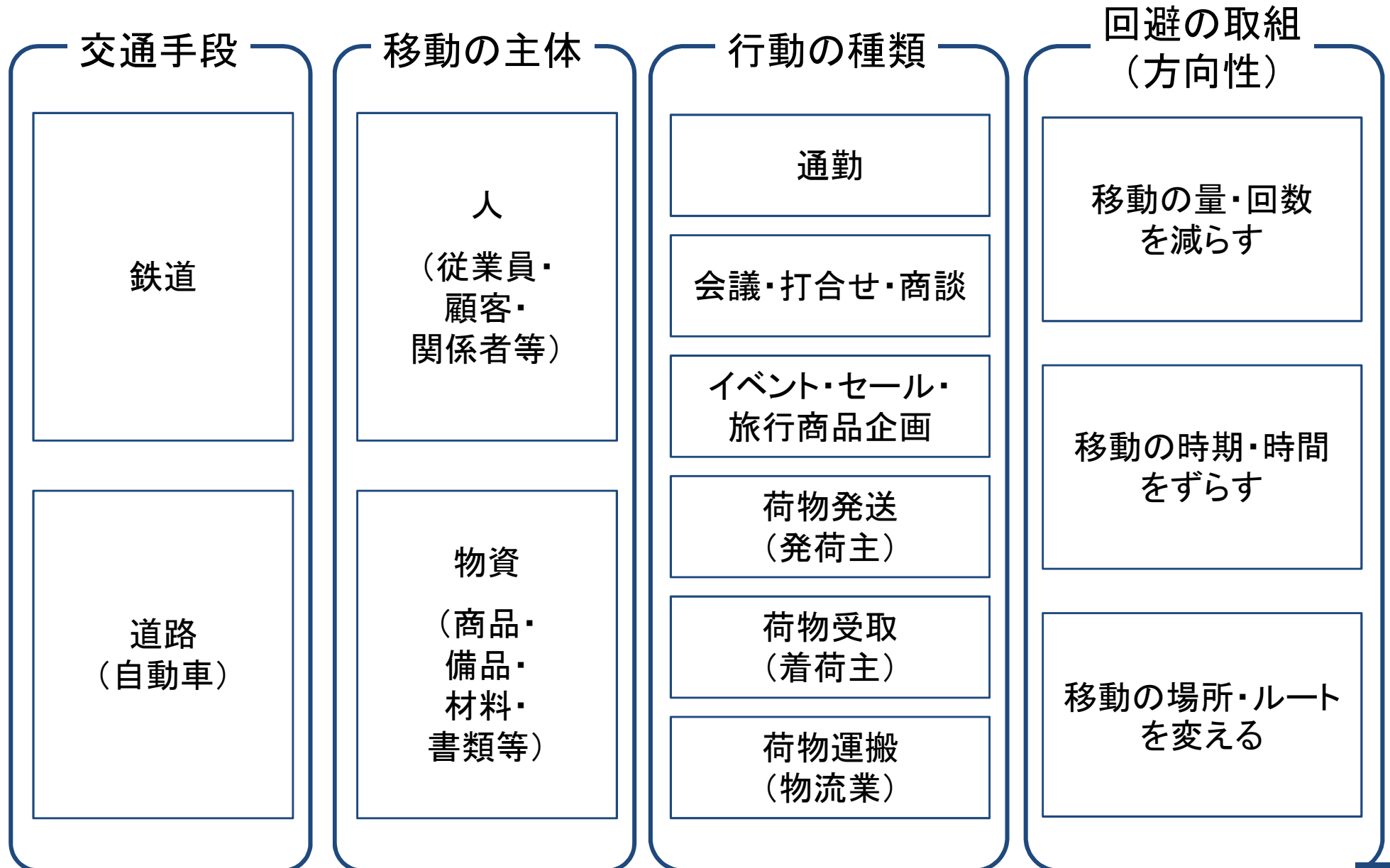
★本庁のみ実施

集中取組期間① 2019年7月22日(月)から8月2日(金) ②2019年8月19日(月)から8月30日(金)

参考資料 – 企業等の取組事例 –

企業の皆さまにお願いしたい取組

事業に伴って生じる移動について、混雑を避ける準備をお願いします！



【人の流れに関する取組】

□休暇の計画的な取得

例：スムーズビズ推進期間中に夏休み！

□時差出勤、フレックスタイム制の導入

例：朝の混雑時間帯を避けて出勤！

□テレワーク※の導入

例：混雑する都心に来ない働き方！

□打合せのメール・電話等での代替

例：移動をとことん減らす！

※テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、在宅勤務やサテライトオフィス勤務、モバイルワークの形態があります。

【モノの流れに関する取組】

□納品時期の変更

例：7月前半に納品を前倒しし、事前に在庫を多く持つ！

□混雑時間・地域の回避・迂回

例：本番時に混みそうな時間やルートを避けた輸送計画の検討
(「大会輸送影響度マップ」をご活用ください)

□荷主やサプライチェーンの 関係者で話し合う

例：届け時間の変更、届け回数の変更
リードタイムの変更、検品の簡素化
他社と一緒に取り組む(共同物流)
等

企業の皆さまにお願いする取組例

人の移動に関わるもの

行動	分類	取組メニュー例	
		鉄道・道路共通	道路
全行動共通	量・回数を減らす	一斉休業／休暇の計画的な取得（夏季休暇・ボランティア休暇・有給休暇）／テレワーク	
		—	公共交通の利用
	場所・ルートを変える	郊外（影響が小さい地区）のサテライトオフィスの活用	
通勤	時期・時間をずらす	時差出勤／フレックスタイム制の導入	
会議・打合せ・商談	量を減らす	メール・電話等での代替	
	時期・時間をずらす	時期の変更（大会前後）／時間帯変更（観客や大会関係者が多く移動する時間帯を避ける）	
	場所・ルートを変える	—	影響が大きい箇所（競技会場周辺、ORN、混雑箇所）を回避した走行ルートの設定
イベント・セール・旅行商品企画	時期・時間をずらす	時期の変更（大会前後に変更）	
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区での企画	

平成31年度・令和元年 支援事業

東京都オリンピック・パラリンピック準備局 → コンサルタントによる個別相談 ※プロジェクトへの登録が必要
 東京都産業労働局 → テレワーク導入に関するコンサルタントによる個別相談

HP(<https://consulting.metro.tokyo.jp/workstyle//>)

テレワークの取組事例・支援事業など：日本テレワーク協会HP(<https://japan-telework.or.jp/>)

企業の皆さまにお願いする取組例

物資の移動に関わるもの

行動	分類	取組メニュー例
荷物発送 (発荷主)	量・回数を減らす	まとめ納品／返品・廃棄の抑制／共同配送／宅配便の営業所持ち込み/仕訳伝票の規格化への協力/パレット・クレート・段ボールの規格化への協力/
	時期・時間をずらす	納品時期の調整（大会前後、半年前等に変更）／夜間発送／昼間オフピーク発送
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区の生産拠点・保管拠点の活用
荷物受取 (着荷主)	量・回数を減らす	まとめ発注・リードタイム（発注間隔）の延長／共同配送／宅配便の営業所引き取り/仕訳伝票の規格化への協力/パレット・クレート・段ボールの規格化への協力/検品レス
	時期・時間をずらす	在庫調整（大会前に受取）／時間指定の変更（朝着→昼間オフピーク着）／夜間受取（検品体制・保管方法の検討）
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区の生産拠点・保管拠点の活用
荷物運搬 (物流業)	量・回数を減らす	車両の集約・大型化（荷捌きスペースの確保）／積載効率のアップ（共同化、帰り荷の確保）/仕訳伝票の規格化/パレット・クレート・段ボールの規格化/
	時期・時間をずらす	幹線輸送の夜間シフト
	場所・ルートを変える	影響が大きい箇所（競技会場周辺、ORN、混雑箇所）の回避した走行ルートの設定

企業の皆さまにお願いする取組例

物資の移動に関わるもの

平成31年度・令和元年 支援事業

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

→ コンサルタントによる個別相談。物流の効率化に関する相談も可能です。

※プロジェクトへの登録が必要

国の支援事業など取組事例

経済産業省:「返品削減」「配送効率化」の進め方手引書

http://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/shh_tebikisyo.html

国土交通省:物流総合効率化法について

<http://www.mlit.go.jp/common/001207261.pdf>

ロンドンの取組事例から

- ① 自社もしくは取引先の影響範囲の特定
- ② 大会前後の時期を活用した納入、多めの備蓄、メンテナンス
- ③ 周辺企業との共同化、荷受け体制、納品場所・方法の工夫
- ④ 中継基地の設置、活用
- ⑤ メンテナンス対応要員の確保。バイクなど移動手段の確保
- ⑥ ATMなど現金切れへの対応
- ⑦ 従業員のトレーニング

①印刷業

- 顧客とサプライヤーに輸送が与える影響について共有し、**大口注文を大会後にずらす**よう依頼した。
- **営業時間の前倒し、在宅勤務、長期休暇取得の奨励、必須人員数・日数の再検討**を実施。

②保守メンテナンス業(建物の設備・電気等の保守)

- 顧客に対し、サービスレベルに影響がある可能性があることを通知。
- 「混雑予想マップ」を利用し、特に混雑が予想されるエリアにある顧客には、**エンジニアが小型バイクや自転車で移動を計画した**。
- 特に混雑が予測されるエリアの顧客先の近隣に、複数スキルのある**エンジニアを待機配置した**。
- 保守に必要な**スペアなどをエンジニアが使用する車両に備蓄した**。
- 大会期間中は、**ATMの利用が増えることから**、保守に必要な十分なエンジニアを確保できるよう、休暇取得などの管理を実施した。

③建設業

- 同一車両による**複数現場への一括配送**を実施した。
- 最混雑エリアにある現場では、**廃品回収業者と時間外の回収**を実施することで合意した。

④運輸業

- ロンドン中心部での**自転車配送**を導入。2012年1月から2月に**テスト運用**を実施した。

⑤大手新聞社

- (配送)記事編集の担当部署とも事前調整を実施。記事の締め切り時間を計画できるように、**配送トラックの出発時間を記事編集部署と共有**した。
- (販売)保管場所を増やすため、駅の駐車場に**コンテナを設置し、配送拠点**とした。

⑥医療用ガス供給

- 混雑マップを使用し、影響の大きい地域にある医療機関や在宅患者を郵便番号でマッピング。当該先には大会前に多めにガスを供給した。

⑦リネンサプライ

- 時間外配送を実施。顧客には、①代替納品場所の指定、②顧客先が不在時の納品場所へのアクセス(合鍵、パスコード)を要請した。
- 所属する業界団体にも、自社の取組を共有し、業界やサプライチェーン全体で危機感を持って準備態勢が整うよう働きかけた。

⑧ショッピングモール

- 各テナントに対し、事前に在庫を多めに持ち、期間中の配送を減らすよう要請した。
- テナントが暫定的に在庫保管用の倉庫として使用できるよう、大きなコンテナを複数用意した。

⑨ドラッグストア

- 大会の影響が大きい店舗を特定した。
- 期間中必要な商品、数を特定し、店舗内の空きスペースの活用を検討した。
- ロンドン市外から市内店舗への長距離輸送貨物は、一旦中継ベースに集荷し、その後店舗配送することで長距離ドライバーの法定労働時間の超過を回避した。

⑩スーパーマーケット

- ATMの現金切れを防ぐ計画を立案した。
- エンジニアを原付バイクなどで派遣し、メンテ対応した。
- 店舗や社屋の設備点検を前倒しで実施した。

⑪ レストラン

- 食材の配送タイミングを大会前後の1週間にずらした。
- 6月に通常時の2倍の発注をした。
- 近隣レストランと相談し、お互いの荷受けをまとめて行う協力をした。
- 近隣レストランとナプキンなどのリネンを同じサプライヤーから調達した。

⑫ ホテル

- 混雑時間をさけた出勤シフト、自転車通勤の奨励をした。
- 保存のきく品物を大会前に多めに備蓄した。
- フロント以外のバックスタッフにも顧客対応トレーニングを実施した。

⑬ショッピング街

- 多くのオフィスで同じような品目の購入、納品がされていることが判明した。
- 文房具、宅配、飲料水、昼食など優先業者を選定し、トラックよりも小型で駐車スペースを取らない配達用自転車を使用した納品体制を整備した。
- 在庫集約センターを設立した。小売業者は集約センターへの納品を依頼した。

出展：<http://www.tfl.gov.uk/gettingaround/london2012/>（現在、ページは閉鎖）より
東京商工会議所の協力を頂き作成。

◆ 株式会社JTB

東京都内の支店・店舗のフルタイム勤務者を対象

- ①弾力的な勤務シフト（早番・遅番シフトなど）
- ②年休取得（時間単位年休、半年休を含む）
- ③在宅勤務
- ④夏期休暇の取得

◆ 鹿島建設株式会社

3つのモデル現場で現場独自のアクションプランを作成し試行
（江東ポンプ所、JR浜松町駅東側橋台、マンション新築）

- ①有給休暇の計画的な取得
- ②通勤車両の削減
- ③夏季休暇の期間を変更
- ④工事車両の削減
- ⑤搬入出時間帯の変更
- ⑥車両入退場ルートの変更

企業の取組（スムーズBiz キックオフイベントより）

◆ ヤマトホールディングス株式会社

- ①交通予測に基づいた物流ネットワークと配達時間のコントロール
- ②再配達抑制による交通量削減
- ③外国人観光客へのハンズフリー推進による鉄道混雑の緩和



◆ 東京都社会保険労務士会

- ①企業、会員向け「働き方改革支援セミナー」の開催
セミナー参加企業及び会員にスムーズBizを周知・広報
会員は、顧問先企業等に対し、積極的な周知・広報活動を実施
- ②広報活動の実施
機関紙「社労士TOKYO」（月刊・11,000部発行）や会員サイトで、スムーズBizを周知・広報

企業の取組（スムーズBiz キックオフイベントより）

◆ 株式会社SMBC信託銀行

1. 休暇取得



「夏休みプラスワン」

- ・有給休暇取得率100%を目指す
- ・働き方改革へのさらなる意識強化

3. 時差Biz



「時差Biz100」（人事部試行中）

- ・全スタッフの時差出勤試行
- ・期間中の混雑緩和への貢献

2. テレワーク推進



「テレワーク50」（人事部試行中）

- ・50%のスタッフがテレワーク勤務
- ・多様な働き方と効率性の共存

4. 会議禁止



「ブラックアウト期間」

- ・夏2週間、主要会議は原則禁止
- ・メリハリのある全社の業務推進



◆ 全日本空輸株式会社

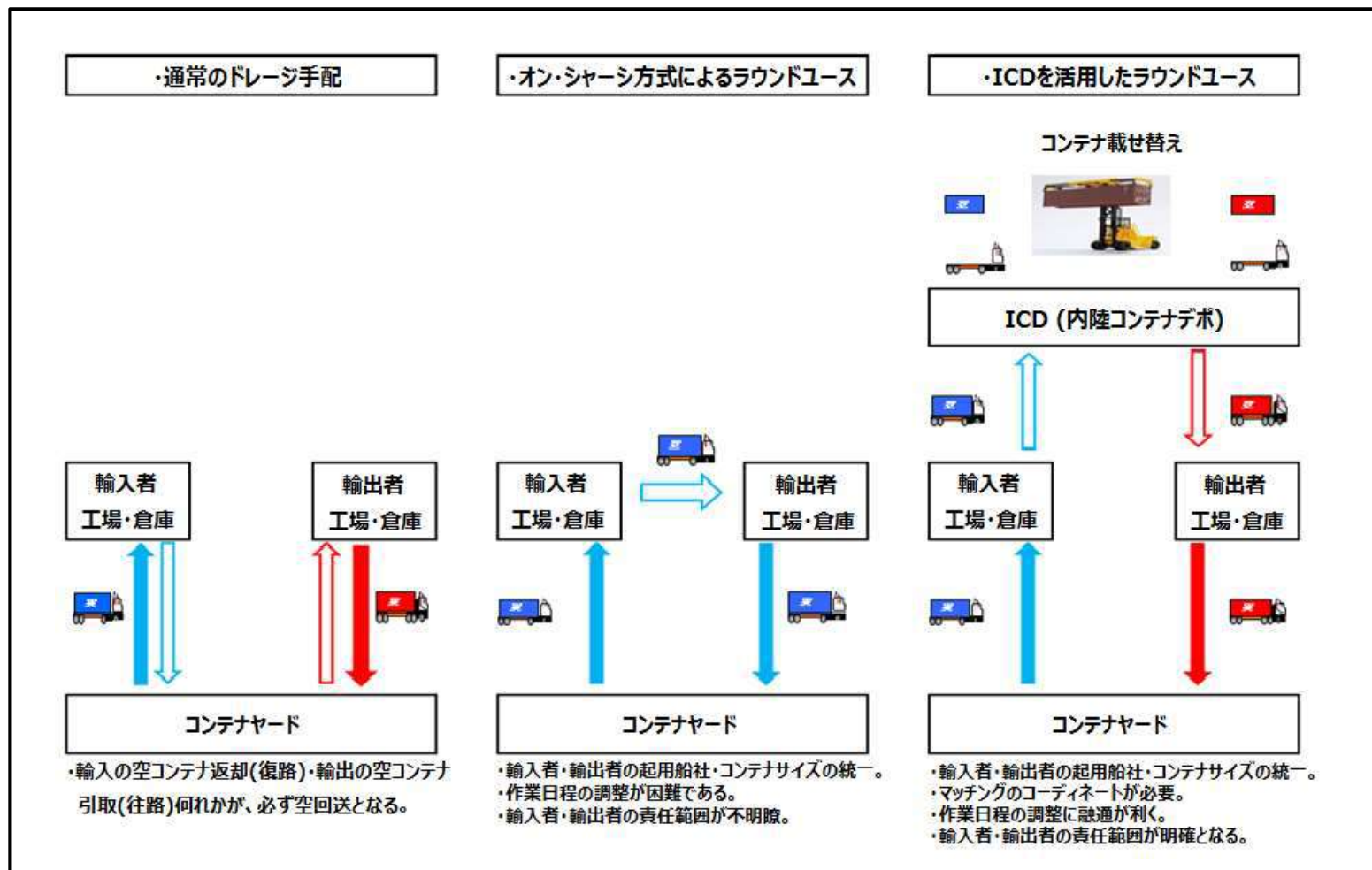
新しい夏の働き方を提案 「テレさとワーク」
～お盆期間の前後に帰省先（ふるさと）にてテレワークを実施～
ワークとライフの質の向上を促進することに加え、
テレワークによる柔軟かつ多様な働き方を推進していきます。
※テレさとワークの「テレ」＝テレワーク、「さと」＝ふるさとから引用

企業の取組（スムーズビズ キックオフイベントより）

◆ ケービーエスクボタ株式会社（1/2）

・コンテナラウンドユース(CRU)

通常往路復路いずれかが必ず空回送となる輸出入コンテナ輸送において内陸にて空になった輸入コンテナを港へ空返送せず、別の輸出コンテナとして利用する事により空コンテナ輸送量 = 総走行距離を低減しコンテナ輸送環境を効率化する

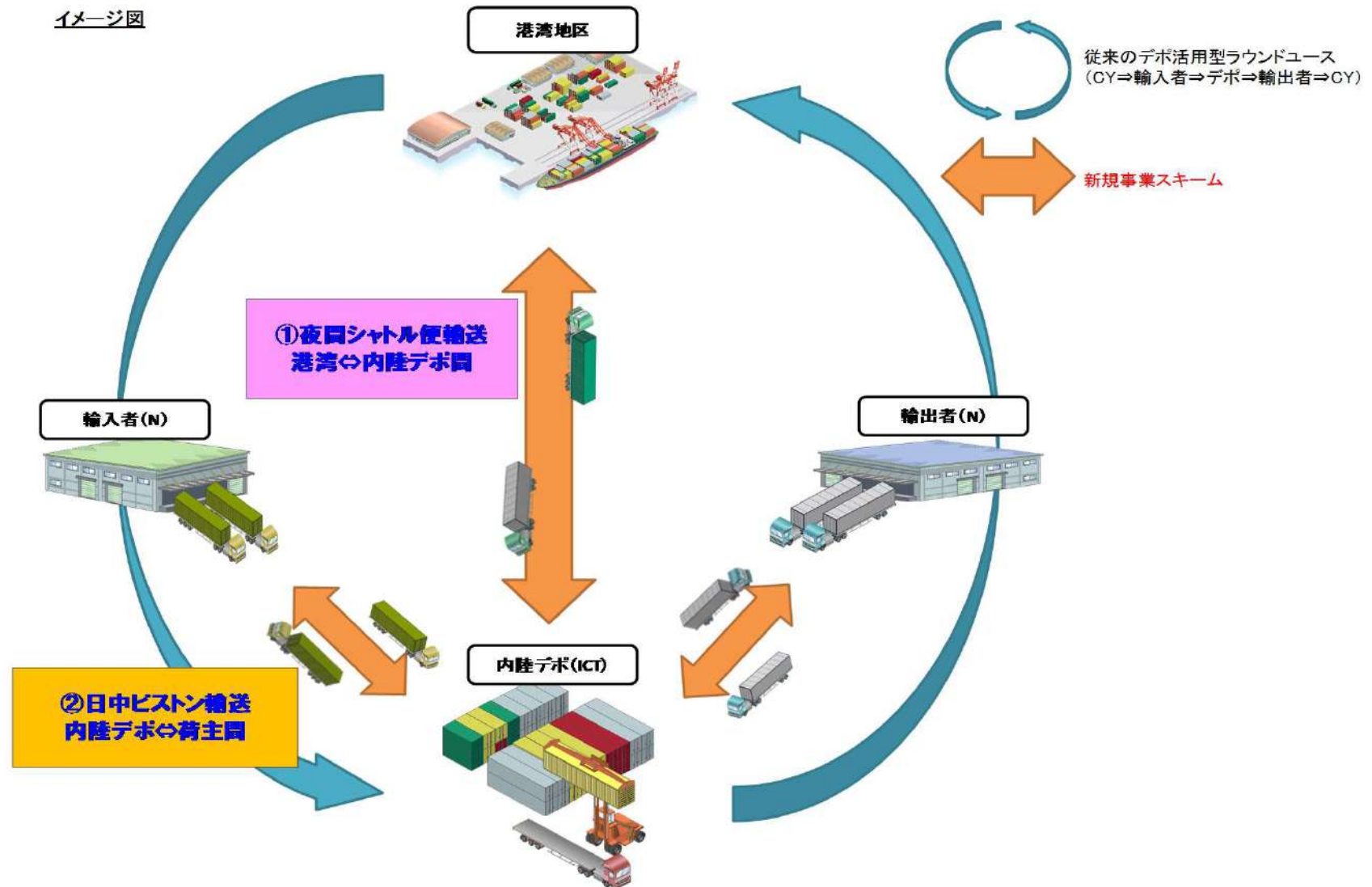


企業の取組（スムーズビズ キックオフイベントより）

◆ ケービーエスクボタ株式会社（2/2）

・シャトル輸送

港湾エリアと内陸デポ間を往復するシャトル輸送と、内陸デポと荷主間を往復するピストン輸送を組み合わせる事により、荷待ち時間の低減など輸送環境の効率化を更に促進する



◆ 向洋電機土木株式会社

「現場事務所」をサテライトオフィスとして設置

◆ 住友商事株式会社

- ・ テレワーク活用促進策
- ・ スーパーフレックスを利用した時差Bizの奨励
- ・ アワード創設

(Workstyle Transformation 2019)

◆ トヨタ自動車株式会社

- ・ コア日の7月24日(水)を含む計4日間、東京地区勤務者を対象に、原則終日在宅勤務トライアルを実施

2019年7月22日～2019年9月6日

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 山の日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

“テレワーク・デイズ2019”
計5日間以上の実施を呼びかけ
※都内企業は、2019年7月22日(月)～8月2日(金)、8月19日(月)～8月30日(金)に集中実施

◆ 富士通株式会社

- 1週間連続のテレワークを推進
対象：重点取組エリアに勤務する社員（28,000人）
期間：集中取組期間（7/22～8/2, 8/19～30）のいずれかの週
- 東京2020大会期間中は、夏季休暇（一斉年休を含む）取得と1週間連続のテレワーク実施により、**重点取組地域内への従業員の流入を70%減**とすることを目指す

◆ 三井住友海上火災保険株式会社

- 東京2020大会に向けたこれまでの準備
➡在宅勤務、時差出勤、モバイルワークの環境整備（2万人を対象）
- 2019年6月下旬より、**約200名で強化取組をスタート**
 - 本社（お茶の水）を中心に約5,000名が対象
 - 勤務パターン（モデル）を提示し、各自が選択
 - 期間は7/22～9/6
重点日（7/22～8/2、8/19～8/30）



卓上POP

◆ 味の素株式会社

	MAPのエリア	配送区分	対応策 (案)	ポイント
	TDM重点取組地区	最重点	早朝・夜間配送 検品の簡素化 倉出の促進	<ul style="list-style-type: none"> 大会で最も混雑するため配送時間を変え、検品も簡素化し速やかな納品を進める。 直送から倉出しの促進
	首都高内側			
	会場半径5km以内			
	外環道内側	重点	定曜日配送 検品の簡素化	定曜日配送と検品簡素化で納品作業を効率化する
	圏央道内側	対象	午後配送	混雑する午前から納品時間を午後にする。
	全エリア (全国)	-	N+2・パレット	リードタイム延長による車両確保と乗務員の荷卸しを効率化を進める

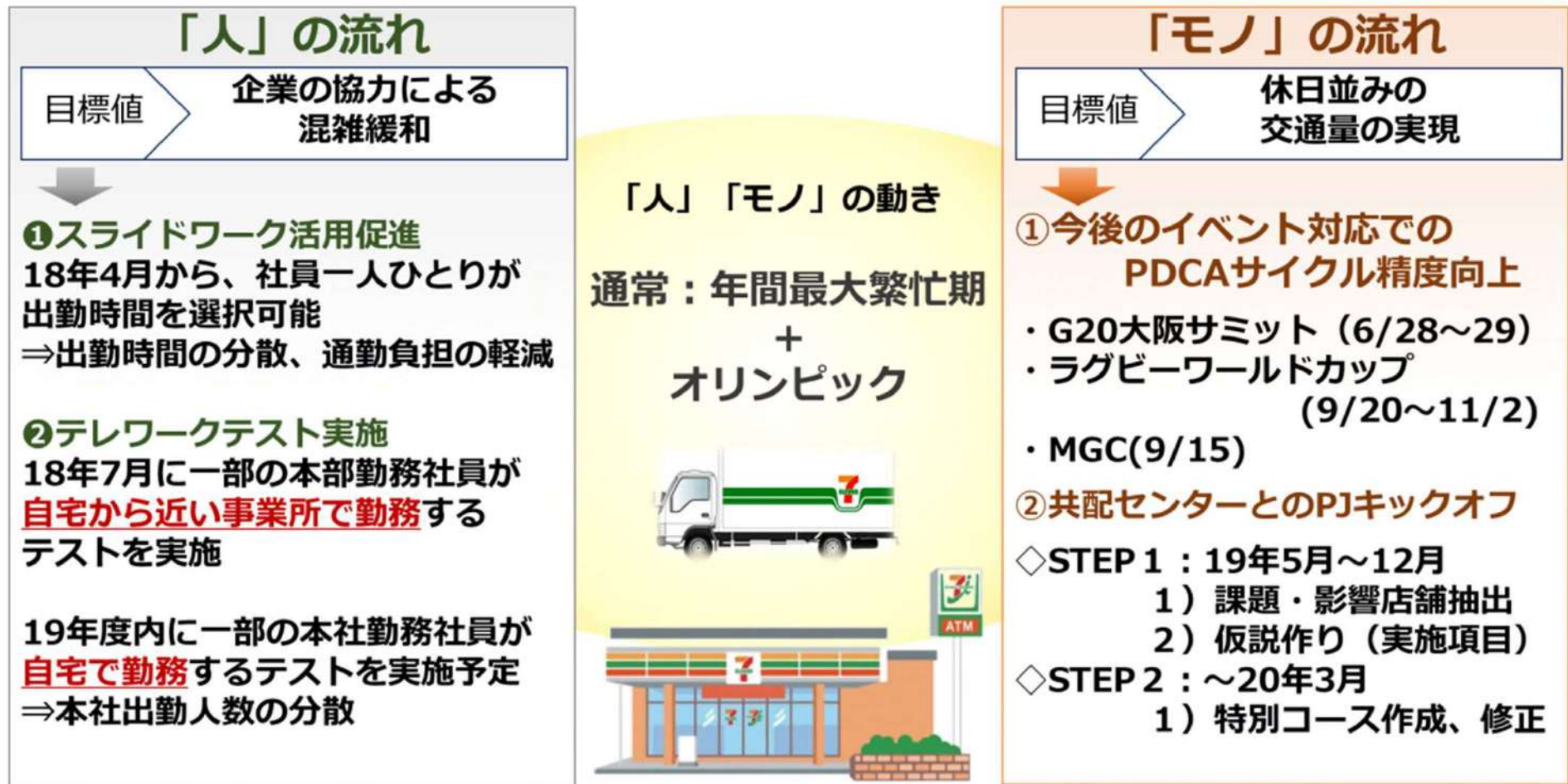
■ 1)TDM重点取組地区内
 ■ 2)首都高内側
 ■ 3)会場半径5km以内
 ■ 4)外環道内側
 ■ 5)圏央道内側
 ■ 6)圏央道外側

届け先数
 CS (ケース)
 グロス重量 (kg)



小規模な外食の卸店様や
 業務用ユーザー様が多い

◆ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン



◆ 東京ガス株式会社

- ・ **物流を減らす** (発注量の調整・発注時期の調整・お客さまとの調整等)
- ・ **人を減らす** (休暇取得促進・在宅勤務・サテライトオフィス利用・時差Biz)
- ・ **業務を減らす** (業務量の調整・業務時期の調整・協力企業との調整等)

◆ WeWorkJapan 合同会社

テレワーク・デイズ WeWork **無料トライアルの実施**

期間：2019年7月22日～8月30日

拠点：WeWorkオーシャンゲートみなとみらい（横浜）

WeWorkメトロポリタンプラザビル（東京・池袋）

WeWork御堂筋フロンティア（大阪） / WeWorkなんばスカイオ（大阪）

◆ 愛媛県西条市

- ・ 2016年4月から、**小・中学校職員を対象にテレワーク導入**開始
 - ・ 個人所有PCを利用（※持ち帰り仕事を推奨するものではない。）
 - ・ 2019年2月現在で**59.2%**が利用。
- ➡育児や介護との両立のために「なくてはならないもの」として利用する先生が多い。
テレワーク導入後、校務の省力化、教職員の満足度向上等の成果があった。

◆ シスコシステムズ合同会社

- ・ **すぐにテレワークをスタートできるパッケージを提供**
- ・ 対象企業規模：従業員300名以下

◆ 株式会社セールスフォース・ドットコム

- ・ 柔軟な働き方の啓発

地方自治体と協業した生産性を高める働き方マインドチェンジ、デジタル人財育成

スムーズBiz推進大賞受賞企業・団体

スムーズBiz推進期間中（2019年7月22日～9月6日）に
意欲的・先進的な取組を行った企業や団体を「スムーズBiz推進大賞」として表彰しました

◆大賞（5社）

キューピー株式会社、シックス・アパート株式会社、東急株式会社、
東京地下鉄株式会社、日本電気株式会社

◆推進賞（10社・団体）

アサヒビール株式会社、e-Janネットワークス株式会社、
オリンパス株式会社、京王電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、
コニカミノルタジャパン株式会社、TDMテレワーク実行委員会、
株式会社伝三郎商会、東武鉄道株式会社、凸版印刷株式会社

◆特別賞（3社・団体）

【エリア連携賞】	浜松町駅周辺TDMプロジェクト
【フューチャー賞】	MINDS
【パイオニア賞】	吉江社会保険労務士事務所

（※五十音順）

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 大賞》

キューピー株式会社



取組概要

物流面

無駄のない配送の構築：無駄のないコース、高い車両効率、納品時間短縮

① 混雑・規制を避ける

交通規制の条件を特定し、
混雑・規制される
コース、時間帯、日を
極力避けた配送を工夫する
効率的にお届けするため

着荷主様に対して啓発

- ・事前のご注文
- ・制約のある配送 を行う
(時間指定不可、早朝、深夜など)

② 翌々日納品

確実なお届け

- ・配送車両の効率化

- ・中1日を利用し、
臨機応変に調整

全てのお客様にお届けできるよう、行政・業界と
連携し、加工食品物流を効率化・強靱化

③ 簡易な検品レス

ASN(事前出荷情報)活用

荷受業務の省力化

- ・ドライバー負荷軽減

- ・納品時間の短縮
- ・素早く荷下ろし、戻る

実施内容

- ① 重点取組地区をまたぐ4ルートで、**時間帯をずらし**配送影響を確認
→混雑回避の効果と、発着拠点での備え(・課題)が明らかになった
- ② **18年お盆から繁忙期毎に実施**。車両確保が厳しい中、お届けできた
- ③ **運用方法を固め、テスト実施、検証**。荷受業務の省力化へ

人流面

2020年夏の交通混雑緩和に貢献すべく、
準備委員会を設立



実施内容

- 働く**時間**の柔軟性
 - ・フレックスタイムの実施
 - 働く**場所**の柔軟性
 - ・在宅勤務
 - ・テレワーク
 - ・サテライトオフィスの活用
- を実施

2020年夏に向けて、最も効率的な
働き方を一人ひとりが考え、活用できるようにする

啓発活動

上記の取組をスムーズBizキックオフイベント や ロジスティクスカンファレンスにて紹介

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 大賞》

シックス・アパート株式会社



取組概要

出社不要の働き方 SAWS

必要な時のみ出社。地方への移住が進み、他社・自治体との連携も。



- **社内推進:** 2016年夏のEBO (従業員買収) による独立時、以前の1/3サイズのオフィスへの移転とともに開始。半期で4千万のコスト削減に繋がる。
- **自由な働き方を支援:** 業務環境作りのための手当 (1.5万/月) を全社員一律で支給。
- **目的は個人のQOL向上:** 残業時間はSAWS開始以前より少なかったため変わらず。通勤が無くなりQOL向上に。

各地で働く社員

都外在住、帰省・旅行先でのワーケーション



「必要な時のみ出社」の対象は全社員。出社は月1-2回程度のため、社員の半数以上は長野、茨城、群馬など都外に在住。帰省や国外旅行中のワーケーションも頻繁に実施。

普及啓発 <自治体>

青森県や秋田県大館市などの

自治体とテレワーク推進の取組を実施



2018年6月
青森の中学生向け
キャリアセミナー
@神保町オフィス

2019年8月
高校生向け
Web制作講習会
@青森商業高校

2019年8月
秋田県大館市サテライト
オフィス事業に参加し
現地で子連れワーケーション

2019年8月
セミナー開催
北鹿新聞に掲載

災害時事業継続 (BCP)

サイト安定運用を支援

当社の主要製品であるウェブサイト構築システム「Movable Type」は国内各地の自治体や省庁で利用されている。緊急時こそ重要なウェブサイトの安定運用を支えるのは当社の責務。

クラウドを活用し社員の安全確認と事業継続の仕組みを構築することで、災害時にも利用者サイトの継続的な情報発信を支援。



企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 大賞》

東急株式会社



東急



東急電鉄

取組概要

取組内容・運用上の工夫

- ・スマチヨポイント累積者への特典配布
 - ・ワーケーションイベントなど働き方の選択肢の拡充・浸透
- ⇒総合的・継続的に柔軟な働き方を選択できるきっかけ作り

従業員



- ・オフピーク乗車、シェアオフィスの早朝利用等で特典付与
 - ・朝活講座の実施
- ⇒通勤時間帯の多様なスタイルを提案

お客様



社内推進体制



効果・実績

従業員

- ・スマートチョイス浸透率 83%
- ・朝方勤務実施者 1日平均160名
- ・テレワーク実施者 1日平均121名
- ・休暇取得者 1日平均143名

お客様

- ・時差Biz臨時列車 約1,800名/日 (2路線合計)
- ・臨時列車乗車特典付与 約2,700名 (8日間合計)
- ・オフピーク活動参加者 1.3倍 (前年同月比)

2020年夏に向けた取組

⇒お客さまと従業員双方に働きかけ、2020年夏の交通混雑緩和に貢献

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 大賞》

東京地下鉄株式会社



取組概要

時差Bizに関する取組

1 オフピークプロジェクトの実施

- (1) 東西線オフピークプロジェクト
- (2) 豊洲、新橋オフピークプロジェクト



2 臨時列車の運行

日比谷線、半蔵門線、南北線で計5本の臨時列車を運行



3 混雑の見える化

「東京メトロアプリ」、東京メトロホームページで混雑状況を掲出

4 その他の取組

- サテライトオフィスサービスの実証実験
- キッズルーム併設ワークスペース「room EXPLACE」における料金割引キャンペーン実施
最寄駅：東西線東陽町駅、門前仲町駅
- アウトドア・フィットネスクラブ「greener」における朝活レッスンの実施
最寄駅：東西線妙典駅



ワークブース 外観



room EXPLACE 内観



greener 内観

自社社員の取組

時差始終業及びテレワーク取得の促進

- (1) 本社部門における期間中の取得促進
- (2) 一部現業部門におけるトライアル

TDMに関する取組

2020年夏に向けた会場最寄駅でのオフピーク施策

- ・東京ベイゾーン：月島、辰巳、新木場
- ・スタジアムエリア：外苑前、青山一丁目、北参道、明治神宮前



企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 大賞》

日本電気株式会社

NEC

取組概要

・テレワークの実践

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15 暑の白	16	17	18	19	20
21	A 22	23	24	25	26	27
28	B 29	30	31	8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	夏休み 12	13	14	15	16	17
18	C 19	20	21	22	23	24
25	D 26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

A~Dから選択して連続1週間在宅勤務

実施概要

- 目的：東京2020大会期間の働き方を予行演習
 - ✓ 働き方改革の推進・定着化
 - ✓ 東京2020大会期間に向けた課題の洗い出し
 - ✓ BCPを想定した働き方実践と課題洗い出し
- 原則、全社員が連続1週間の在宅勤務を実施
- 周辺事業場に1,800席超の終日利用可能なサテライトオフィスも用意
- 一部派遣元会社との覚書締結などにより、派遣社員のテレワークトライアルを実施

結果

- 参加人数：NECグループ全体 41,286名
NEC 16,495名 (社員の8割以上)
- 5日連続 or 5日以上実施した人：
 - ✓ NECのテレワーク実施者の51%



・物流のトライアル

実施概要

- チャレンジウィークのTSM*試行への参加 *交通システムマネジメント

結果

- 東京都内一部配送便の出発時間を早め交通混雑を回避
- 幹線着時間と幹線中継では概ね定時刻に到着を確認
- 交通混雑に伴い影響するエリア・ルートを特定

その他

- G20大阪サミットにて期間中の交通規制に対応し、納期変更等により期間中の出荷量を50%削減 (前年比)
- 事前準備により効果的に出荷をコントロールできることを確認

〈社内推進体制〉

- ・人の流れへの対応：働き方改革担当部門
- ・物の流れへの対応：サプライチェーン担当部門
- ・顧客との調整：営業部門

〈運用上の工夫〉

- ・毎月のSmart Work Weekで環境整備促進とテレワークしやすい雰囲気づくり
- ・セミナーを実施し啓発・理解促進
(テレワーク未経験の社員・サプライチェーン関係各社・お客様)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

アサヒビール株式会社



取組概要

東京2020大会開催期間中の交通緩和の取り組み
物資の移動は3割以上の分散・削減を目指す
～テレワークやフレックスを活用し、**人の移動の削減も目指す**～

- 1.実施項目
 - ・物資の移動に関わるもの：物資の移動における分散・削減のシュミレーション
 - ・人の移動に関わるもの：社員のテレワーク推進
- 2.実施内容
 - ・物資の移動：2020年の大会期間中、物資の移動の3割以上の分散・削減を目指してシュミレーションを行う。
 - ・人の移動：2020年夏に向け、本年期間中に本社内勤者462名を対象に、テレワーク推進期間の取組を案内し、ポスターでも周知。
推進期間終了後にアンケートを行い、テレワーク拡大に向けた環境整備に活用。
- 3.ポイント
 - 1都4県での原材料や商品など物資の移動において、大型トラック台数を3割以上の削減・分散を目指すため、
 - ・東京港で受入している原材料の一部や輸入商品の大部分の受入時期を前倒しする。
 - ・輸入商品の受入港を東京港以外へ変更する。
 - ・東京港から茨城工場へ搬入している原材料、工場から都内配送センターへの転送および該当エリア内のお得意先様への配送をピーク時間帯以外へ変更する。

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

e-Janネットワークス株式会社

e-Jan

取組概要

1. 人の流れに関する取組み

- ・ 全社員のテレワーク実施

2. モノの流れに関する取組み

- ・ 納品書類のペーパーレス化

3. テレワークの普及、啓発に関する取組み

- ・ 製品無償提供キャンペーン
- ・ 実施ノウハウの社外発信

〈会社紹介〉

設立：2000年3月6日

事業内容：

テレワークプラットフォーム
「CACHATTO」の
企画/開発/販売

従業員数：93名(19年10月)

〈社内推進体制〉

- ・ 「**テレワーク推進チーム**」が
中心となって社内推進

全社員
テレワーク
実施

納品書類
ペーパー
レス化

無償提供
キャン
ペーン

実施
ノウハウ
社外発信

運用上の特徴と工夫

- ・ スムーズBiz、テレワーク・デイズ2019に参加/実施目標設定/2ヶ月前から準備
- ・ コワーキングスペース利用手配/フレックスタイム制の導入

- ・ 紙の納品書類をメール送付/DVD納品データをダウンロード形式に変更/自社でシステムを開発

- ・ 自社製品「CACHATTO」のトライアルキャンペーンを実施

- ・ 自社のテレワークに対する取組みをWebサイトに掲載(社員インタビューなど)

実績と効果

- ・ 実施率：
98.8%

- ・ 郵送件数：
約100件/月
↓
5件/月に

- ・ 申込件数：
90件

- ・ 掲載記事：
7件



取組に関するブログより
<https://www.e-jan.co.jp/workstyle/?catid=5>



CACHATTO®
CACHATTO製品情報
<https://www.cachatto.jp/>

※中央官庁・自治体・
民間企業など累計
53万ユーザー利用

2020年夏に向け、テレワークのモデルケースを目指して全社的に取組みを拡大
定期的/継続的にテレワークを実施可能な環境を作り、社外への積極的な情報発信にも取り組む

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

オリンパス株式会社

OLYMPUS

取組概要

1. 人の流れに関する取組

- 管理職から率先した在宅勤務取得促進
- フレックスタイムによる時差出勤

「朝イチ・Go!! フレックス運動」

- 年休計画化と5日間のクリエイティブホリデー

2. 普及啓発

- ポスター掲示や関係会社への働きかけ

3. モノの流れに関する取組

輸送検証実験を実施

- 国内輸送
 - 輸送時間などのデータ取り
- 国際輸送
 - 配車やコンテナ積出時間の調整
 - 渋滞回避ルートやフライト調整
- 過去の国際大会事例の検証



7/26 16:25 状況

〈社内推進体制〉

- 人事部門とSCM部門が両輪となり、製造・調達・営業・秘書・内部統制などの関係部門にも協力を依頼
※SCMとは、サプライチェーンマネジメントの略で物流部門のこと。



〈運用上の工夫〉

- 在宅勤務の促進は、管理職から取り組むのが効果的
- ポスターやサインージなど視覚的な促進を加えた
- 物流は本番を想定した、計測・実証実験に取り組んだ

〈効果・実績〉

- 管理職の在宅勤務実施アンケートの結果、利用者の30%が通勤時間の有効活用と疲労軽減利用者の23%が集中して業務ができた等と回答し、全体の84%が効果を実感したコメントであった。2020年夏の取組み意向は、モバイルワーク、時差出勤、年休取得を利用するとの回答を得られ、風土醸成のきっかけとなった。
- 輸送検証実験の結果、大きな混乱はなく、スムーズな物品移動ができた。輸送時間の計測にも大きな問題はないことを確認できた。

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

京王電鉄株式会社



取組概要

沿線の方々に向けた取組

鉄道の利用者のオフピーク乗車等の取組

- 夕間時間帯の時差通勤を促進することを目的に、「京王ライナー時差Biz号」を新宿発京王八王子行、橋本行でスムーズBiz期間中に臨時運行
- 期間中、合わせてポイントキャンペーンや、福引ゲームを開催し、得点に応じてトレーディングカードをプレゼント
- 「新線新宿駅新都心口」と「中河原駅臨時口」の改札の営業時間を、それぞれ7時30分から6時45分へ、7時から6時30分へ早めた

▼京王ライナー時差Biz号



▼告知媒体

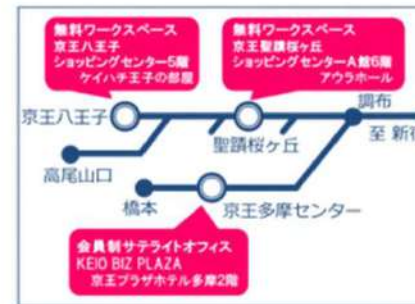


▼トレーディングカード



サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」の取組

- 会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」にて会員登録なしで手軽に施設を利用できるキャンペーンを展開
- 京王八王子と聖蹟桜ヶ丘のショッピングセンターに無料のワークスペースを設置



▼告知媒体



本社社員に向けた取組

- スムーズBiz期間中に、本社社員に向けて、これまでも推進している「働き方改革」を強化する方向で施策を実施。また新しいワークスタイルを社内に定着させる契機として、各施策に取り組んだ

- 【①】本社入退館時刻の変更
入館時刻を8時→7時へ、退館時刻を22時→21時に変更(21時以降の残業を原則禁止)し、朝型勤務を推奨
- 【②】フレックスタイム制度の利用推奨
スムーズBiz期間中のフレックスタイム制度の利用を推奨するとともに、E-ラーニング等を活用してフレックスタイム制度の活用方法を再周知
- 【③】サテライトオフィス利用推奨
沿線に3か所(新宿・調布・多摩センター)あるサテライトオフィスの利用および外出先への直行・外出先からの直帰を推奨

● 実績結果

取組内容	2019年 (対前年)
【①】本社入退館時刻の変更 7時～8時の間に始業した延べ人数	950人 (+19人)
【②】フレックスタイム制度の利用推奨 定時(18時)前に退社した延べ人数	8741人 (+361人)
【③】サテライトオフィスの利用推奨 延べ利用人数	471人 (+122人)

● 当社の働き方改革に向けた取組

本社勤務者参加型 働き方改革⑥

- これまでの働き方を見直すことで、誰でも健康で安心して働くことができる環境を整備し、仕事に対するモチベーションや業務効率の向上を図る
- 新しいことにチャレンジする意欲の創出や個人のワーク・ライフ・バランスを充実させ、経営の安定やより良い人材の確保・定着につなげる



企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

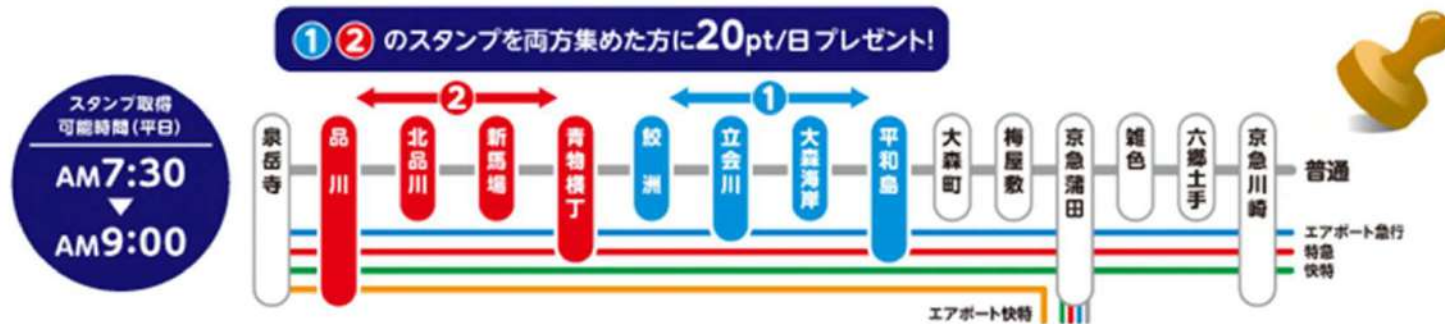
京浜急行電鉄株式会社



取組概要

従来からの「通勤時間をズラすオフピーク」に加え、「列車種別をズラすオフピーク」出勤の提案。

■ 混雑を平準化できないかというお客さまへの思いから開始



■ アプリ「KQスタンプ」を活用し混雑緩和!

- 1 オフピーク通勤とは言っても通勤時間をズラすことは難しいな...
- 2 約15分だけ早く出て普通電車に乗れば満員電車を避けられる!
- 3 毎日スタンプを集めれば年間約¥4,000相当のポイントが付与!

■ 車掌の作業を増やすことなく普通列車に乗車している人だけにポイントを付与!



企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

コニカミノルタ ジャパン株式会社

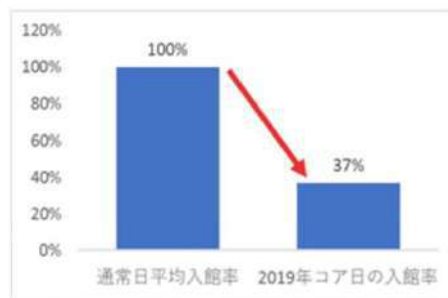


取組概要

◆ 人の流れ

① コア日 (7/25、9/5、9/6) の出勤抑制、本社一斉テレワーク

【効果】
浜松町オフィス
通常入館率



② 急なBCP (社配PC非所持時対応) の業務遂行支援

重要なICTコミュニケーション・
コラボレーションシステムに簡単に
アクセス可能な耐水性の名刺
サイズのQRコード票を配布



※本画像では一部を隠しています

◆ 普及活動に関する取組 : 実績



左には歩道・左に
停止した車向け

後方に停止した
車向けに

社有車にスムーズBizと2020TDMの
推進ステッカーを貼り付けた普及

〈社内推進体制〉

- 経営トップ・人事・総務・情報システム・マーケティング・ソリューション企画・営業・サービス・業務の各部門から参画

〈運用上の工夫〉

- ✓ 出社が必要になる社員数を事前に確認
- ✓ 負荷なく円滑に取り組むために本社一斉テレワーク時の執務室は日毎の入替制で実施

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

TDMテレワーク 実行委員会 (23社連合)



取組概要

「TDMテレワーク」とは 首都圏IT系企業を中心とした23社連合によるテレワーク実施 & 推進の取組

来年夏の**交通混雑緩和への貢献**に対して、中小規模の企業が集まり**各社のノウハウを共有しながらテレワークに取り組み一定の成果をあげる**、ため、アステリア社の呼びかけに応じた23社が連携し「TDMテレワーク」という取組を実施した。



<参加企業> 株式会社アクティオ, アステリア株式会社, あっと株式会社, 株式会社アトラエ, 株式会社ヴァル研究所, キーウェアソリューションズ(株), 株式会社クロスコンパス, さくらインターネット株式会社, シックス・アパート株式会社, 株式会社ジャパンスコープ (Amel&web ala moda), ストリートアカデミー株式会社, 株式会社ツナグ・ソリューションズ, 株式会社TRASTA, 株式会社プレシャスパートナーズ, ボーダー株式会社, 株式会社ホワイトプラス, 株式会社mannaka, 株式会社ユウグレナ, 株式会社ラパブルマーケティンググループ, ラムリサーチ株式会社, 株式会社リンクハル, 株式会社ローカルワークス, 株式会社Waris

主な取組とその成果

7/22-9/6のスムーズBiz推進期間中、社内テレワーク推奨並びに、発信

- ◆ 7月前半 賛同23社でリモートチームを結成。オンラインでプロジェクト遂行
- ◆ 7月21日 全賛同企業が集まり記者発表会実施
- ◆ 7月26日 子連れテレワーク実施



<猛暑・台風テレワーク> 35度以上の猛暑日予報が出た場合はテレワークを推奨し猛暑日は3-5割の社員がテレワークを実施。台風15号が上陸した際には7名のみが出社し残りの63名はテレワークを実施。
-アステリア

<テレワーク利用率向上に> 多様な働き方を尊重すべく「さぶりこ」と名付けたテレワークやパラレルキャリアの推進など社員が働きやすい環境、制度の整備に注力。テレワークの利用率が4割から5割超(今夏)にアップした。
-さくらインターネット

<個人の裁量でテレワーク実施> 台風15号や猛暑、子育てなどの家庭の事情や前後の業務の都合に応じて50名ほどが自由にテレワークを実施。台風時は自宅勤務に切り替え約3時間の作業時間を確保。
-アトラエ

<制度・運用を見直すきっかけに> テレワークは以前より社内に浸透済み。これを期に制度や運用を見直すきっかけができた。台風時にはテレワークを利用した社員が5割程度。電話対応は午後から悪天候時の留守電に切替えた。
-ヴァル研究所

<他業種の取組が参考に> 休暇取得者が半数、時差Biz25名、関東外への出張者が77名など、TDMへの貢献はできた。TDMテレワーク連合では、業種違いの他社での取組が自社での規定の参考に。
-ラムリサーチ

7/16 テレワーク委員会発足

7/23 子連れテレワーク実証実験

夫婦で自宅勤務とファミリーデー

ロンドンでワーケーション

60代ベテラン社員が介護と両立

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

株式会社伝三郎商会

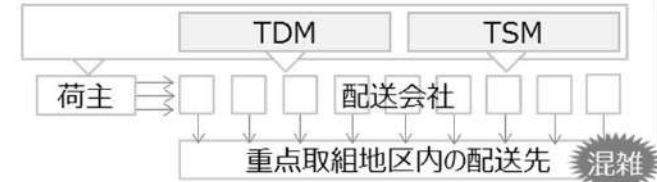


取組概要

課題

重点取組地区における、交通混雑緩和

- ・TDMの趣旨を理解し、TSMの実施内容を熟知する事業者は少数
- ・各社が個別に対策を行っても効果は限定的で、混雑緩和は難しい



解決策

配送マッチングアプリを使った、新しい配送の仕組み

- ・TDM、TSMを熟知した「幹事配送会社」が配送をコントロール
- ・貨物をまとめ（共配）、混雑時間帯をさけて配送（平準化）
- ・配送の受発注は、マッチングアプリを通して公正かつ公平に行う
- ・「幹事配送会社」は、配送条件を設定し「配送会社」へ配送を依頼
- ・「配送会社」は、配送条件通りに配送することでTDM、TSMに協力

【推進体制】

- ・伝三郎商会：2020年夏、推進機関へマッチングアプリを無償貸与
- ・推進機関：荷主と配送会社に、本仕組みへの参加を呼びかける
幹事配送会社を選定し、配送を取りまとめる



目標

重点取組地区における、車両台数の削減、交通混雑緩和へ

【期待効果】

- ① 配送の波動の平準化
- ② 受発注業務の効率化
- ③ 荷主と配送会社の歩み寄り
- ④ 合理的で無駄のない取引
- ⑤ 安心、安全かつ対等な取引

レガシーとしてのアプリの普及へ

本仕組みが「配送の波動の平準化」に寄与することにより、今後広域エリアでのアプリの普及が見込まれ、日本の物流をより効率化する効果が期待できる。

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

東武鉄道株式会社



取組概要

■ 集中取組期間における取組 ■

従業員

- 【オフピーク通勤の実践】全本社員の就業時間を一律で繰上げ・繰下げ
- 【休暇の取得奨励】1日単位・時間単位の休暇取得の呼びかけ

物流

- 【頻度削減】自販機納品やごみ回収頻度の削減

普及啓発活動

- 【キャンペーンの実施】時差Biz快適通勤ポイント付与キャンペーンの実施
- 【啓発活動】スムーズBizに対する鉄道利用者への啓発活動を実施



部門を超えてスムーズBizに対する全面的な協力体制を展開

スムーズBizの取組に関して、社内会議や労使の話し合い等を設けて、実効性のある取組にするべく、各施策を展開した



従業員

- オフピーク通勤のべ9,470人
- 休暇取得
本社員の9割超が休暇を取得(約700人)

物流

- 飲料自販機の納品回数
のべ36回削減
- 廃棄物回収
のべ14回削減

普及啓発活動

- グループ会社への取組波及 32社
- 時差Bizキャンペーン(朝のスカイツリーライナー・TJライナー)
対象列車乗車人員 31,791人
- スムーズBizポスター掲示 17駅・1,550両
- フリー広報誌への特集記事掲載 66,300部
- 列車内PR映像放映 9分ごとに1回のポップアップ

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 推進賞》

凸版印刷(株) 情報コミュニケーション事業本部

TOPPAN

取組概要



企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 特別賞・エリア連携賞》

浜松町駅周辺TDMプロジェクト  

取組概要

■ JR浜松町駅を利用する近隣各社と協力した混雑緩和に向けた取組

目標：東京2020大会に向けた取組として、JR浜松町駅における「午前8時台の10%程度の混雑緩和」

人の流れに関する取組



駅の混雑緩和

- ① 浜松町駅周辺TDMプロジェクトの発足（他企業への働きかけ）
- ② プロジェクト参加企業によるトライアル集中実施。
（①休暇取得、②テレワーク、③時差出勤など各社状況に応じて参画）
- ③ プロジェクト参加企業のトライアル結果の把握・大会時の取組に反映。

・お客さまへの
フィードバック揭示

普及啓発に関する取組



ポケットティッシュ
配布等による
普及啓発活動

- ① ポスターの掲出およびアナウンスの実施。
- ② 駅構内でのポケットティッシュの配布を実施。（時差出勤のご協力依頼を記載）
- ③ 駅ご利用者への取組み結果のフィードバックの実施（ポスター掲出）



〈PJ推進体制〉

・7月24日に休暇取得、テレワーク、時差出勤等を実施



〈実績・効果〉 企業連携により大きな効果



企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

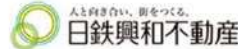
《スムーズBiz推進大賞 特別賞・フューチャー賞》

MINDS

MINDS

取組概要

異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ
MINDS (Millennial Innovation for the Next Diverse Society)



Mission
すべての個人が自分らしく
働く社会を実現する

Vision
業界、会社の枠を超えたミレニアル世代から
多様な働き方を日本社会に浸透させる

職場環境

時間・場所に制約されない
柔軟な働き方

和歌山県での
ワーケーションの実証実験

知

わくわく”学び続ける
マインドセット

ミレニアル世代限定の
キャリアセミナー開催

所属

一生一社でない
柔軟な所属の仕方

パラレルキャリアの考察
インタビュー実施

評価軸

一次元でない
多次元的な評価軸

360度評価の実施

満足度

多様な“チョイス”できる
働き方のモチベーション

世代間での
モチベーションの可視化

業界、会社の枠を超えたミレニアル世代が多様なコミュニティで創造性を高め
日本社会のイノベーション創出に対してNew Work Style を実行する

企業の取組 (スムーズBiz推進期間結果公表イベントより)

《スムーズBiz推進大賞 特別賞・パイオニア賞》

吉江社会保険労務士事務所



取組概要

- ・完全オフピーク
- ・テレワーク/サードプレイス業務促進
- ・コピー、印刷の抑制と伴うゴミ排出量の削減
- ・HP取組提示等顧客理解促進

なぜ取り組んだのか



- ・土業の「紙文化」への将来的な懸念
- ・全国対応が求められる業務上の機動力
- ・少数であるが故のどこにいても業務対応が必要



スムーズBizは事業運営上
マストな取組みであった

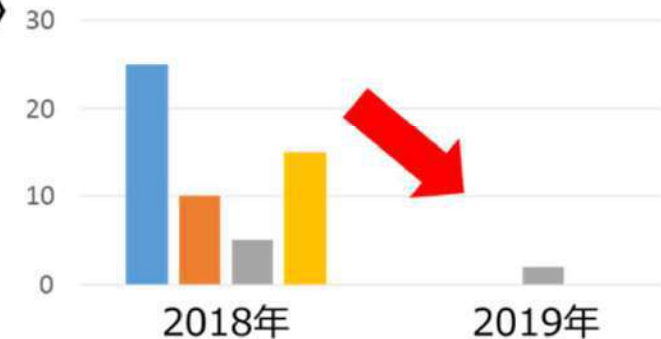
テレワークなどはすでに複数企業への導入実績があったため、制度自体は小規模転用を図るだけ

〈運用上の工夫〉

- ・ビデオ会議推進による
生産性への影響対応
- ・電子契約～電子請求など
業務を電子化
- ・行政書類も電子認証取得
による電子申請化

〈効果・実績※2018年→2019年測定時期〉

- ・ピーク時移動：25回→0回
- ・印刷回数：10回→0回
(完全ペーパーレス)
- ・電子外契約：5件→1件
(公共団体のため先方様式を優先)
- ・電子外請求：15件→0件
(全クライアントの協力)







小さな企業でも工夫次第で様々な取組みが可能であり、個人事業主や土業一人一人の広がりにより大きな力に行きたい

「都庁2020アクションプラン」のイメージ

Step1 → Step2 → Step3

取組項目 (記入)	内容	いつ	どのくらい	責任者/部署	実施の推進方法/確認方法
<p>取組項目</p> <p>＜抜粋＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 時差出勤・フレックスタイム・テレワークの実施 ■ 庁有車利用の抑制 ■ 備品やコピー用紙等の納品時期の変更 ■ コピー用紙・ごみの削減 ■ 都庁発注工事の調整 	<p>内容 (いつ、どのくらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本庁職員の約半数(5,000人程度)が実施 ■ 本庁業務では利用を控え、利用する場合も首都高速道路や競技会場周辺等を避けて移動する(出先事業所でも利用の際は同様の取組を実施) ■ 都庁各局の本庁・出先事業所含む約900箇所へ納品しない ■ 会議資料の電子化、ごみ搬出前・後倒しによりごみ総量約40%削減【本庁】(出先事業所でも取組を実施) ■ 「東京2020大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針(2019.10版)」に沿って、工事の発注時期の調整や、工事車両の出入り調整等を実施 			<p>責任者/部署</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各局総務・人事担当課長 ■ 各局総務・庶務担当課長 ■ 各局総務・庶務担当課長 ■ 各局総務・庶務担当課長 ■ 各局工事・主管課長 	<p>実施の推進方法/確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各部署で大会時の執行体制を検討 ■ テレワークや時差出勤等の活用促進に向けて、各部署で職員へ積極的に周知 ■ 利用を控えてほしいエリアや路線・期間等を整理し、職員へ明示 ■ 事前納品するコピー用紙等を保管しておく会議室等を予め確保 ■ 2020年度の物品契約等の仕様書に、大会時の納品を控える旨等を明記 ■ 本庁舎のごみ収集運搬契約の仕様書に、大会時のごみ搬出回数削減を明記 ■ 合同庁舎等へ間借りしている事業所では、施設管理者等へ協力を依頼 ■ 既発注工事では、受注者と早期に協議を開始 ■ 今後発注する工事では、工事調整の取組を仕様書で明示、契約後に具体的な取組を検討 ■ 工事関係事業者へ協力を依頼

 (2019年1月) 取組項目公表
 (2019年4月) 都庁発注工事の調整を追加

 (2019年4月) 大会時の取組内容を公表
 (2019年11月) 2019年夏の取組実績等を踏まえ一部更新

 (2019年11月)
 2019年夏の取組実績等を踏まえ、今回、大会に向けた実務的な具体的な推進策を更新

◆ 「都庁2020アクションプラン」について、2019年夏の取組実績等を反映し、実務的な具体の推進策を更新

<2019年夏の取組実績（抜粋）>

備品やコピー用紙等の納品時期の変更 ※大会時の目標：納品しない

2018年7,8月と比較して納品回数を約50%削減
 2018年夏 約1,900回⇒ 2019年夏 約920回
 （具体の取組）
 例年の納品実績等から必要な品目・数量等を把握し、前倒し納品

コピー用紙・ごみの削減 ※大会時の目標：ごみ総量40%削減【本庁】

2018年7,8月と比較して期間中に本庁舎から搬出するごみ総量を約25%削減
 （具体の取組）
 ペーパーレスの推進、古紙・シュレッダーごみ等を会議室等へ保管

計画的な業務執行による期間中の移動の回避

- ・ 臨海部や競技会場周辺等への出張や現場視察、会議等の日程等を変更
- ・ 朝の通勤時間帯を避けて移動

庁有車利用の抑制

2018年7,8月と比較して本庁業務における庁有車利用を約40%削減
 （具体の取組）
 庁有車を利用する出張日程等の変更、公共交通機関を利用して移動

<「都庁2020アクションプラン」の更新>

～実務的な具体の推進策～

- ◆ 事前納品するコピー用紙等を保管しておく会議室等を予め確保
- ◆ 2020年度の物品契約や広報誌等納品の仕様書に、大会時の納品を控える旨等を明記

- ◆ 本庁舎のごみ収集運搬契約の仕様書に、大会時のごみ搬出回数削減を明記
- ◆ 合同庁舎等へ間借りしている事業所では、施設管理者等へ協力を依頼

- ◆ 関係事業者へ取組趣旨を説明、出張の日程変更等に協力を依頼
- ◆ 事業者等の来訪の際も、朝の通勤時間帯を避け、公共交通機関の利用を促す

- ◆ 利用を控えてほしいエリアや路線等を整理し、職員へ明示
- ◆ 現場を抱える出先事業所では、利用の際に、競技会場周辺や高速道路等の移動を控える

<2019年夏の取組の状況>

◆ 事前納品したコピー用紙、期間中のシュレッダーごみ等の保管



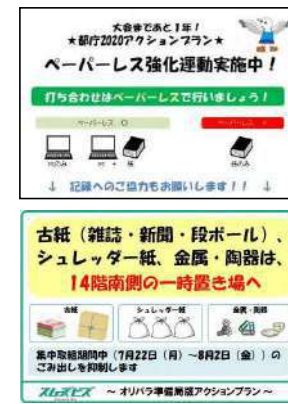
◆ ごみリサイクルルームを封鎖



◆ ペーパーレスの呼びかけ



◆ 呼びかけのための掲示物



取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
年休・夏休の計画的取得	職員（都立学校教員を含む）に、年休と夏休の計画的な取得を推奨する。		職員（知事部局等・公営企業）約4万人、都立学校教職員約1.6万人へ呼びかけ（※1）		
時差出勤・フレックスタイム・テレワークの実施	大会期間中にオフピーク通勤を実施する。（テレワークや時差出勤、フレックスタイム等）	2020年7月24日から8月9日で、8月25日から9月6日まで	都庁本庁職員の約半数（5,000人程度）が実施（出先事業所における実施可能な取組も検討）	各局総務・人事担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 各部署で大会時の執行体制を検討 年間の休暇取得計画作成推奨等による計画的休暇取得の促進 テレワークや時差出勤、フレックスタイム等の活用促進に向けて、各部署で職員へ積極的に周知
	テレワークについて、大会関連業務や都民との直接対応が必要な職員を除いた本庁職員（本庁職員の約半数の5,000人程度）が週1回以上実施する。		都庁本庁職員の約半数（5,000人程度）が週1回以上実施		
計画的な業務執行による期間中の移動の回避	競技会場が集中する臨海部や競技会場周辺等への出張や現場視察等のほか、会議を控える。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	都庁各局の本庁・出先事業所における業務全般（※2）	各局事業所管課長・総務課長等	<ul style="list-style-type: none"> 取組が必要な地域や期間等を整理、職員へ提示 業務関係者等へ取組の趣旨を説明、協力を依頼 必要に応じて貸出用ポケットWi-Fiの活用促進
	出張等の際は、朝の通勤時間帯の移動を避け、公共交通機関を利用し、出張の前後にテレワーク等を活用するなど、混雑回避に取り組む。		本庁・出先事業所における業務で調整が可能なもの（※2）		
	大会期間中は、事業者の来訪を減らすよう業務を調整し、来訪の際は朝の通勤時間帯の移動を避け、公共交通機関の利用を促す。		時期の調整が可能な文書（※2）		
	都民に送付する文書を大会前後に郵送するなど、期間中の送付を避ける。		都庁各局の業務全般		
	他自治体等からの行政視察等に関して、大会期間中を避けるよう日程変更の協力依頼を行う。				<ul style="list-style-type: none"> 視察等の依頼元へ取組の趣旨を説明、可能なものは日程を変更

※1 大会関連業務に従事する職員は除く

※2 緊急の場合や危機管理上必要がある場合、業務上やむを得ない場合など、不可欠な場合は除く

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
都主催イベント等の実施時期の変更	大会時の実施が想定されるイベント・見学会・講習会等を大会前後に実施するよう調整する。時期の変更が困難な場合は、場所等の変更を検討し、来場者へ公共交通機関の利用を促す。 <イベント例> 都民参加型イベント、体育大会、都立図書館主催の講演会など	2020年7月24日から8月9日まで、8月25日から9月6日までの期間に実施しない	都庁各局で実施するイベント・見学会・講習会等全般 (※2)	各局事業所 管課長	<ul style="list-style-type: none"> 各部署へ実施時期の調整を依頼 大会期間中に実施が予定されるイベント等をリストアップ 関係者調整を実施、必要に応じて会場確保等を実施
	【新規】 例年8月に実施している「都庁インターンシップ」の開催を見送る。	2020年8月に実施しない	250名程度 (※2019年の対象人数より)	人事担当課 長	<ul style="list-style-type: none"> 2019年5月に開催見送りを公表 1dayインターンシップの開催を例年の9月に加え、2020年2月及び7月頃にも追加開催
研修等の実施時期の変更	例年7月中旬から9月上旬に実施している研修等を、大会期間中の実施を避けるよう2020年度の研修計画を策定する	2020年7月24日から8月9日まで、8月25日から9月6日までの期間に実施しない	職員研修すべて (※2) <参考> 2019年度の同時期にテレコムセンターで実施予定の研修(約2,200人)	各局人事・ 研修担当課 長	<ul style="list-style-type: none"> 中央研修、局研修の実施時期を調整し、2020年3月末までに各研修計画に反映
庁有車利用の抑制	本庁業務では、庁有車の利用を極力控え、利用する際も、首都高速道路や関係者輸送ルート、競技会場周辺等の移動を避ける。 出先事業所では、利用の際に、首都高速道路や関係者輸送ルート、競技会場周辺等の移動を避ける。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	本庁では、2019年夏と同程度の40%削減に向けて取り組む(※2)	各局総務・ 庶務担当課 長	<ul style="list-style-type: none"> 利用を控えてほしい地域や路線、期間等を整理、職員へ明示 庁有車利用が必要な業務等を調整

※2 緊急の場合や危機管理上必要がある場合、業務上やむを得ない場合など、不可欠な場合は除く

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
備品やコピー用紙、広報誌等の納品時期の変更	事務用品全般やコピー用紙を大会前後にまとめて納品し、大会期間中に納品しない。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	都庁各局の本庁・出先事業所含む約900箇所へ納品しない。（※2） 【参考】 2017年度の同期間における都庁本庁舎のコピー用紙納品箱数箱（推計）：約6,700箱（※3）	各局物品契約所管課長	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度の物品契約で、大会中の納品調整を行う旨等を仕様書に記載 物品の契約業者・配送事業者へ取組の趣旨を説明・協力を依頼 納品カレンダー等による物品担当職員への周知方法等を改善
				用品主管課長	
	広報誌やチラシ・パンフレット、ポスター等の印刷物を大会前後に納品するなど、大会中に納品しないよう調整する。		都民向け広報誌や職員向け冊子など全般（※2）	各局庶務担当課長	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙等を事前納品する保管場所を予め確保
【新規】職員向け共済誌（7月号）を、大会前に配送する		2020年7月17日までに配送	都庁各局の本庁・出先事業所、区役所等を含む約2,400か所、全13万部	各局事業所管課長	<ul style="list-style-type: none"> 2020年夏に納品が予定される広報誌等をリストアップ 2020年度の契約にあたり、大会中の納品を控える旨等を仕様書に記載 納品時期変更に向けて関係者調整を実施
				共済発行担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度の契約にあたり、7月号の配送日を7月17日までとすることを仕様書に明記 配送事業者へ取組の趣旨を説明・協力を依頼

※2 緊急の場合や危機管理上必要がある場合、業務上やむを得ない場合など、不可欠な場合は除く

※3 2017年度（H29年度）の本庁舎におけるコピー用紙使用箱数80,284箱より推計

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
コピー用紙・ごみの削減、水筒・弁当箱持参等の推奨	会議のペーパーレス化の推進や、両面コピーの徹底等により、コピー用紙の使用量の削減を図る。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	<p>【本庁】 大会期間中に発生するごみ総量を、例年同時期と比較して約40%削減する (参考) 2018年7月の都庁舎におけるごみ総量：約87t</p> <p>【出先事業所】 本庁舎の取組に準じて、ごみ削減の取組を実施</p>	各局総務・庶務担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 全庁的な目標※に沿ってペーパーレスの取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> 使用枚数が多い業務の分析 幹部説明の原則ペーパーレス化 I C T環境（モバイル可能な新端末の導入、本庁舎の無線LAN配備等）を活用したペーパーレス会議・打ち合わせ等の推進 <p>※全庁的な目標 コピー用紙の使用量を2018年度からの3年間で2016年度対比で20%削減</p>
	古紙（新聞・雑誌・段ボール）、シュレッダー紙を期間前後に搬出し、期間中の搬出を控える。			各局総務・庶務担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 期間中にごみを一時保管しておく場所（会議室等）を予め確保 合同庁舎に間借りしている事業所等では、施設管理者へ趣旨を説明し、協力を依頼
	ペットボトルごみ・プラスチックごみ等の削減に向けて、水筒・マイコップ、弁当箱の持参を呼びかける。			<p>【本庁】 庁舎管理所管課長</p> <p>【出先事業所】 各局事業所庶務担当課長</p>	<p>【本庁】 2020年度のごみ収集運搬契約で、大会中のごみ搬出回数を削減する旨を仕様書に記載</p> <p>【出先事業所】 所単位等でごみ収集運搬契約をしている場合等では、ごみ搬出削減の仕様書記載を検討</p> <p>【本庁・出先事業所】 ごみ収集・運搬事業者へ取組の趣旨を説明・協力を依頼</p>
	粗大ごみの回収を、大会の前後に変更する。			各局総務・庶務担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 全職員へ大会期間中の水筒・マイコップの持参を呼びかけ、弁当箱持参も可能な範囲で協力を呼びかけ
				<p>【本庁】 庁舎管理所管課長</p> <p>【出先事業所】 各局事業所庶務担当課長</p>	<p>【本庁】 2020年度の契約で、大会期間中を避けてごみ回収を行う旨を仕様書に記載</p> <p>【出先事業所】 所単位で粗大ごみ回収を契約している場合等では、大会前後に回収する旨の仕様書記載を検討</p>

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
都庁発注工事の調整	「東京2020大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針（2019.10版）」に沿って、各局等発注工事を調整し、路上工事によるボトルネック化の回避とともに、工事から発生する車両数を削減する。 ＜工事調整の方法＞ ・発注時期の調整 ・工事の一時休止 ・工事車両の出入り調整 ・夜間振替 ・混雑回避	①日中の路上工事を避け、車両数を削減 （計35日間）： 2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで ②路上工事以外の施設工事等で車両数を削減 （計25日間）： 2020年7月20日から8月10日、8月25日から9月6日の平日	都庁各局等発注工事全般 （各局事業に伴う委託工事等を含む）	オリパラ工事調整担当課長 各局工事主管課長	<ul style="list-style-type: none"> 2019年10月に取組方針（2019.10版）を公表、都庁発注工事の調整に関する基本的な考え方を明記 既発注工事では、発注者と受注者で早期に協議を開始、施工計画を変更 今後発注する工事では、工事調整の取組を仕様書で明示、契約後に発注者と受注者で車両削減に向けた具体的な取組を検討
	海の森水上競技場に近接する建設発生土受入施設（建設発生土再利用センター、中防内側受入基地、新海面処分場）について、日中の受入を中止する。		都庁各局等発注工事全般 （受入等を行っている他の発注主体の工事も同様）	建設発生土所管課長	<ul style="list-style-type: none"> 2019年9月に都・区市工事担当者への説明会を実施 大会中に代替受入する施設と調整 取組方針（2019.10版）に記載し公表 区市等へ受入調整の協力を依頼
	関係者輸送ルート、観客輸送ルート、競技会場周辺（通行規制道路、迂回道路、迂回道路内）において、都道・臨港道路等の路上工事を抑制する。		すべての路上工事（道路占用工事等）が対象	オリパラ工事調整担当課長 （オリパラ・建設・港湾）	<ul style="list-style-type: none"> 競技会場周辺において、路上工事を控えて頂きたい路線・エリア、夜間に調整して頂きたい施工時間等を明示 公共・民間事業者や業界団体等へ協力を依頼 国道や区市道も同様の扱いとなるよう道路管理者へ依頼
	都の政策連携団体等のほか、都以外の工事発注者（公共・民間）や受注者団体等へ、工事調整の協力を依頼する。		工事関係事業者全般	オリパラ工事調整担当課長 各局工事主管課長	<ul style="list-style-type: none"> 工事調整の取組を説明、協力を依頼 都の政策連携団体等へ協力を依頼 工事契約カウンターや工事手続き窓口等で、事業者へ協力依頼のチラシを配布 「2020TDM推進プロジェクト」のホームページに、工事の実施に係るページを作成し広く周知

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
企業や団体等へのスムーズビズの周知	各局事業の関係企業や団体等へ、「スムーズビズ」の周知や交通混雑緩和の協力を呼びかける。	大会時まで随時	各局等の関係事業者全般、33政策連携団体等	各局事業所管課長	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ等の配布や、関連企業等へメール等で周知 ・都の政策連携団体等へ協力を依頼
都施設等での来庁者へのスムーズビズの周知	<p>都民が訪れる都施設や都庁各局の受付窓口等で、大会時の交通混雑緩和に向けて「スムーズビズ」の取組を周知する。</p> <p><都施設の例> 都営地下鉄駅構内、都バス車内、都税事務所、都内市場、都立公園・海上公園、都立図書館、都議会PRコーナー、都立スポーツ施設など</p>	大会時まで随時	都民が訪れる都施設や受付窓口など全般	各局総務・庶務担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ・来庁者窓口等でのチラシ配布やポスター掲示、HP等を活用して周知

東京2020大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針(2019.10版)

1. 目的

- ① 路上工事によるボトルネック化回避(大会関係地域等)
- ② 工事から発生する車両数の削減(都内全域)

2. 都庁発注工事の基本的な考え方

- その年に必要な工事を着実に実施することを前提

3. 工事調整の手法

(A) 工事発注時期の調整 (B) 工事の一時休止

(C) 工事車両の出入り調整

- ・朝タピーク時間、競技会場周辺は競技前3時間から競技後1～2時間※を避ける
(※ 新国立競技場、東京スタジアムは競技後2時間まで)
- ・資材の搬入前倒し、廃材等の集約による搬出回数削減 等

(D) 工事を夜間に実施・振替

(E) 混雑回避(高速道路や大会関係地域①を通行しない等)

4. 対象期間

- ① 路上工事による車線規制回避・車両数削減 計35日間
- ② 路上工事以外の施設工事等で車両数を削減 計25日間

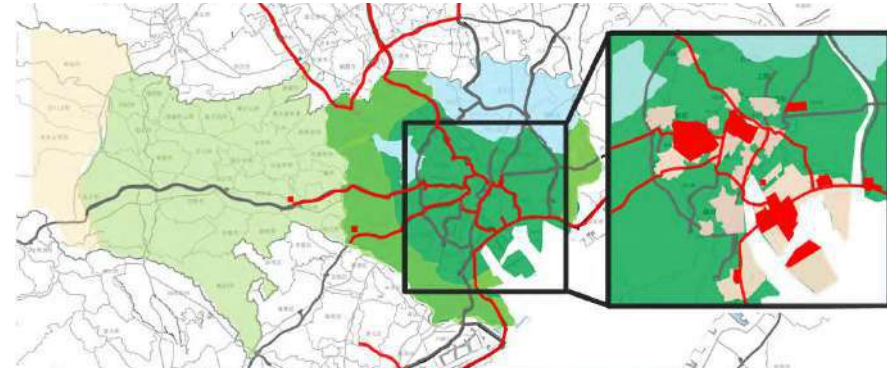
日	月	火	水	木	金	土
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24 オリ開会式	7/25
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
8/9 オリ開会式	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
8/23	8/24	8/25 パラ開会式	8/26	8/27	8/28	8/29
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
9/6 パラ開会式	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12

5. 対象工事

- 都庁各局発注工事(各局事業に伴う委託工事等も含む)
※ 緊急対応工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は対象外

6. 対象地域と取組

- 対象地域における工事調整の取組をきめ細かく設定
- 工事調整の取組が特に必要なエリアを細分化



		多摩地域 (圏央道外)	多摩地域 (圏央道内)	区部 (会場・ORN等がない区内)	区部 (会場・ORN等がある区内/ 環7外側)	区部 (会場・ORN等がある区内/ 環7内側)	大会関係地域② ・重点取組16地区 (大会関係地域①を除く)	大会関係地域① ・ORN/PRN ・観客輸送ルート ・競技会場周辺 (通行規制道路・迂回道路、迂回道路内)	
路上工事	道路工事 (都道等)	E 混雑回避 (25日間)				①日中の路上工事を回避、車両数削減(35日間)			
	企業者 路上工事 (水道・ 下水道等)					A 発注時期調整 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避	A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替 E 混雑回避	A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間振替	A 発注時期調整 B 一時休止 D 夜間振替※
	公共工事 (路上工事以外の 施設工事等)					②車両数削減(25日間)			A 発注時期調整 B 一時休止 C 工事車両 出入り調整 D 夜間振替※ E 混雑回避

7. 今後の対応、その他工事調整の取組

- 都庁各局工事で取組方針(2019.10版)に沿って対応
- 建設発生土の受入を調整
- 工事関係事業者へ広く工事調整の協力を依頼
- 事業者へ路上工事の抑制を依頼(大会関係地域①)

都庁発注工事の調整に関する基本的な考え方

◆工事発注の考え方

- その年に必要な工事を着実に実施することを前提
- 平準化に努め、発注時期を適切に調整
(2020年度の工事は、年度当初の4月に年間発注計画を公表)
- 交通への影響を抑えるために、発注方法等を工夫

【取組例】

- ・大会期間が準備期間、工場製作期間となるような発注
- ・大会関係地域とその他エリアを組み合わせて発注
- ・単価契約等の小規模工事は、期間中は大会関係地域以外で施工 等

◆具体の工事調整の取組の検討

<既発注工事>

- 発注者と受注者で早期に協議を開始し、大会輸送影響度マップや競技スケジュール等を踏まえ、施工計画を変更

<新規発注工事>

- 発注時に工事調整の取組を特記仕様書で明示
- 工事契約後、発注者と受注者との協議の上、車両削減等に向けた具体的な取組内容を決定し、施工計画に反映

【取組例】

(A) 工事発注時期の調整

- ・発注の前倒し・後倒し

(B) 工事の一時休止

- ・現場休工期・夏季休暇期間を大会期間中へ変更

(C) 工事車両出入り調整

- ・車両の出入り時間の早朝・夜間等への振替
- ・資材等の搬入を大会前に前倒しし、期間中の搬入回数を削減
- ・廃材等を集約し、期間中の搬出回数を削減
- ・工事関係者の通勤を車から公共交通へ変更 等

(D) 工事を夜間に振替

- ・地先状況等も勘案したうえで実施を検討

(E) 混雑回避

- ・工事車両の移動の際に、首都高速道路やORN・競技会場周辺を避ける

◆工事調整に係る経費・工期設定

- 大会に起因した工事調整に係る経費・工期は適切に見積もる
- 必要な経費の積算・工期の設定は、原則、既存の積算基準や設計変更ガイドライン等に基づき対応

<既発注工事>

- 契約約款に基づき、設計変更で適切に対応

<新規発注工事>

- 発注時に工期等を適正に設定し、必要な経費は適切に積算、条件が変更となった場合は、設計変更等で適切に対応

【必要な経費例】

- ・一時休止等に伴う保安措置などの現場管理費
- ・工事の夜間への振替に伴う、労務費などの変更
- ・発生土処分先の変更に伴う運搬費・処分費の変更

◆交通誘導員の確保に向けた調整

- 大会中の工事に係る交通誘導員の確保が困難な場合は、同一現場に複数の警備業者の交通誘導員を配置できるよう施工計画を検討

【同一現場に複数の警備会社の交通誘導員を配置できる例】

- ・建物の入口と出口で車両動線が分かれている場合など、担当エリアが分かれており、責任の所在が明確な場合
- ・同一作業帯内に配置する誘導員を、日や週ごと等で警備業者を分ける場合

※ 具体的な事例は、現場の状況によって異なる

◆その他

- お盆期間を含むオリパラ移行期間の8月11日～24日は、大会に係る工事調整の対象期間外
- 関係者輸送ルートや競技スケジュール、練習会場等の更新に伴い、取組方針等に変更が生じる場合がある
- この基本的な考え方は原則を示したもので、都庁各局工事の実態に応じて運用するものとする

その他の工事調整の取組①

◆建設発生土の受入調整

- 海の森水上競技場に近接し、関係者輸送ルート等と施設への搬出入ルートが重複している建設発生土受入施設で、混雑緩和のために受入を調整

□ 対象期間

7月20日～8月10日、8月25日～9月6日

□ 対象工事

- 都庁発注工事のほか、以下3施設で受入等を行っている他の発注主体の工事も同様の扱い

□ 受入調整の概要

施設名	昼間の受入	夜間の受入	休業期間の対応
建設発生土再利用センター	受入・搬出中止 ※1	調整なし (受入時間: 22:00～5:00) ※3	工事の需要によって、夏季休業期間(8/13～8/16又は8/17まで)の稼働を検討 ※4
中防内側受入基地	受入中止	調整なし (受入時間: 22:00～6:00) ※3	
	原則受入中止 ※2	調整なし (受入なし)	

※1: (株)建設資源広域利用センター(UCR受入地)や民間事業者で代替受入
 ・主なUCR受入地の所在地 : 青梅・八王子、埼玉県草加・三郷 等
 ・UCR受入地の受入時間 : 昼間(標準: 8:30～16:30)
 夜間(受入地ごとに異なる)

※2: 期間中の受入が必要な工事は個別調整を実施

※3: 施設周辺の関係者輸送ルート・夜間競技の時間等を避けて
 車両の搬入・搬出を調整

※4: 日祝は通常通り休業

◆交通対策の検討に関する情報提供等

- 工事調整の具体の取組を検討できるよう、大会輸送や交通対策等に関する情報を広く提供
- 交通対策等の情報に変更等が生じた場合は、早期に提供

<主な内容>

- 関係者輸送ルート(ORN・PRN)
- 観客輸送ルート
- 重点取組地区16地区
- 会場周辺交通対策(2019.10)取りまとめ【2019年10月】
- 輸送運営計画V2取りまとめ【2019年12月】
(輸送運営計画V2案は2019年6月に公表済)
- 大会輸送影響度マップ【適宜更新】
- 企業のアクションプラン作成に向けた支援
(コンサルタントによる無料相談、TDMハンドブックの活用等)

※ 大会輸送や交通対策等に関する情報は、「2020TDM推進プロジェクト」ホームページで公表 ⇒<https://2020tdm.tokyo>

その他の工事調整の取組②

◆工事発注者や受注者団体への協力依頼

- 工事発注者(公共・民間)や、業界団体を通じて工事の受注者に対して、広く工事調整への協力を依頼

<工事発注者>

●公共事業者(国・自治体等)

都の取組方針に沿った工事調整の取組を依頼

●民間事業者【別添②】

- ・都の取組方針を準用し、区部、特に大会関係地域において、大会期間を外した工期設定・発注を依頼
- ・受注者と協力して、工事車両削減に向けた具体的な取組の検討を依頼

<工事受注者>

●建設業界団体【別添②】

- ・大会期間中に実施する工事では、混雑箇所・時間を回避した工事関係車両の移動、資材等の搬入前倒しや廃材等の搬出回数削減、現場への通勤手段の変更等を依頼

◆路上工事(道路占用工事等)の抑制【別添③】

- 広く工事調整の協力を依頼していくが、そのうち特にORN等の競技会場周辺の道路では、路上工事に伴う車線規制による混雑を回避する必要があるため、道路占用工事の事業者等に対して、路上工事抑制の協力を依頼

□対象路線

大会関係地域①の都道(車道・歩道)

- ・関係者輸送ルート(ORN・PRN)
- ・観客輸送ルート
- ・競技会場周辺(通行規制道路、迂回道路、迂回道路内)

※ 港湾局所管道路も含む

※ 国道・区市道においても同様の扱いを依頼予定

□対象期間

- ・ 昼間:全競技会場共通
7月20日～8月10日、8月25日～9月6日
- ・ 夜間:競技日程・時間によって夜間施工時間を調整

□対象工事

- ・ 都の工事のほか公共・民間すべての路上工事(道路占用工事等)が対象

※ 緊急工事や沿道建物へのライフライン供給工事、路面清掃等は除く

□その他

- ・ 路上作業(道路使用)も同様の扱いとなるよう関係機関と調整
- ・ 道路占用等の工事に係る手続きは、期間中も実施

路上工事を控えていただきたい路線・エリア

オリンピックスタジアム・東京体育館

※2019年12月公表の「会場周辺交通対策（2019.12）」を基に、路上工事を抑制して頂きたいエリアを明示しています。



路上工事を控えて頂きたい路線・エリア
(以下の道路の車道(上り・下り)・歩道)

- 関係者輸送ルート
- 関係者輸送ルート(専用レーン)
- 進入禁止エリア※
- 通行規制エリア※
- 迂回道路
- 迂回道内
- 観客輸送ルート(次ページ以降参照)

※ 進入禁止エリア、通行規制エリアの規制期間・内容・時間は次ページ参照
規制期間、内容、時間によって、工事ができない路線もあります。

オリンピック		
日	昼間	夜間
※競技に影響のない時間帯を示したものを		
7/20(月)		(競技による施工時間の調整は必要ありません) ※観客立席のため工事はお控えください 24:30～翌6:00 24:00～翌6:00 24:10～翌6:00 24:30～翌6:00 24:00～翌6:00 24:10～翌6:00 24:10～翌6:00 23:55～翌6:00 24:30～翌6:00 24:30～翌6:00 24:30～翌6:00 24:30～翌6:00 24:40～翌6:00 24:40～翌6:00 24:20～翌6:00 ※観客立席のため工事はお控えください (競技による施工時間の調整は必要ありません)
7/21(火)		
7/22(水)		
7/23(木)		
7/24(金)		
7/25(土)		
7/26(日)		
7/27(月)		
7/28(火)		
7/29(水)		
7/30(木)		
7/31(金)		
8/1(土)		
8/2(日)		
8/3(月)		
8/4(火)		
8/5(水)		
8/6(木)		
8/7(金)		
8/8(土)		
8/9(日)		
8/10(月)		

パロリンピック		
日	昼間	夜間
※競技に影響のない時間帯を示したものを		
8/25(火)		※観客立席のため工事はお控えください 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌6:00 24:00～翌3:30 ※観客立席のため工事はお控えください
8/26(水)		
8/27(木)		
8/28(金)		
8/29(土)		
8/30(日)		
8/31(月)		
9/1(火)		
9/2(水)		
9/3(木)		
9/4(金)		
9/5(土)		
9/6(日)		

※ 赤字の時間帯は2019.12に更新

©Tokyo2020@2019ZENRIN CO., LTD.

G20大阪サミットに向けた企業の取組み (2019年6月27日~30日)

取組項目	企業・取組内容	出典	URL
休業や休館	ミズノ【臨海部】 6/27、28 本社を休館、約900人規模。止む無い業務は自宅でテレワーク	時事通信、産経新聞、2019年4月11日記事	https://www.jiji.com/jc/article?k=2019041101079&g=eco
	日立造船【臨海部】 6/27、28 本社で一斉休業、対象1600人規模	産経新聞、日経新聞 2019年2月22日記事	https://www.sankei.com/west/news/190222/wst1902220043-n1.html
	大成建設【市内広域】 6/28、29日、市内の土木作業所を休みとし、業務用車両の運行も取りやめる方針	時事通信、産経新聞、2019年4月11日記事	https://www.jiji.com/jc/article?k=2019041101079&g=eco
搬出搬入の調整	船場センタービル【都心】 各店舗に対し、期間中は商品の搬出入を避けるよう協力を呼びかけ	産経新聞、日経新聞 2019年2月22日記事	https://www.sankei.com/west/news/190222/wst1902220043-n1.html
	出荷各社 発注の前倒しや後ろ倒しの呼掛け、納期変動の事前告知		
株主総会を大阪以外開催	武田薬品工業 会場を大阪市内から横浜市内へ変更	産経新聞 2019年6月7日記事	https://www.sankei.com/west/news/190607/wst1906070022-n1.html
	パナソニック 会場を大阪市内から神戸市内へ変更	産経新聞 2019年6月7日記事	https://www.sankei.com/west/news/190607/wst1906070022-n1.html
株主総会の開催日変更	江崎グリコ 日程を3日前倒し	産経新聞 2019年6月7日記事	https://www.sankei.com/west/news/190607/wst1906070022-n1.html
	関西電力 日程を6日前倒し	産経新聞 2019年6月7日記事	https://www.sankei.com/west/news/190607/wst1906070022-n1.html
	大和ハウス工業 日程を3日前倒し	産経新聞 2019年6月7日記事	https://www.sankei.com/west/news/190607/wst1906070022-n1.html
前倒し輸出	村田製作所 海外顧客向けに前倒しで輸出	神戸新聞Next 2019年6月5日記事	https://www.jiji.com/jc/article?k=2019041101079&g=eco

G20大阪サミットに向けた企業の取組み (2019年6月27日~30日)

取組項目	企業・取組内容	出典	URL
荷受や発送の取り扱い変更	大丸神戸店 6月26日から10日間の中元の日付指定配達を受付けず	神戸新聞Next 2019年6月5日記事	https://www.jiji.com/jc/article?k=2019041101079&g=eco
	エイチ・ツー・オーリテイリング 6月26日から約1週間の日付指定配達を受付けず	神戸新聞Next 2019年6月5日記事	https://www.jiji.com/jc/article?k=2019041101079&g=eco
	セブンイレブンジャパンなどCVS大手3社 店舗への配送時間の変更を検討	神戸新聞Next 2019年6月5日記事	https://www.jiji.com/jc/article?k=2019041101079&g=eco
作業所閉所	大林組 大阪府下の作業所について、27、28日は原則車両による搬出入は不可とし、29、30日は閉所する	建設通信新聞 2019年6月24記事	https://www.kensetsunews.com/archives/335003
	鹿島建設 大阪市内の現場を29、30日は閉所するほか、作業員の通勤に影響がありそうな作業所は振り替え閉所の扱いとする		
配送遅延等の告知	日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便 6/27(木)~30(日)の期間、大阪市内を中心に大規模な交通規制が実施されるため、届けに1~2日程度の遅れが生じる見込みや一部サービスの提供の中止を告知。	各社の公式HP	日本郵便(2019年6月6日) https://www.post.japanpost.jp/notification/productinformation/2019/0606_01.html ヤマト運輸(2019年5月31日) http://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/info/info_190531_02.html 佐川急便(掲載日未記載) https://www2.sagawaexp.co.jp/information/detail/137/
その他	蓬萊(豚まん551) 持ち帰り様の袋にG20サミット周知の広告を掲載	朝日新聞 2019年6月1日記事	https://www.asahi.com/articles/ASM614K7MM61PTIL005.html
	歓楽街 料理組合に加盟する全159店が営業を自粛	朝日新聞 2019年5月16日記事	https://www.asahi.com/articles/ASM5J4PPQM5JPTIL00S.html



参考資料－ 人事・労務管理上の留意点 －

(テレワーク・フレックスタイム制・時差出勤制)

※ (出典)

一般社団法人 東京経営者協会 セミナー

「東京2020大会に向けての人事・雇用管理上の留意点」資料

テレワークにおける労務管理上の留意点

「テレワークにおける適切な労務管理のためのガイドライン
～情報通信技術を利用した事業場外勤務の適切な導入及び
実施のためのガイドライン～」〔平成30年2月22日付〕による労務管理体制

- テレワーク実施労働者に関する関係法令、労働時間管理、労働安全衛生管理、労働災害補償、業績評価の扱い、通信費・情報通信機器等の費用の扱い、社内教育等、留意すべき点について規定
- 在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務の定義と、各勤務形態を対象とした規定

テレワークにおける労務管理上の留意点

(1) 労働基準関係法令の適用

- ・テレワークを行う労働者にも、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法等の労働基準関係法令が適用される

(2) 労働基準法の適用に関する留意点

ア 労働条件の明示

- ・使用者は、労働契約を締結する際、労働者に対し、賃金や労働時間、**就業の場所に関する事項等を明示**しなければならない(労働基準法第15条)
- ・テレワークを行う場合には、就業の場所として**テレワークを行う場所を明示**しなければならない
 - 労働者がテレワークを行うことを予定
 - テレワークを行うことが可能である就業の場所を明示することが望ましい
 - 専らモバイル勤務をする等、業務内容や労働者の都合に合わせて働く場所を柔軟に運用する場合
 - 就業の場所についての許可基準を示した上で、**「使用者が許可する場所」といった形で明示することも可能**

テレワークにおける労務管理上の留意点

イ 労働時間制度の適用と留意点

- ・使用者は、労働時間を適切に管理する責務を有していることから、
以下の留意点を踏まえた上、労働時間の適正な管理を行う必要がある

① 通常の労働時間制度における留意点

■ 留意点1ー 労働時間の適正な把握

使用者は、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」（平成29年1月20日策定）に基づき、適切な労働時間管理を行う

- ・原則的には、**使用者自ら現認すること、あるいはタイムカード、パソコンの使用時間の記録等客観的な記録を基礎とし、始業・就業時刻等について適切に管理する**
- ・やむを得ず自己申告により労働時間を把握する場合、自己申告制の適正な運用等ガイドラインに基づき、適切に管理を行う
- ・自己申告の労働時間と、パソコンの使用時間等から把握できる時間との間に**乖離がある場合、実態調査を行う**

テレワークにおける労務管理上の留意点

■ 留意点2ー テレワークに際して生じやすい事象

・ 中抜け時間について

使用者が業務指示をしないこととし、
自由に利用することが保障されている場合

→ 休憩時間、時間単位の年次有給休暇として取り扱うことが可能

・ 通勤時間や出張旅行中の移動時間中のテレワーク

使用者の明示又は黙示の指揮命令下で行われる場合

→ 労働時間に該当

・ 勤務時間の一部でテレワークを行う際の移動時間の扱い

単に労働者自らの都合で移動し、自由利用が保障されている場合

→ 休憩時間扱い可能

使用者が移動を命じ、自由利用が保障されていない場合

→ 労働時間に該当

■ 留意点3ー フレックスタイム制

・ テレワークについても、フレックスタイム制を活用することが可能

・ ただし、使用者は各労働者の労働時間の把握を適切に行う

テレワークにおける労務管理上の留意点

② 事業場外みなし労働時間制の場合

テレワークにより、労働者が労働時間の全部又は一部について事業場外で業務に従事した場合で、使用者の具体的な指揮監督が及ばず、労働時間の算定が困難な時、労働基準法第38条2で規定する事業場外労働みなし労働時間制が適用される(以下の要件が必要)

- ・情報通信機器が、使用者の指示により常時通信可能な状態とされていないこと
- ・随時使用者の具体的な指示に基づいて業務を行っていない

③ 裁量労働制の場合

専門業務型裁量労働制や企画業務型裁量労働制の要件を満たし、制度の対象となる労働者についても、テレワークを行うことが可能

- ・使用者は労働者の健康確保の観点から、勤務状況を把握し、適正な労働時間管理を行う責務がある
- ・必要に応じ、業務に必要な時間、業務量、期限設定などの設定が不適切でないか、労使で確認し、結果に応じて、業務量を見直す

テレワークにおける労務管理上の留意点

ウ 休憩時間の扱いについて

- ・テレワークを行う労働者について、労使協定により、労働基準法第34条2項に定める「一斉付与の原則」の適用除外とすることが可能
- ・労使の合意により、労働基準法34条以外の**休憩時間を設定することが可能**

エ 時間外・休日労働の労働時間管理について

- ・テレワークによる時間外労働や法定休日労働の場合、**36協定の締結、届出及び割増賃金の支払いが必要**

また、深夜にテレワークによる労働の場合、**深夜労働割増賃金の支払いが必要**

- ・このため、労働者は、**業務に従事した時間を日報等において記録し**、使用者はそれにより労働時間の状況の適切な把握に勤め、必要により労働時間や業務内容を見直すことが望ましい

- ・時間外等に業務を行う場合、就業規則等により事前申告・許可あるいは事後報告の規定があるにも関わらず、それらがなされない場合で、

i 使用者からの強制性がない、

ii 当日の業務量が過大など黙示の指揮命令があったとは理解できない、

iii 労働者からの事前・事後のメール送信がないなど、

使用者が時間外労働を知り得ない時は労働時間に該当しない

- ・**[実態としては]テレワークの時間外労働等は原則禁止としている企業もある**

(3) 長時間労働対策について

・使用者は、単に労働時間を管理するだけでなく、

長時間労働による健康障害防止措置を図る

・長時間労働を防ぐ手法としては、以下のようなものが考えられる

①【メール送付の抑制】

役職者からの時間外、休日又は深夜におけるメール送付の自粛を命ずる

②【システムのアクセス制限】

深夜・休日は外部パソコン等からアクセス不可の設定を行う

③【時間外・休日・深夜労働の禁止】

時間外・休日・深夜労働の原則禁止又は使用者による許可制とする

④【長時間労働者への注意喚起】

労働時間記録や労務管理システムを活用して注意する

テレワークにおける労務管理上の留意点

(4) 労働安全衛生法の適用及び留意点

- ・労働安全衛生法等の法令に基づき、**過重労働やメンタルヘルス対策を含む健康確保措置を講ずる**

○健康診断、長時間労働者に対する医師の面接指導、ストレスチェックの実施、及びその結果等を受けた措置

- ・自宅等がテレワークを行う作業場となる場合も、事業所衛生基準規則、労働安全衛生規則及び「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」(平成14年4月5日)の衛生基準の作業環境とする

(5) 労働災害補償に関する留意点

- ・労働契約に基づいて使用者の支配下にあることによって生じた**テレワークにおける災害は、業務上の災害として労災保険給付の対象となる。**ただし、私的行為等業務以外が原因となるものは認められない

テレワークにおける労務管理上の留意点

(6) 業績評価等の扱い

- ・テレワークを行う労働者が業績評価等について、評価者や労働者が懸念を抱くことのないように、**評価制度及び賃金制度を明確にすることが望ましい**

(7) 通信費、情報通信機器等の費用負担の取り扱い

- ・通信費等の費用負担について、労使のどちらかで負担するか、また使用者負担する場合の限度額等を、**あらかじめ労使で話し合い、就業規則等で定めておく**
- ・**労働者に通信機器等の負担をさせる場合、就業規則に規定しなければならない**
(労働基準法第89条第5号)

(8) 社内教育等の取り扱い

- ・テレワークを行う労働者が能力開発において不安を感じることのないよう、社内教育の充実を図る
- ・社内教育や研修制度の定めをする場合、就業規則に規定しなければならない
(労働基準法第89条第7号)

テレワークに関する就業規則

- テレワーク実施にあたっては、**社員就業規則においてテレワークに要する規定を明記する、あるいは「テレワーク就業規則」を規定し、対応する**

【テレワーク就業規則における規定内容：例】

- テレワークの目的
- 在宅勤務、サテライトオフィス、モバイル勤務の定義
- 該当業務の範囲
- 適用者の範囲
- 実施の際の手続き(事前申込等)
- 実施単位期間
- 勤務時間(含：残業時間の扱い)
- 休日・休暇の扱い
(含：年次有給休暇の処理)
- 就業場所
- テレワーク勤務実施報告
- テレワーク勤務中の出社命令
- 情報の取り扱い
- テレワーク勤務中の通勤交通費の扱い
- 在宅勤務に係る費用の負担
(光熱費、通信費等)

etc

フレックスタイム制の導入

(1) 導入状況

「平成30年就労条件総合調査」(厚生労働省)調査結果

○採用企業割合 — — — 5.6% [1年単位変形労働時間制35.3%、1ヵ月単位変形労働時間制22.3%]

○適用労働者割合 — — — 7.8%

(2) 導入要件

就業規則等への規定と労使協定の締結が必要

ア 就業規則等への規定

(例)・フレックスタイム制が適用される従業員の始業及び就業の時刻については、従業員の自主的決定に委ねるものとする

イ 労使協定で以下の所定の事項を定める

①対象となる労働者の範囲

④標準となる1日の労働時間

②清算期間

⑤コアタイム(任意)

③清算期間における総労働時間(所定労働時間) ⑥フレキシブルタイム(任意)

フレックスタイム制の基本的ルール

(1) 時間外労働の扱い

- ・1日8時間・週40時間を超えて労働しても、ただちに時間外労働とはならない
- ・清算期間における法定労働時間の総枠(※)を超えた時間数が時間外労働

※清算期間の歴日数	31日	177.1時間
	30日	171.4時間
	28日	160.0時間

(2) 賃金の清算

- ・清算期間における実労働時間が総労働時間を超過した場合、
超過した時間数分の賃金の支払い
- ・清算期間における実労働時間が総労働時間に不足した場合、
不足時間分を控除するか、不足分を繰り越して、次の清算期間の総労働時間に合算

(3) 清算期間

- ・清算期間について、これまで1ヵ月であったが、「3ヵ月」に延長された

フレックスタイム制の基本的ルール

(4) 清算期間1ヵ月超えの時間外労働

- ・清算期間における総労働時間が法定労働時間の総枠を超えないこと
(清算期間全体の労働時間が、週平均40時間を超えないこと)
- ・1か月ごとの労働時間が、週平均50時間を超えないこと

(5) 清算期間1ヵ月超えの労使協定

- ・清算期間1ヵ月超える場合には、労使協定を所轄労働基準監督署に届出

導入時に労使で協定する事項 — 就業規則に規定

(1) 対象となる労働者の範囲

- ・全社員、グループごと、課ごと、各人ごと 等

(2) 清算期間

- ・これまで1か月であったが、上限3か月となった
- ・清算期間の起算日を定める

(3) 清算期間における総労働時間（清算期間における所定労働時間）

- ・清算期間を単位として所定労働時間を定める
- ・清算期間中の総労働時間については、歴日数に対応する法定労働時間の総枠の範囲内とする

(4) 標準となる1日の労働時間

- ・清算期間中の総労働時間を所定労働日数で割った時間を基準として定める

(5) コアタイム（任意）

- ・その時間帯の開始・終了の時間を定める
- ・コアタイムを設ける日・設けない日がある。日によって時間帯が異なることも可

(6) フレキシブルタイム（任意）

- ・その時間帯の開始・終了の時間を定める

時差出勤制の実施方法

○就業規則による規定

(1) 標準出勤時間の明示

就業規則第〇〇条 当社の始業時刻・終業時刻は次の通りである。

- ・始業時刻 9時00分
- ・終業時刻 18時00分

(2) 時差出勤について規定

就業規則第〇〇条 社員が希望する場合は時差出勤を行うことができ、希望する社員は、前月25日までに、所定書面により、別途定める時差出勤時間帯の選択に関する届出を行う。

(3) 時差出勤時間帯について規定

就業規則第〇〇条 時差出勤時間帯については以下とする。

Aパターン

- ・始業時刻 7時00分
- ・終業時刻 16時00分

Bパターン

- ・始業時刻 8時00分
- ・終業時刻 17時00分

Cパターン

- ・始業時刻 10時00分
- ・終業時刻 19時00分

参考資料 – 交通規制

(東京圏における各会場の交通対策・G20・路上競技など) –

会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

大会ルート(関係者輸送ルート)

千葉県



会場周辺の交通対策について (2019.12)

大会ルート(関係者輸送ルート)

【2019.12】

横浜市



凡例	
	大会ルート(高速道路)
	大会ルート(一般道)
	競技会場
	主要施設

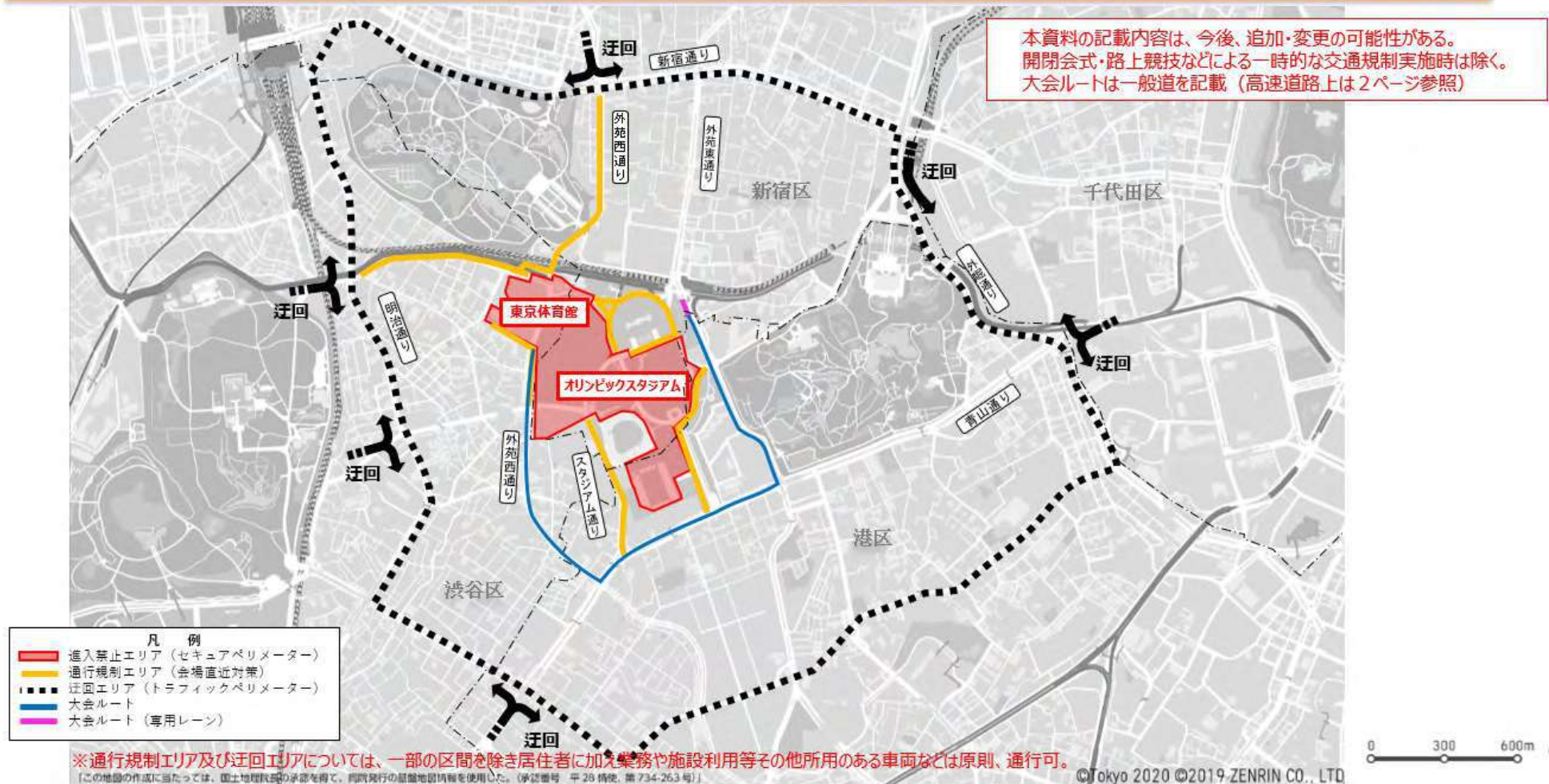
【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平 29 情使、第 444-1202 号)】

会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【オリンピックスタジアム・東京体育館】

【2019.12】

③迂回エリア (トラフィックペリメーター)



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【オリンピックスタジアム・東京体育館】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア④専用レーン、優先レーン



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【オリンピックスタジアム・東京体育館】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

【拡大図①】

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
開閉会式・路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載（高速道路上は2ページ参照）



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【オリンピックスタジアム・東京体育館】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

【拡大図②】



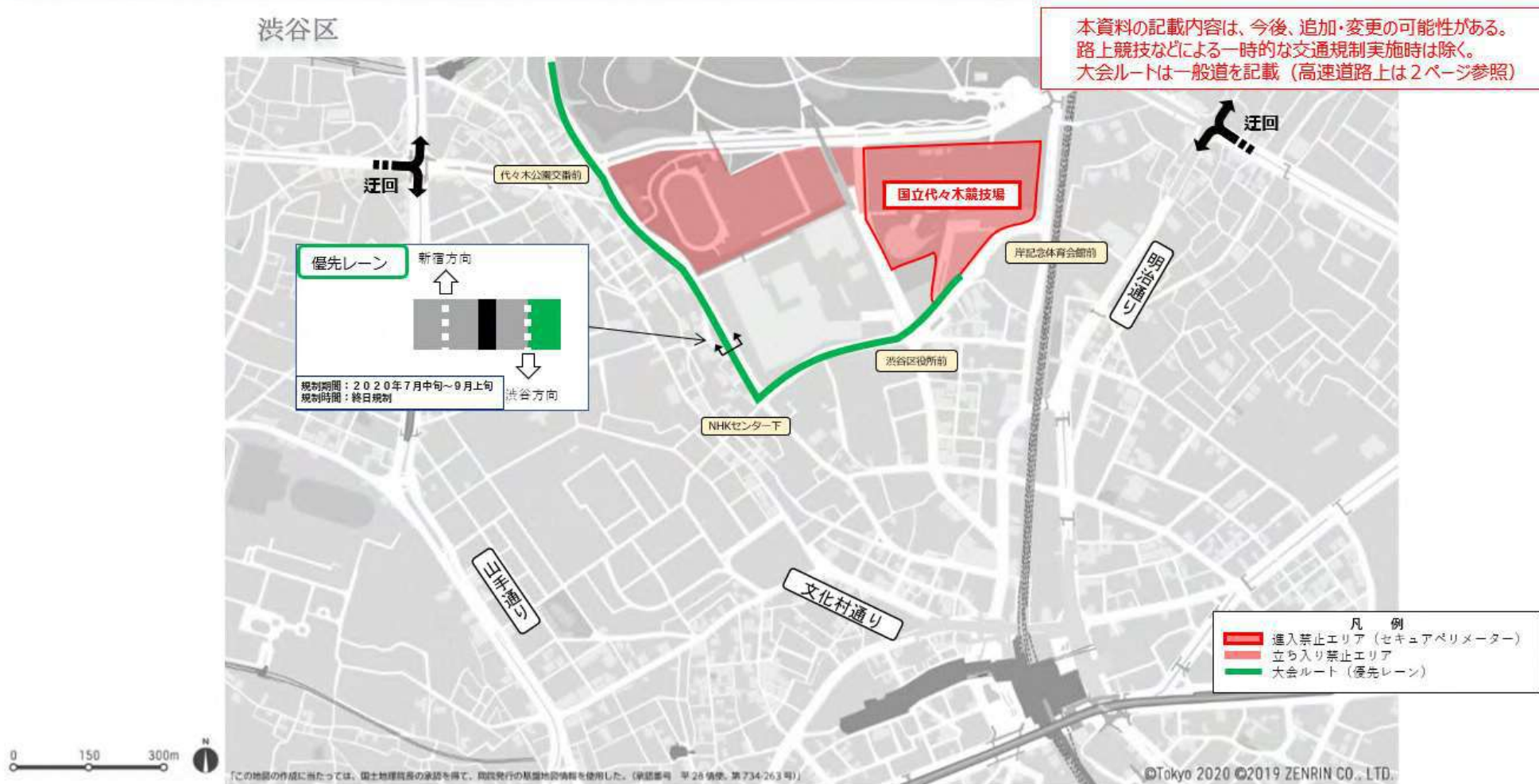
- ※1 規制期間は、大会関連工事による規制を含む。ただし外苑西通り（都道418号）を除いては段階的な規制を検討中。
- ※2 通行規制エリアは、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。【この地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平28第18号、第734-263号）】

会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【国立代々木競技場】

【2019.12】

①進入禁止エリア④専用レーン、優先レーン

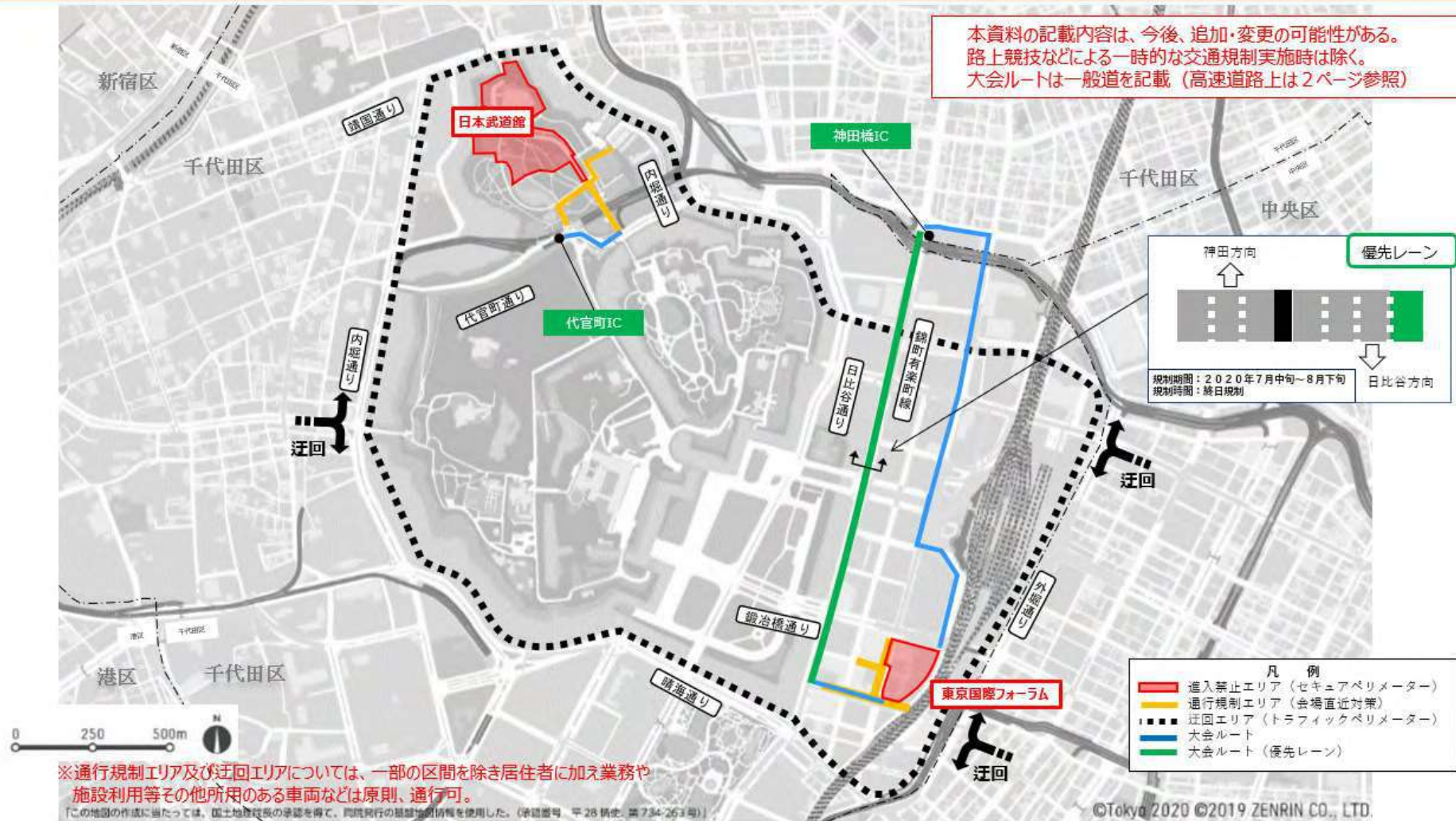


会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図 【日本武道館・東京国際フォーラム】
③迂回エリア (トラフィックペリメーター)

【2019.12】

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載 (高速道路上は2ページ参照)



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図 【日本武道館】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【東京国際フォーラム】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア④専用レーン、優先レーン



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【東京国際フォーラム】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

【拡大図】

規制区間はフォーラム西交差点まで

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載（高速道路上は2ページ参照）

都道402号

全車線規制期間：2020年5月中旬～9月下旬※1
規制内容：大会関係車両以外通行禁止
規制時間：終日規制

東京国際フォーラム

千代田区道116号

規制期間：2020年6月中旬～9月下旬※1
規制内容：通過交通は通行禁止（車道）※2
規制時間：終日規制

規制区間は日比谷通りまで

千代田区道120号

全車線規制期間：2020年6月中旬～6月下旬※1
一部車線規制期間：2020年6月下旬～9月下旬※1
規制内容：通過交通は通行禁止（車道）※2
規制時間：終日規制

千代田区道830号

規制期間：2020年5月上旬～9月下旬※1
規制内容：大会関係車両以外通行禁止（車道）
規制時間：終日規制

- 凡 例
- 進入禁止エリア（セキュアペリメーター）
 - 通行規制エリア（会場直近対策）
 - 大会ルート（優先レーン）
 - 大会ルート
 - 進入禁止エリア内の規制内容
 - 進入禁止エリア外の規制内容
 - ↔ 歩道の規制内容



※1 規制期間は、大会関連工事による規制を含み、現在調整中。

※2 通行規制エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平28情使、第734-263号）】

©Tokyo2020 ©2019 ZENRIN CO., LTD.

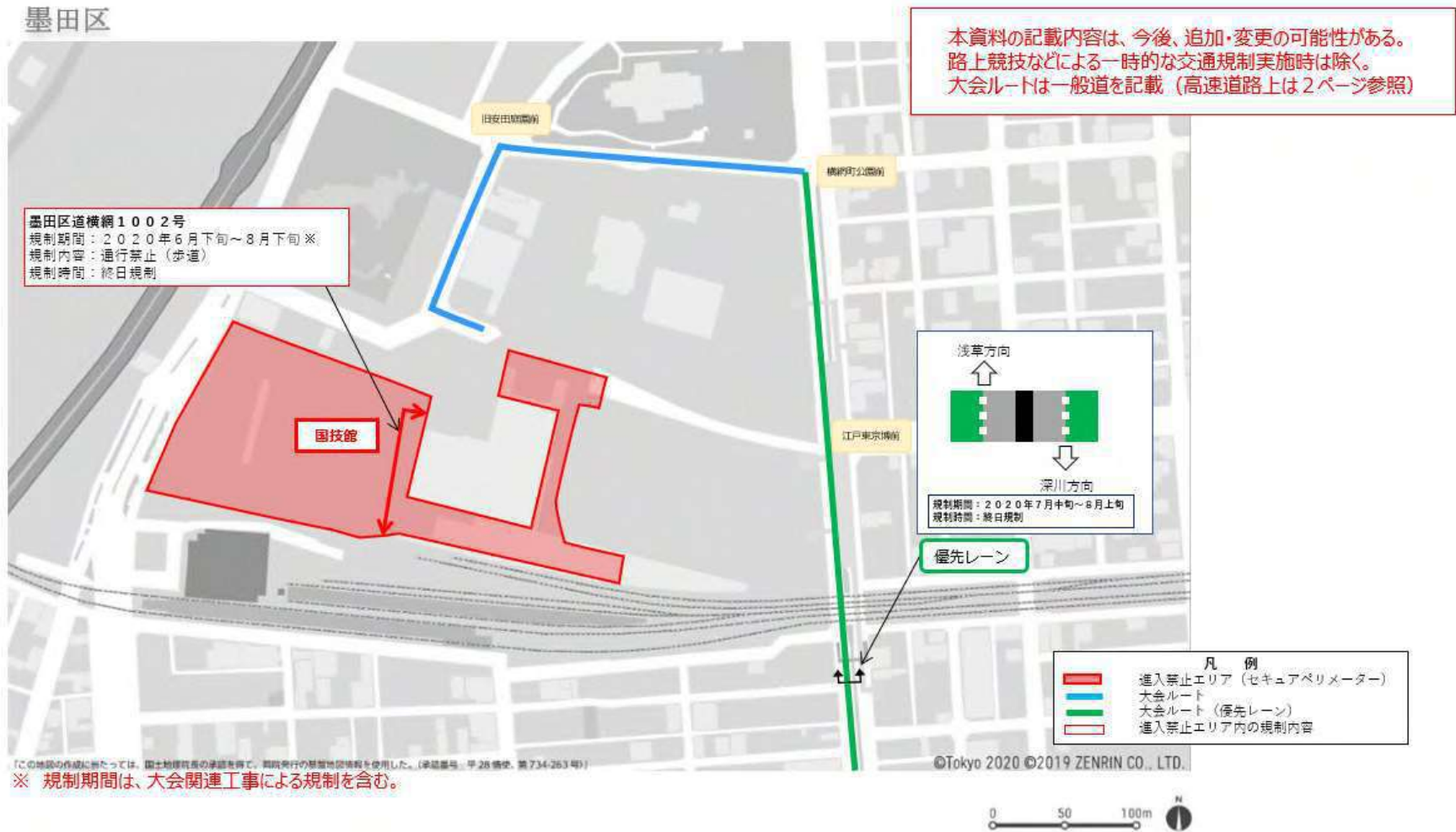
JR高架下
規制期間：2020年7月中旬～8月下旬
規制内容：車両通行禁止（車道）
規制時間：終日規制

会場周辺の交通対策について（2019.12）

【2019.12】

会場周辺交通対策図【国技館】

① 進入禁止エリア④ 専用レーン、優先レーン



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図 【馬事公苑】 ③迂回エリア (トラフィックペリメーター)

【2019.12】



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【馬事公苑】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【東京スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザ・武蔵野の森公園】

【2019.12】

②通行規制エリア③迂回エリア (トラフィックペリメーター)



会場周辺の交通対策について（2019.12）

会場周辺交通対策図【東京スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザ】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

オリンピック

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載（高速道路上は2ページ参照）



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【東京スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザ】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

パラリンピック

通行規制エリア（会場直近対策）
交通対策を検討している道路※2※3

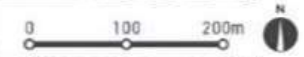
本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性ある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載（高速道路上は2ページ参照）



スタジアム通り、調布市道32号
規制期間：2020年7月上旬～8月下旬※1
規制内容：大会関係車両以外通行禁止
規制時間：終日規制

- ※1 規制期間は、大会関連工事による規制を含む。
- ※2 通行規制エリアについては、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等
その他所用のある車両などは原則、通行可。
- ※3 通行規制エリアの具体的な内容については、2020年2月を目途に調整。

凡 例	
■	進入禁止エリア（セキュリティペリメーター）
■	通行規制エリア（会場直近対策）
■	大会ルート
□	進入禁止エリア内の規制内容



【この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承諾番号 平 28 精地 第 734-263 号）】

©Tokyo 2020 ©2019 ZENRIN CO., LTD

会場周辺の交通対策について（2019.12）

会場周辺交通対策図 【武蔵野の森公園】

【2019.12】

① 進入禁止エリア



※会場周辺の交通規制なし

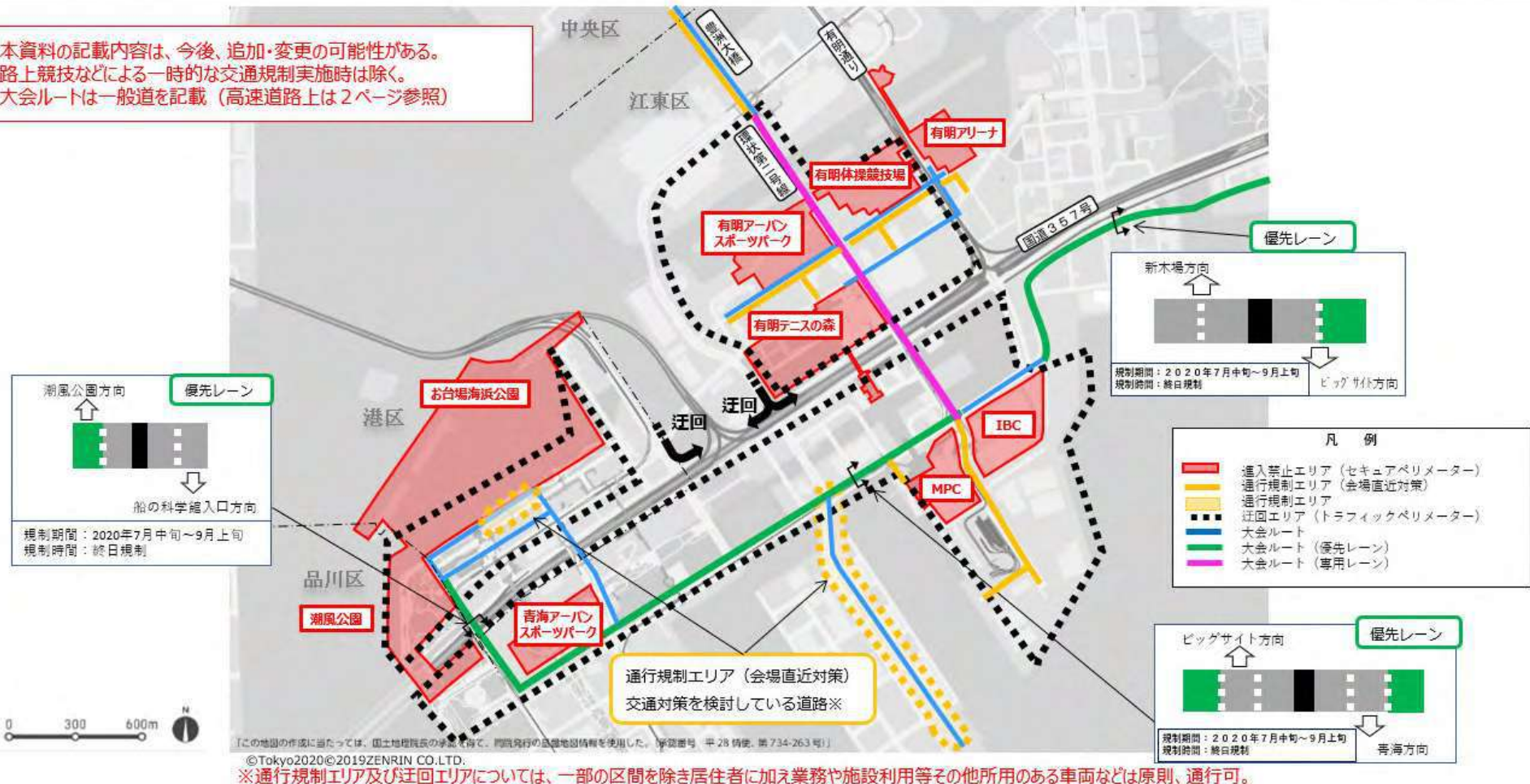
会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【台場地区・有明地区】

【2019.12】

③迂回エリア (トラフィックペリメーター)

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載 (高速道路上は2ページ参照)



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図 【お台場海浜公園、潮風公園、青海アーバンスポーツパーク】

【2019.12】

①進入禁止エリア④専用レーン、優先レーン

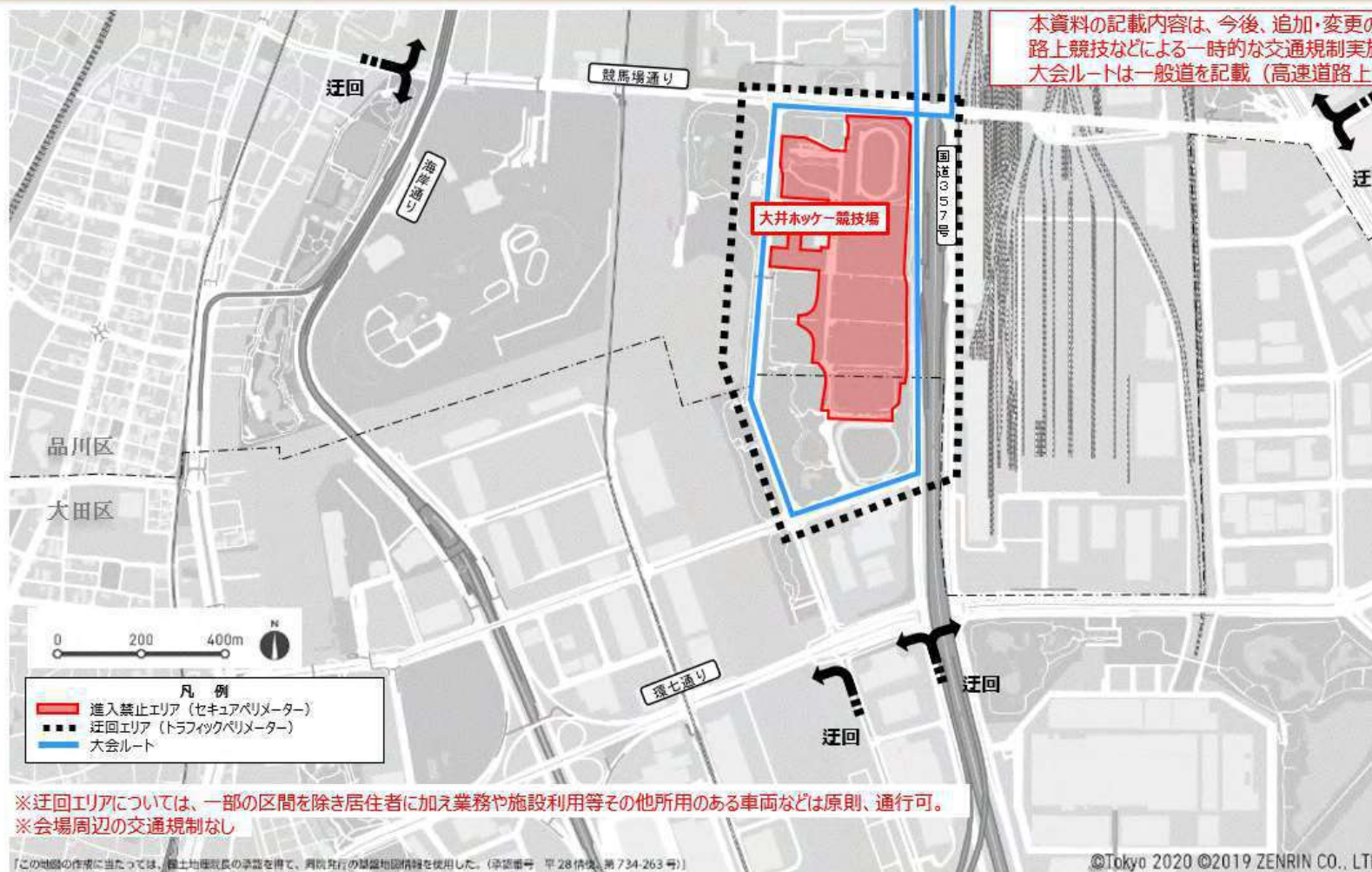


会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【大井ホッケー競技場】

【2019.12】

③迂回エリア (トラフィックペリメーター)

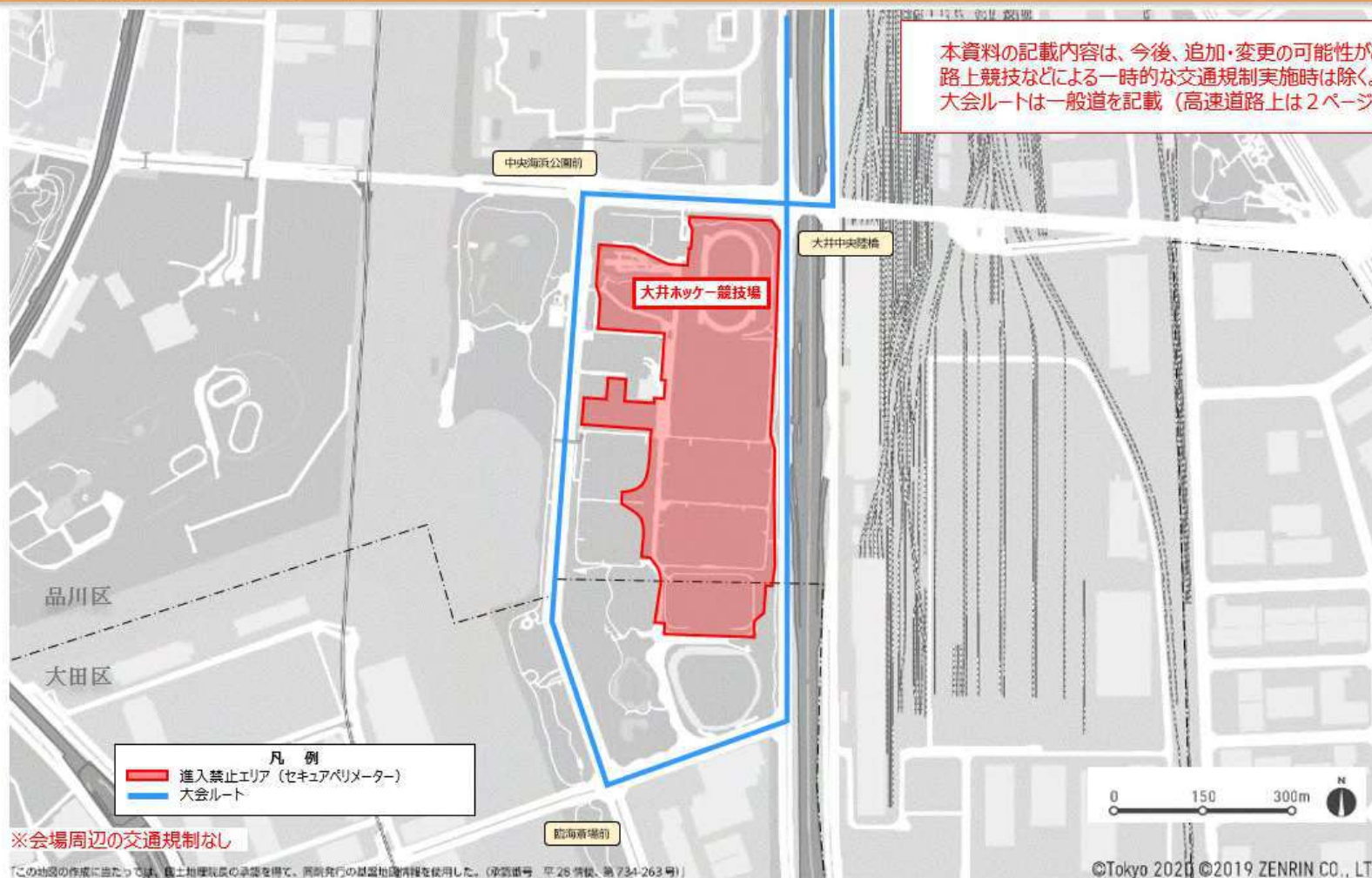


会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【大井ホッケー競技場】

【2019.12】

①進入禁止エリア④専用レーン、優先レーン



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【東京アクアティクスセンター・東京辰巳国際水泳場・夢の島公園アーチェリー場】

【2019.12】

③迂回エリア (トラフィックパーミッター)



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図 【東京アクアティクスセンター・東京辰巳国際水泳場】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア④専用レーン、優先レーン

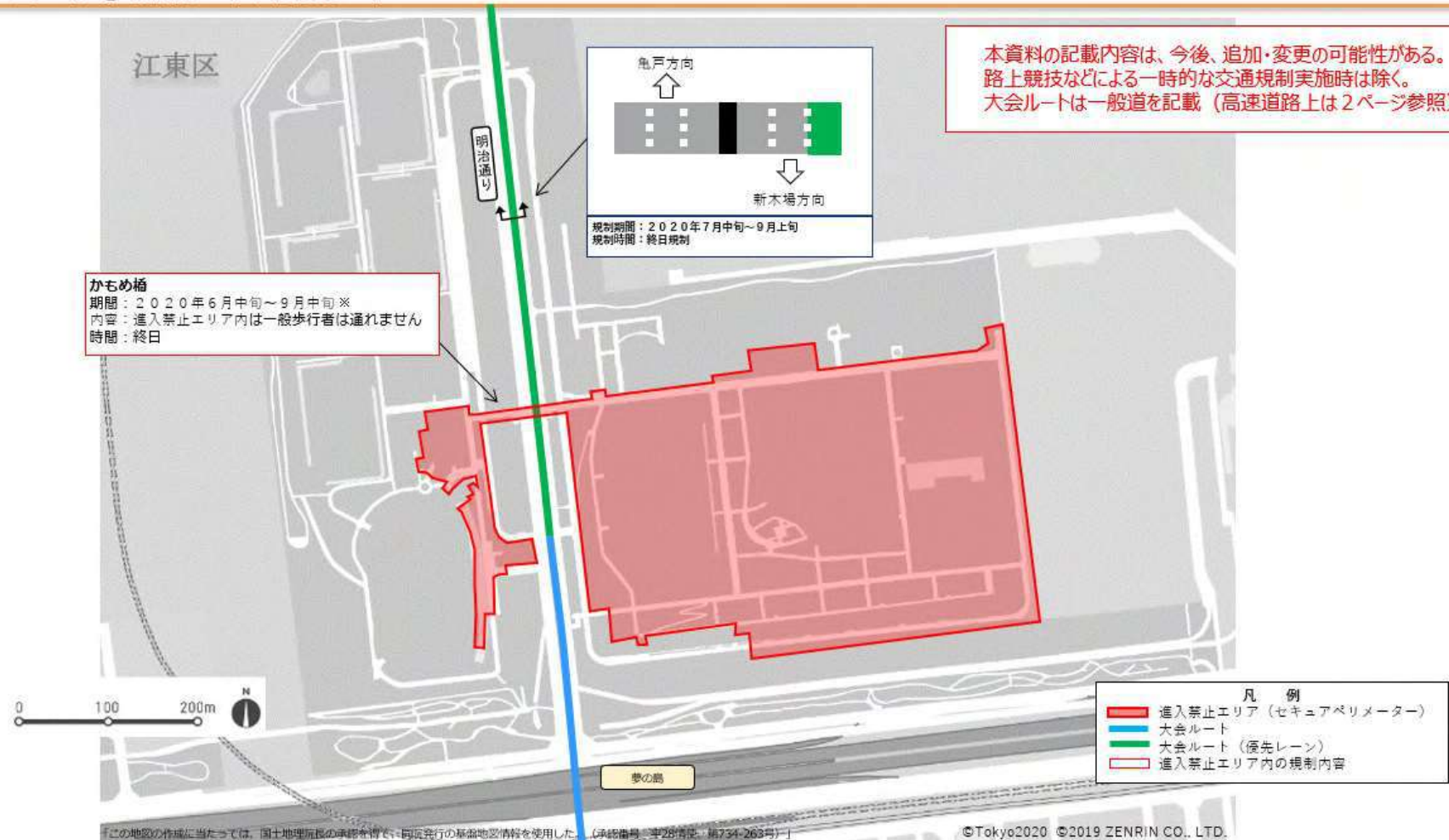


会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【夢の島公園アーチェリー場】

【2019.12】

① 進入禁止エリア④専用レーン、優先レーン



※ 規制期間は、大会関連工事による規制を含む。

会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【カヌー・スラロームセンター】

【2019.12】

③迂回エリア (トラフィックペリメーター)



会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図 【カヌー・スラロームセンター】

① 進入禁止エリア

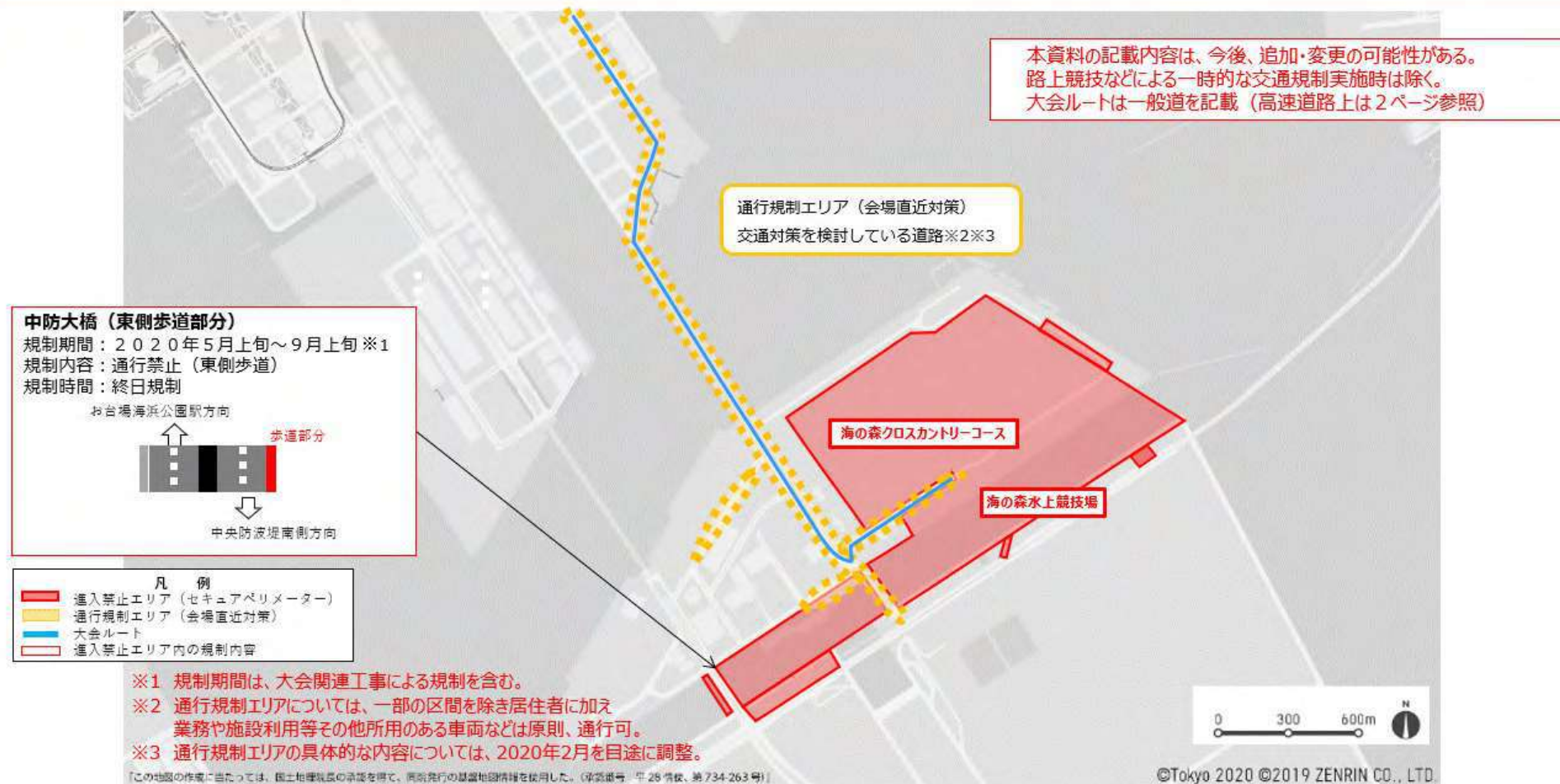


会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【海の森水上競技場・海の森クロスカントリーコース】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア



会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図 【IBC/MPC】

①進入禁止エリア②通行規制エリア④専用レーン、優先レーン



会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図 【横浜スタジアム】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア③迂回エリア (トラフィックペリメーター)

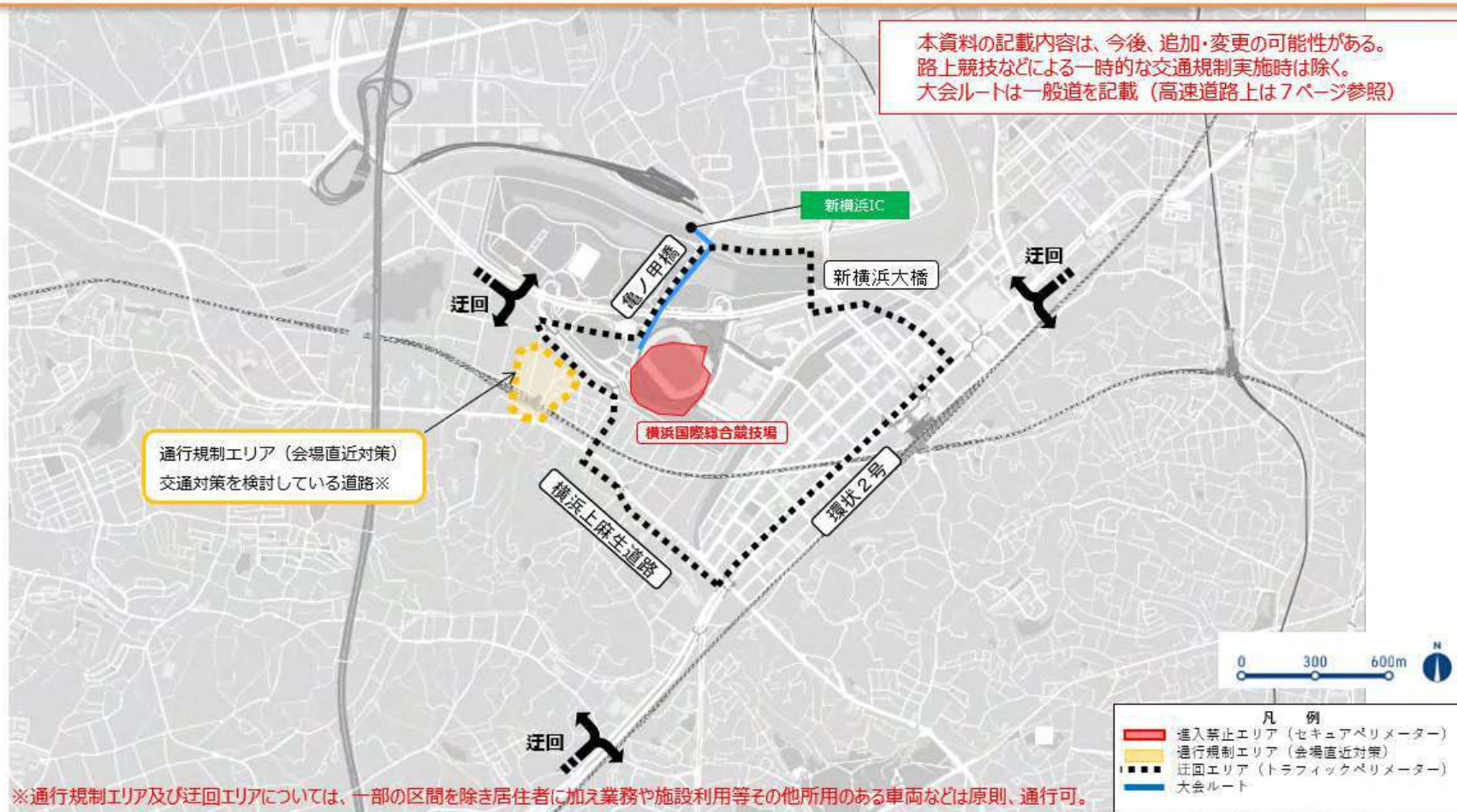


会場周辺の交通対策について（2019.12）

会場周辺交通対策図【横浜国際総合競技場】

【2019.12】

①進入禁止エリア②通行規制エリア③迂回エリア（トラフィックペリメーター）



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、有償発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 28 情使 第 734-263 号）

©Tokyo2020 ©2019 ZENRIN CO., LTD.

会場周辺の交通対策について (2019.12)

会場周辺交通対策図【釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ】 ①進入禁止エリア③迂回エリア (トラフィックパーミッター)

【2019.12】



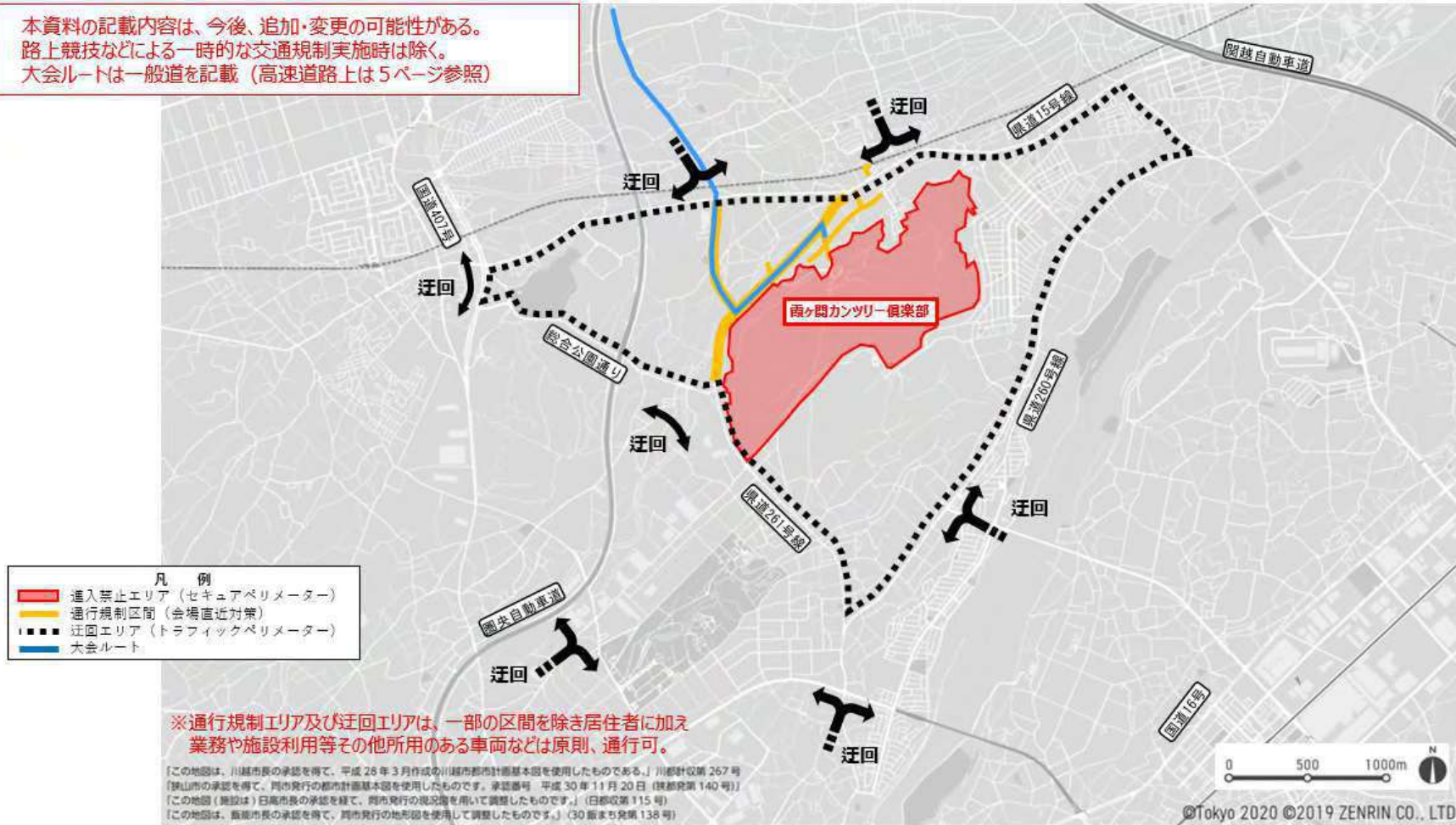
会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図【霞ヶ関カンツリー倶楽部】

③迂回エリア (トラフィックペリメーター)

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載 (高速道路上は5ページ参照)



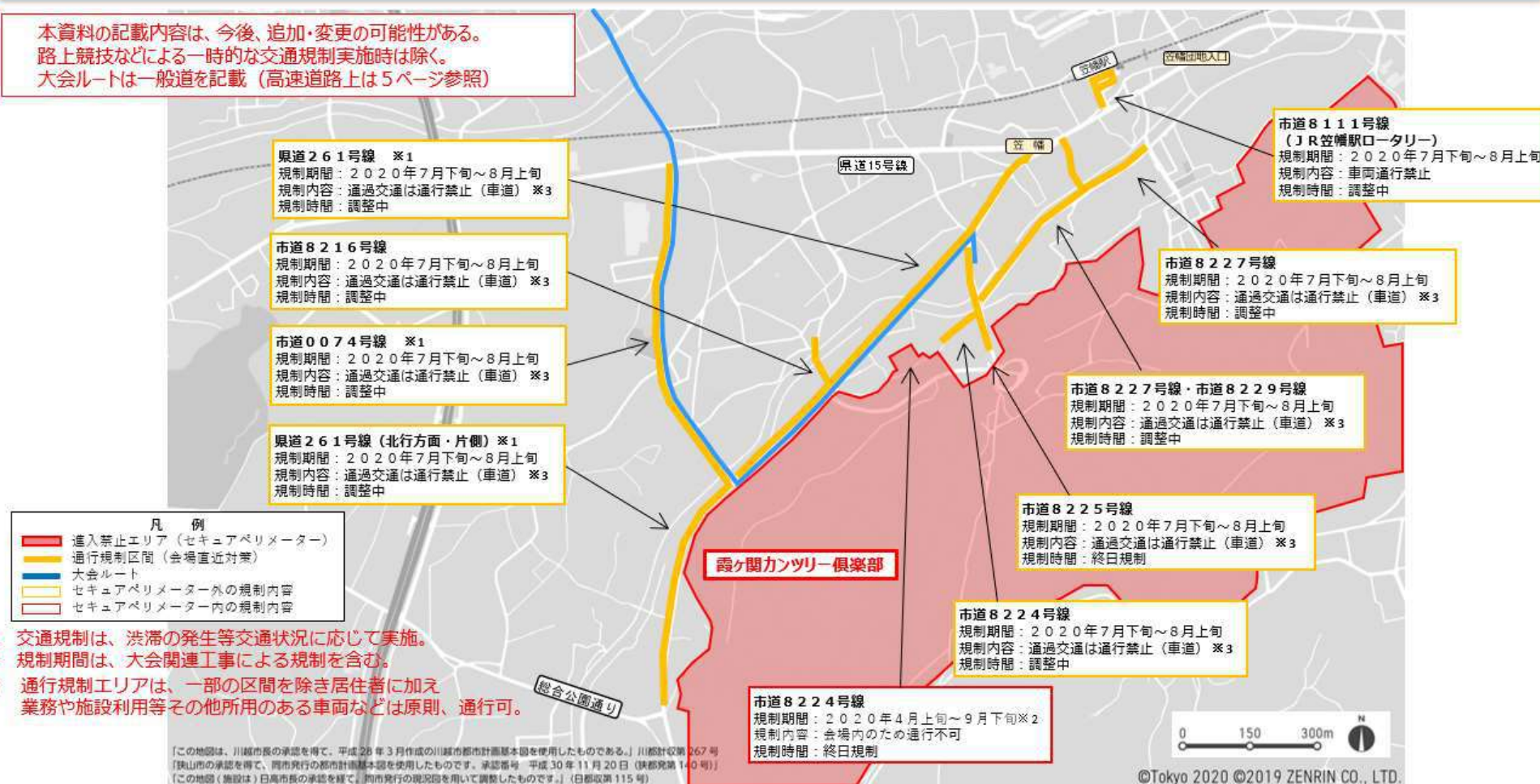
会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図【霞ヶ関カンツリー倶楽部】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

本資料の記載内容は、今後、追加・変更の可能性がある。
路上競技などによる一時的な交通規制実施時は除く。
大会ルートは一般道を記載（高速道路上は5ページ参照）



- ※1 交通規制は、渋滞の発生等交通状況に応じて実施。
- ※2 規制期間は、大会関連工事による規制を含む。
- ※3 通行規制エリアは、一部の区間を除き居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図【陸上自衛隊朝霞訓練場】

①進入禁止エリア②通行規制エリア



会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図【さいたまスーパーアリーナ】

① 進入禁止エリア② 通行規制エリア



会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図 【さいたまスーパーアリーナ】

①進入禁止エリア②通行規制エリア

【拡大図】



会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図【埼玉スタジアム2002】

③迂回エリア (トラフィックペリメーター)



会場周辺の交通対策について (2019.12)

【2019.12】

会場周辺交通対策図【埼玉スタジアム2002】

① 進入禁止エリア② 通行規制エリア



トライアスロンコース (オリンピック個人)

男子 : 2020/7/27 (月) 7:30 ~ 9:50
 女子 : 2020/7/28 (火) 7:30 ~ 10:00



本コースについては、大会運営上の事由等により、変更される場合があります。
 スイムは1km+0.5kmの2周回となりますが、コース詳細は今後調整となります。



200m

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、国院発行の基礎地図情報を使用した。
 (承認番号 平20第128号)

©Tokyo 2020 ©2018 ZENRIN CO., LTD.

トライアスロンコース (オリンピック混合リレー)

2020/8/1 (土) 8:30~10:30



本コースについては、大会運営上の事由等により、変更される場合があります。スイムは300mの1周回となりますが、コース詳細は今後調整となります。



200m

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、図説発行の基盤地図情報を使用しました。
図説番号 平28第128号

©Tokyo 2020 ©2018 ZENRIN CO., LTD.

トライアスロンコース (パラリンピック個人)

2020/8/29 (土) 7:30~12:30
2020/8/30 (日) 7:30~12:30



200m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、国産発行の基盤地図情報を使用しました。
(承認番号 平2814地産 第734-128号)

©Tokyo 2020 ©2018 ZENRIN CO., LTD.

ITUオリンピッククオリフィケーションイベント (トライアスロン国際大会) に伴う交通規制

お台場周辺一般道規制時間

- 8月14日 水 5:50 ~ 7:30 ころ (個人男女試走)
- 8月15日 木 6:50 ~ 10:00 ころ (個人女子)
- 8月16日 金 5:50 ~ 10:00 ころ (個人男子
パラトライアスロン試走)
- 8月17日 土 5:50 ~ 12:00 ころ (パラトライアスロン)
- 8月18日 日 7:20 ~ 10:00 ころ (混合リレー)

レインボーブリッジ[台場→芝浦方向]規制時間

首都高速[台場入口]も利用できません。

- 8月14日 水 5:50 ~ 7:30 ころ
- 8月15日 木 6:50 ~ 10:00 ころ
- 8月16日 金 6:50 ~ 10:00 ころ

都心方向へは

- 豊洲経由の晴海通り
- 大井経由の第一京浜・海岸通りをご利用ください。



2019年 **8/14** 水 (個人男女試走)

一般道規制時間

5:50 ~ 7:30 ころ

大会コース及び周辺道路は混雑しますので、
公共の交通機関をご利用ください。



参考資料 – その他 –

東京2020テストイベント（抜粋）

競技名	イベント名	会場	日程
フェンシング	高円宮杯 JAL PRESENTS FENCING WORLD CUP 2019	幕張メッセ Bホール	2019年12月13日～15日
サッカー	天皇杯 JFA 第99回全日本サッカー選手権大会	オリンピックスタジアム	2020年1月1日
ボッチャ	天皇陛下御即位記念 2020ジャパンパラボッチャ競技大会	有明体操競技場	2020年2月28日～3月1日
スポーツライミング	READY STEADY TOKYOースポーツライミング	青海アーバンスポーツパーク	2020年3月6日～8日 (予備日:3月8日)
車いすラグビー	天皇陛下御即位記念 2020ジャパンパラ車いすラグビー競技大会	国立代々木競技場	2020年3月12日～15日
体操 (体操)	2020体操ワールドカップ東京大会	有明体操競技場	2020年4月4日～5日
体操 (新体操)	READY STEADY TOKYOー体操(新体操)	有明体操競技場	2020年4月6日
自転車競技 (BMXフリースタイル)	READY STEADY TOKYO ー自転車競技(BMXフリースタイル)	有明アーバンスポーツパーク	2020年4月11日～12日
水泳 (水球)	水球チャレンジマッチ 2020 水球日本代表壮行試合	東京辰巳国際水泳場	2020年4月11日～12日
水泳 (競泳)	READY STEADY TOKYOー水泳(競泳)	東京アクアティクスセンター	2020年4月14日～15日
パラ水泳	READY STEADY TOKYOーパラ水泳	東京アクアティクスセンター	2020年4月16日
水泳 (飛込)	FINA 飛込ワールドカップ2020 兼東京2020オリンピック最終選考会	東京アクアティクスセンター	2020年4月21日～26日

【実施期間(予定)】

2020年7月24日(金)深夜～8月9日(日)深夜【オリンピック:開会式～閉会式】

【運行時間の目安】

(1) JR山手線、東京メトロ・都営地下鉄の各線

概ね2時過ぎまでの運行を検討

(2) その他の路線

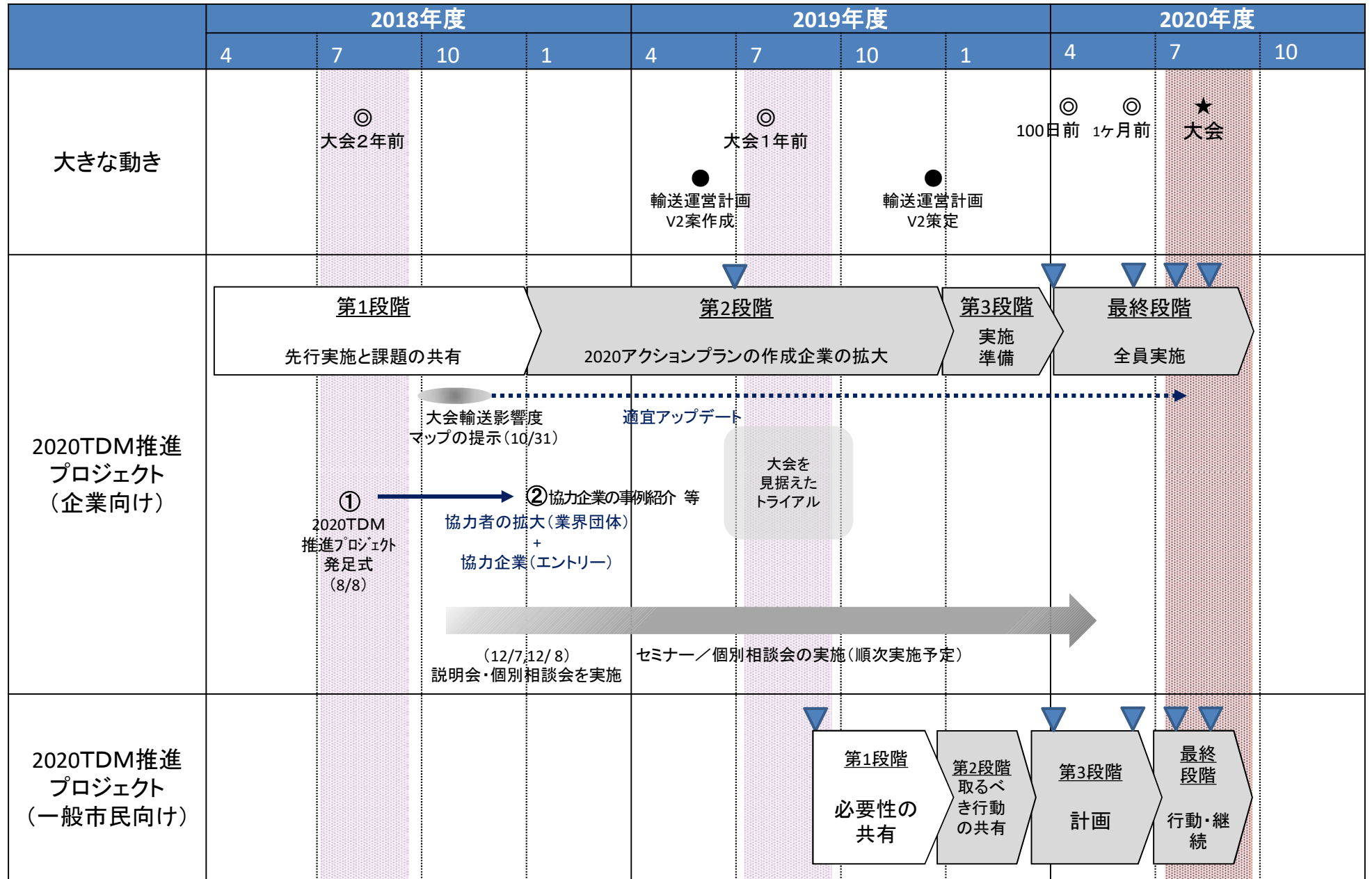
概ね1時台から2時頃までの運行を検討(路線により異なる)

【備考】

- ・ 東京メトロ・都営地下鉄・横浜市営地下鉄の各線およびJR山手線・JR京浜東北線・JR武蔵野線・JR横浜線・りんかい線・ゆりかもめは上下線・内外回りでの運行を検討
- ・ JR山手線から放射状に伸びる各路線は主に下り列車(郊外方向)の運行を検討
※一部路線では上り列車(都心方向)の運行も検討
- ・ 期間中の最終列車は平日・土休日とも、同時刻での運行を検討

今後のスケジュール

区部を中心として、都内との往来が多い地域（主に東京圏であるが、全国が対象）に展開



ご静聴ありがとうございました。



※ご登録はHPで！

<https://2020tdm.tokyo/approve>

ぜひご参加ください！

